

大学等における学生支援の取組状況に関する調査
(平成 29 年度) 結果報告



JASSO

独立行政法人

日本学生支援機構

Japan Student Services Organization

大学等における学生支援の取組状況に関する調査（平成 29 年度）結果報告

目次

1. 調査概要および調査結果（単純集計）

調査概要	1
調査結果	
Ⅰ. 学長等の認識	3
Ⅱ. 学生支援に関する組織等	9
Ⅲ. キャリア教育・就職支援	16
Ⅳ. 生活支援	28
Ⅴ. 課外活動／ピア・サポート／ボランティア活動	40
Ⅵ. 学生相談	50
Ⅶ. 成績不振学生・不登校学生等	63

2. 分析報告

「大学と社会の加速度的変化と学生支援の未来」

川島 啓二 75

「学生支援についての学長等の認識」

川島 啓二 81

「学生支援に関する組織の現状と課題

—学校種・設置者・規模などの属性に着目して—

橋場 論 91

「大学におけるキャリア教育・インターンシップの現状と課題

—主に設置者による相違に着目して—

望月 由起 103

「生活支援施策と学生寮の現在—規模との関連から—」

沖 清豪 117

「課外活動・学生表彰・ピア・サポート・ボランティア活動」

安部 有紀子 133

「多様性に対応する学生相談」

佐藤 純 145

「成績不振学生・不登校学生等への支援の取組状況の傾向と課題」

立石 慎治 161

3. 実地調査報告

実地調査概要	171
--------	-----

「キャリア教育・就職支援」

・小樽商科大学	望月 由起	173
・岩手県立大学	立石 慎治	177
・京都産業大学	望月 由起	183
・美作大学	立石 慎治	187

「生活支援（学生寮）」

・福岡女子大学	橋場 論	191
・国際基督教大学	沖 清豪	195
・昭和大学	安部 有紀子	199
・麗澤大学	沖 清豪	203

「学生相談」

・九州大学	佐藤 純	207
・国際基督教大学	佐藤 純	211
・熊本保健科学大学	橋場 論	215
・仙台高等専門学校	佐藤 純	219

4. 参考資料

「大学等における学生支援の取組状況に関する調査（平成 29 年度）」調査票	223
「大学等における学生支援の取組状況に関する調査（平成 29 年度）」協力者会議 委員一覧	255

1. 調査概要および調査結果（単純集計）

【調査概要】

1. 目的

大学、短期大学、高等専門学校における学生支援の取組状況について調査し、学生支援に関するニーズを把握する。

2. 対象校

全国の各大学、短期大学及び高等専門学校

3. 調査方法

対象機関に文書にて調査を依頼するとともに、日本学生支援機構ホームページ上にダウンロード用の回答票（Excel ファイル）を掲載し、同ホームページ上の送信フォームより回答を受け付け、集計した。

4. 調査時期

平成 29 年 9 月 1 日～10 月 13 日

5. 回答校数

調査対象校数 1,172 回答校数 1,136（回収率 96.9%）

区分	対象校数	回答校数	回収率
大学	782	763	97.6%
国立	86	86	100.0%
公立	89	88	98.9%
私立	607	589	97.0%
短期大学	333	316	94.9%
公立	17	16	94.1%
私立	316	300	94.9%
高等専門学校	57	57	100.0%
国立	51	51	100.0%
公立	3	3	100.0%
私立	3	3	100.0%
総計	1,172	1,136	96.9%

※「大学」には大学院大学、「短期大学」には短期大学部も含む。

6. 調査内容

- I. 学長等の認識
- II. 学生支援に関する組織等
- III. キャリア教育・就職支援
- IV. 生活支援
- V. 課外活動／ピア・サポート／ボランティア活動
- VI. 学生相談
- VII. 成績不振学生・不登校学生等

7. 留意事項

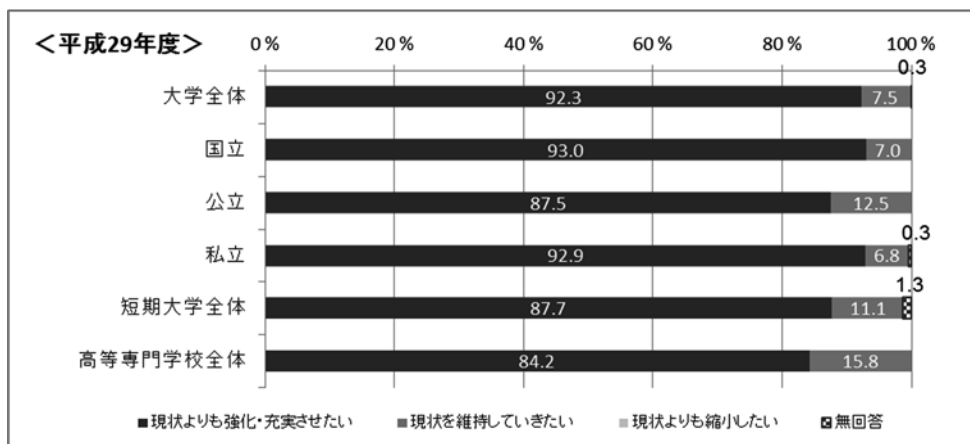
- ・ 調査結果の集計各表は端数処理（四捨五入）後の数値を使用しているため、内訳の合計値が 100 にならないことがあります。
- ・ 本文中における「学校種」とは、大学全体・短期大学全体・高等専門学校全体の別をさします。

【調査結果（単純集計）】

I 学長等の認識 学生支援全般に関する方針（グランドデザイン）について

1-① 学生支援の取組全般

学生支援の取組全般については、「現状よりも強化・充実させたい」と回答した割合が、大学全体では9割以上、短期大学全体・高等専門学校全体では8割以上となっている。前回調査と比べると、「現状よりも強化・充実させたい」と回答した割合は、各学校種ともに増加している。



【図 1-①】

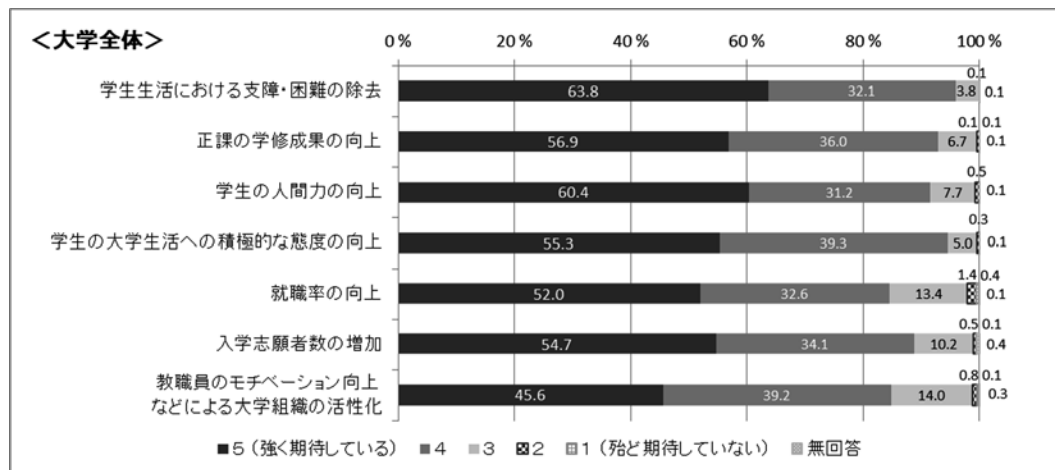
(単位:%)

		現状よりも強化・充実させたい	現状を維持していきたい	現状よりも縮小したい	無回答
平成29年度	大学 全体	92.3	7.5	0.0	0.3
	国立	93.0	7.0	0.0	0.0
	公立	87.5	12.5	0.0	0.0
	私立	92.9	6.8	0.0	0.3
	短期大学 全体	87.7	11.1	0.0	1.3
高等専門学校 全体	84.2	15.8	0.0	0.0	
<参考>					
平成27年度	大学 全体	90.8	6.5	0.0	2.7
	国立	96.5	3.5	0.0	0.0
	公立	83.1	12.0	0.0	4.8
	私立	91.1	6.1	0.0	2.7
	短期大学 全体	81.4	13.7	0.0	5.0
高等専門学校 全体	81.8	16.4	0.0	1.8	

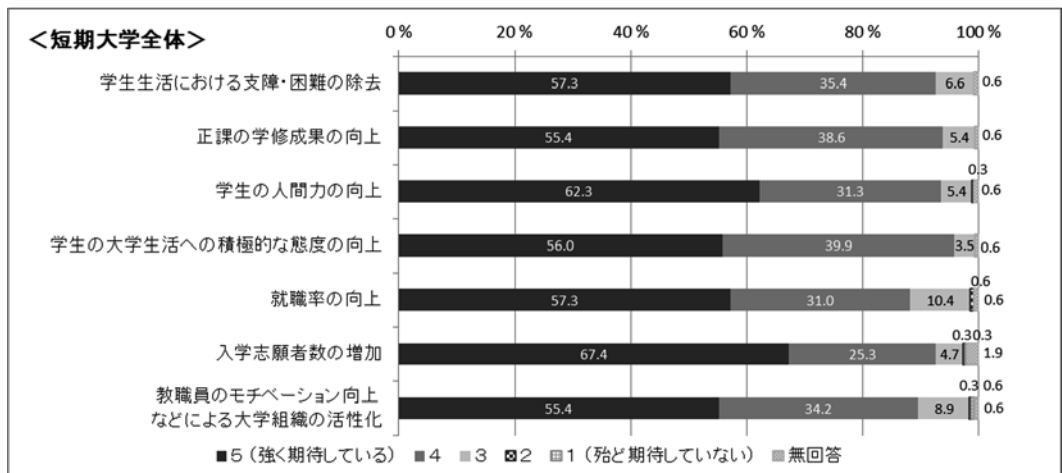
【表 1-①】

1-② 学生支援の成果（好影響）として期待すること

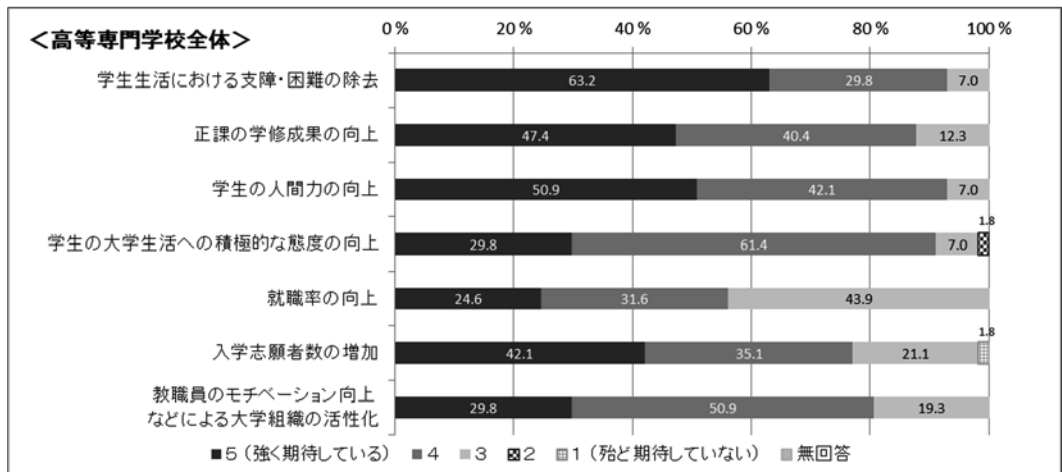
学生支援の成果（好影響）として期待することについて、「5（強く期待している）」と「4」を合わせた割合で最も高かったのは、大学全体では「学生生活における支障・困難の除去」（95.9%）、短期大学全体では「学生の大学生活への積極的な態度の向上」（95.9%）であった。高等専門学校全体では、「学生生活における支障・困難の除去」及び「学生の人間力の向上」が、いずれも 93.0%で最も高くなっている。



【図 1-②-1】



【図 1-②-2】



【図 1-②-3】

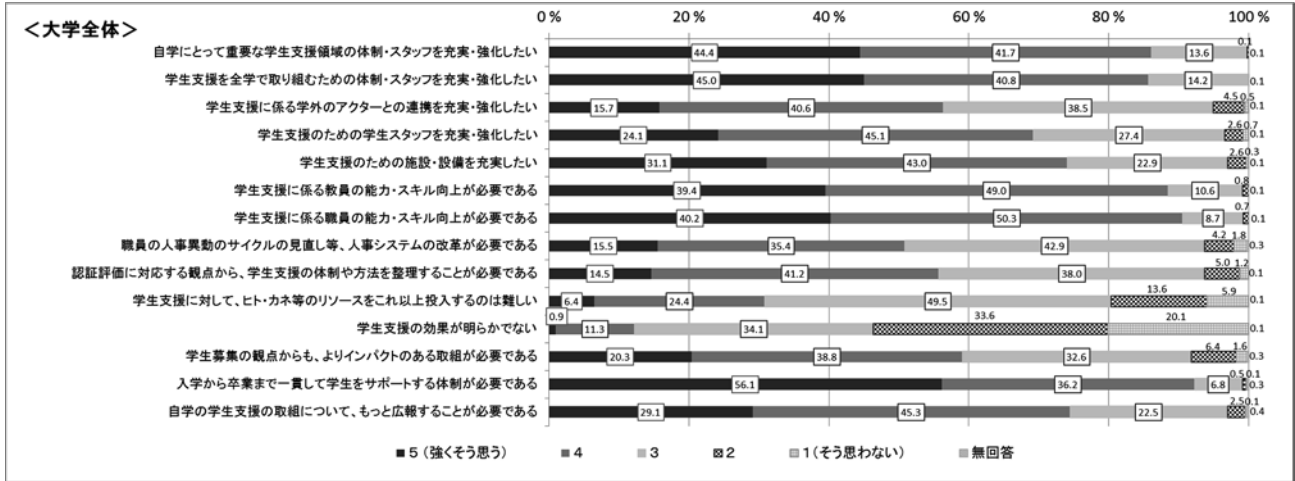
項目	区分	平成29年度						＜参考＞平成27年度					
		5 (強く期待している)	4	3	2	1 (殆ど期待していない)	無回答	5 (強く期待している)	4	3	2	1 (殆ど期待していない)	無回答
1 難(ける)学生生活(の)除(去)支(障)・困(難)に(お)け(る)の(積)極(的)な(態)度(の)向(上)	大学 全体	63.8	32.1	3.8	0.1	0.0	0.1	60.9	32.5	5.6	0.1	0.0	0.9
	国立	73.3	23.3	3.5	0.0	0.0	0.0	71.8	27.1	1.2	0.0	0.0	0.0
	公立	62.5	33.0	4.5	0.0	0.0	0.0	55.4	39.8	3.6	0.0	0.0	1.2
	私立	62.6	33.3	3.7	0.2	0.0	0.2	60.1	32.3	6.5	0.2	0.0	1.0
	短期大学 全体	57.3	35.4	6.6	0.0	0.0	0.6	55.6	33.5	8.7	0.6	0.0	1.6
	高等専門学校 全体	63.2	29.8	7.0	0.0	0.0	0.0	60.0	32.7	7.3	0.0	0.0	0.0
2 果(正)課(の)向(上)の(積)極(的)な(態)度(の)向(上)	大学 全体	56.9	36.0	6.7	0.1	0.1	0.1	56.9	35.9	6.0	0.1	0.0	1.1
	国立	45.3	50.0	4.7	0.0	0.0	0.0	54.1	38.8	7.1	0.0	0.0	0.0
	公立	52.3	36.4	11.4	0.0	0.0	0.0	43.4	48.2	7.2	0.0	0.0	1.2
	私立	59.3	34.0	6.3	0.2	0.2	0.2	59.2	33.8	5.6	0.2	0.0	1.2
	短期大学 全体	55.4	38.6	5.4	0.0	0.0	0.6	49.7	43.2	5.6	0.0	0.0	1.6
	高等専門学校 全体	47.4	40.4	12.3	0.0	0.0	0.0	45.5	41.8	12.7	0.0	0.0	0.0
の(積)極(的)な(態)度(の)向(上)	大学 全体	60.4	31.2	7.7	0.5	0.0	0.1	61.7	28.4	8.6	0.4	0.3	0.7
	国立	57.0	29.1	12.8	1.2	0.0	0.0	55.3	29.4	14.1	0.0	1.2	0.0
	公立	52.3	36.4	9.1	2.3	0.0	0.0	50.6	34.9	12.0	0.0	1.2	1.2
	私立	62.1	30.7	6.8	0.2	0.0	0.2	64.2	27.3	7.3	0.5	0.0	0.7
	短期大学 全体	62.3	31.3	5.4	0.3	0.0	0.6	62.7	29.2	6.2	0.3	0.0	1.6
	高等専門学校 全体	50.9	42.1	7.0	0.0	0.0	0.0	58.2	30.9	9.1	1.8	0.0	0.0
な(積)極(的)な(態)度(の)向(上)	大学 全体	55.3	39.3	5.0	0.3	0.0	0.1						
	国立	47.7	47.7	3.5	1.2	0.0	0.0						
	公立	44.3	44.3	11.4	0.0	0.0	0.0						
	私立	58.1	37.4	4.2	0.2	0.0	0.2						
	短期大学 全体	56.0	39.9	3.5	0.0	0.0	0.6						
	高等専門学校 全体	29.8	61.4	7.0	1.8	0.0	0.0						
就(職)率(の)向(上)	大学 全体	52.0	32.6	13.4	1.4	0.4	0.1	52.8	30.2	14.1	1.5	0.4	1.1
	国立	54.7	26.7	16.3	1.2	1.2	0.0	57.6	29.4	10.6	2.4	0.0	0.0
	公立	42.0	36.4	19.3	2.3	0.0	0.0	43.4	25.3	27.7	1.2	1.2	1.2
	私立	53.1	32.9	12.1	1.4	0.3	0.2	53.4	31.1	12.6	1.4	0.3	1.2
	短期大学 全体	57.3	31.0	10.4	0.6	0.0	0.6	57.5	30.7	8.4	1.6	0.0	1.9
	高等専門学校 全体	24.6	31.6	43.9	0.0	0.0	0.0	18.2	38.2	40.0	1.8	1.8	0.0
3 (の)入(学)志(願)者(数)の(増)加	大学 全体	54.7	34.1	10.2	0.5	0.1	0.4	54.0	31.7	11.1	1.7	0.4	1.1
	国立	38.4	45.3	15.1	0.0	1.2	0.0	44.7	40.0	11.8	3.5	0.0	0.0
	公立	33.0	46.6	20.5	0.0	0.0	0.0	41.0	32.5	20.5	3.6	1.2	1.2
	私立	60.3	30.6	8.0	0.7	0.0	0.5	57.2	30.4	9.7	1.2	0.3	1.2
	短期大学 全体	67.4	25.3	4.7	0.3	0.3	1.9	61.5	27.6	8.7	0.6	0.3	1.2
	高等専門学校 全体	42.1	35.1	21.1	0.0	1.8	0.0	36.4	47.3	14.5	1.8	0.0	0.0
組(な)べ(い)教(職)員(の)活(性)化(の)向(上)	大学 全体	45.6	39.2	14.0	0.8	0.1	0.3						
	国立	37.2	40.7	20.9	0.0	1.2	0.0						
	公立	33.0	46.6	17.0	3.4	0.0	0.0						
	私立	48.7	37.9	12.6	0.5	0.0	0.3						
	短期大学 全体	55.4	34.2	8.9	0.3	0.6	0.6						
	高等専門学校 全体	29.8	50.9	19.3	0.0	0.0	0.0						

※1 平成27年度：学生生活における困難の除去
 ※2 平成27年度：正課における学修成果への好影響
 ※3 平成27年度：入学志願者数への好影響

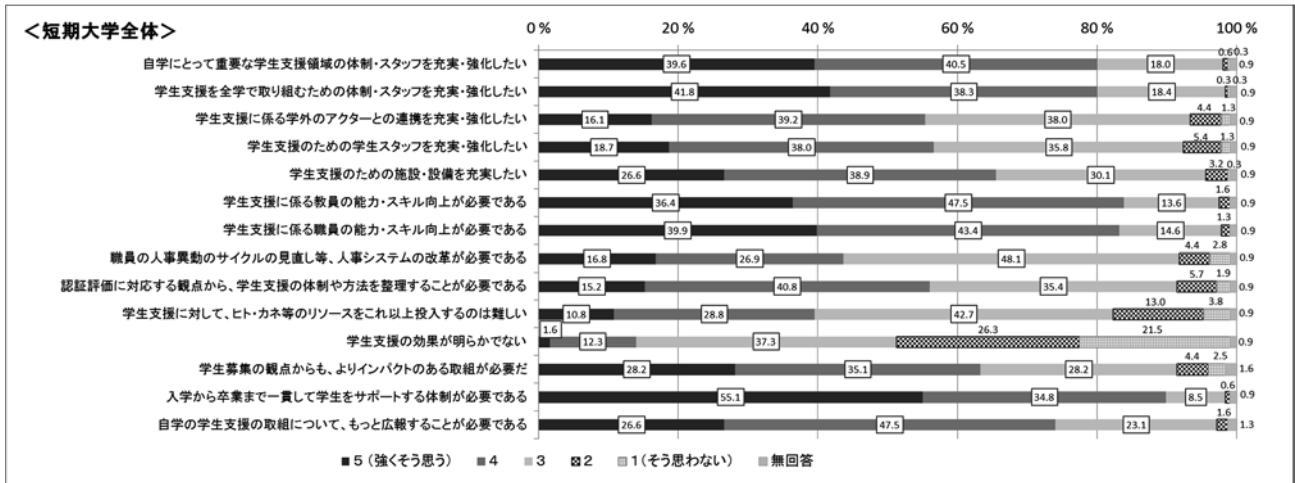
【表 1-②】

1-③ 学生支援を進めるための方策や課題

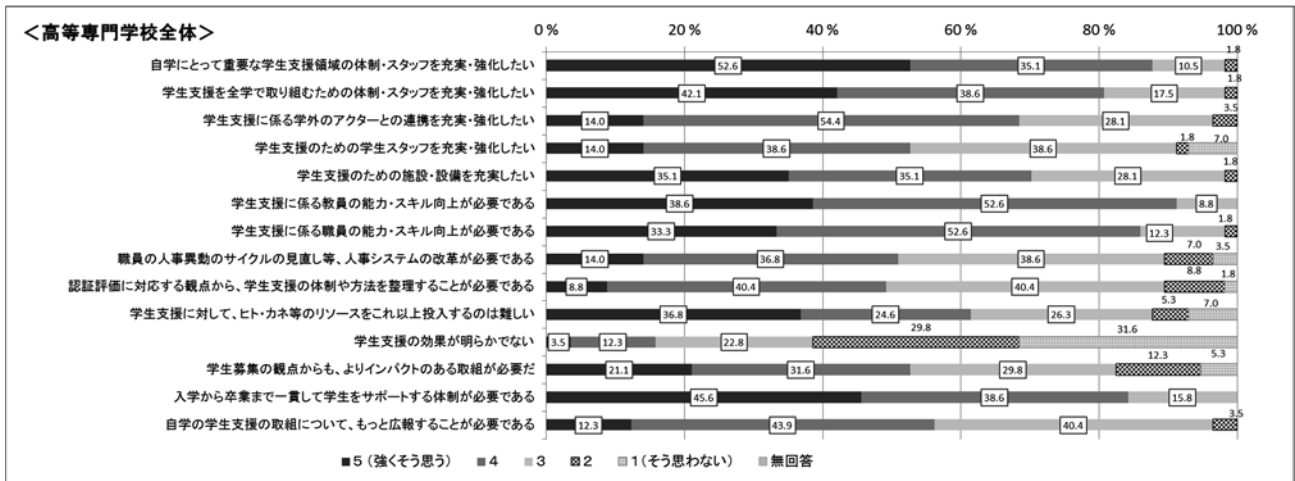
学生支援を進めるための方策や課題について、「5(強く思う)」と「4」を合わせた割合をみると、各学校種ともに「入学から卒業まで一貫して学生をサポートする体制が必要である」「学生支援に係る職員(教員)の能力・スキル向上が必要である」の割合が高くなっている。「学生募集の観点からも、よりインパクトのある取組が必要である」と回答した学校で、構想(想定)している取組として記述されたものでは、奨学金や授業料減免制度の充実、キャンパス内の環境整備、修学・学習支援の強化、学生サポート部署の充実等があった。



【図 1-③-1】



【図 1-③-2】



【図 1-③-3】

(単位：%)

	平成29年度						<参考>平成27年度							
	5 (強く思う)	4	3	2	1 (そう思わない)	無回答	5 (強く思う)	4	3	2	1 (そう思わない)	無回答		
自学にとって重要な学生支援領域の体制・スタッフを充実・強化したい	大学 全体		44.4	41.7	13.6	0.1	0.0	42.4	41.1	15.0	0.3	0.1	1.1	
	国立	48.8	41.9	9.3	0.0	0.0	0.0	56.5	29.4	14.1	0.0	0.0	0.0	
		公立	44.3	35.2	20.5	0.0	0.0	0.0	36.1	45.8	16.9	0.0	0.0	1.2
	私立	43.8	42.6	13.2	0.2	0.0	0.2	41.3	42.2	14.8	0.3	0.2	1.2	
		短期大学 全体		39.6	40.5	18.0	0.6	0.3	0.9	32.6	46.9	18.0	0.6	0.3
高等専門学校 全体		52.6	35.1	10.5	1.8	0.0	0.0	34.5	45.5	20.0	0.0	0.0	0.0	
学生支援を全学で取り組むための体制・スタッフを充実・強化したい	大学 全体		45.0	40.8	14.2	0.0	0.0	0.1	43.9	40.3	14.1	0.5	0.1	1.1
	国立	44.2	47.7	8.1	0.0	0.0	0.0	51.8	38.8	9.4	0.0	0.0	0.0	
		公立	44.3	37.5	18.2	0.0	0.0	0.0	41.0	38.6	19.3	0.0	0.0	1.2
	私立	45.2	40.2	14.4	0.0	0.0	0.2	43.2	40.8	14.0	0.7	0.2	1.2	
		短期大学 全体		41.8	38.3	18.4	0.3	0.3	0.9	34.2	45.0	18.3	0.3	0.6
高等専門学校 全体		42.1	38.6	17.5	1.8	0.0	0.0	34.5	47.3	18.2	0.0	0.0	0.0	
学生支援に係る学外のアクターとの連携を充実・強化したい(※1)	大学 全体		15.7	40.6	38.5	4.5	0.5	0.1	15.4	36.9	39.7	6.0	0.9	1.2
	国立	18.6	47.7	32.6	1.2	0.0	0.0	18.8	38.8	40.0	1.2	1.2	0.0	
		公立	15.9	44.3	35.2	4.5	0.0	0.0	16.9	41.0	36.1	4.8	0.0	1.2
	私立	15.3	39.0	39.9	4.9	0.7	0.2	14.7	36.0	40.1	6.8	1.0	1.4	
		短期大学 全体		16.1	39.2	38.0	4.4	1.3	0.9	12.1	33.5	45.3	5.9	1.6
高等専門学校 全体		14.0	54.4	28.1	3.5	0.0	0.0	10.9	60.0	25.5	3.6	0.0	0.0	
学生支援のための学生スタッフを充実・強化したい	大学 全体		24.1	45.1	27.4	2.6	0.7	0.1	23.7	42.0	28.0	4.2	0.9	1.1
	国立	31.4	52.3	14.0	2.3	0.0	0.0	25.9	44.7	22.4	5.9	1.2	0.0	
		公立	14.8	45.5	37.5	2.3	0.0	0.0	13.3	50.6	30.1	4.8	0.0	1.2
	私立	24.4	44.0	27.8	2.7	0.8	0.2	24.9	40.4	28.5	3.9	1.0	1.2	
		短期大学 全体		18.7	38.0	35.8	5.4	1.3	0.9	16.5	36.0	40.1	4.3	1.6
高等専門学校 全体		14.0	38.6	38.6	1.8	7.0	0.0	12.7	38.2	34.5	9.1	5.5	0.0	
学生支援のための施設・設備を充実したい(※2)	大学 全体		31.1	43.0	22.9	2.6	0.3	0.1	29.8	45.6	20.2	2.5	0.8	1.1
	国立	39.5	51.2	7.0	2.3	0.0	0.0	35.3	44.7	17.6	2.4	0.0	0.0	
		公立	31.8	31.8	33.0	2.3	1.1	0.0	28.9	41.0	24.1	2.4	2.4	1.2
	私立	29.7	43.5	23.8	2.7	0.2	0.2	29.3	46.6	20.0	2.6	0.7	1.2	
		短期大学 全体		26.6	38.9	30.1	3.2	0.3	0.9	23.3	43.5	28.6	1.9	1.2
高等専門学校 全体		35.1	35.1	28.1	1.8	0.0	0.0	41.8	32.7	23.6	1.8	0.0	0.0	
学生支援に係る教員の能力・スキル向上が必要である	大学 全体		39.4	49.0	10.6	0.8	0.0	0.1	37.9	49.2	11.0	0.7	0.1	1.1
	国立	33.7	58.1	8.1	0.0	0.0	0.0	40.0	47.1	12.9	0.0	0.0	0.0	
		公立	30.7	55.7	12.5	1.1	0.0	0.0	31.3	43.4	21.7	2.4	0.0	1.2
	私立	41.6	46.7	10.7	0.8	0.0	0.2	38.6	50.3	9.2	0.5	0.2	1.2	
		短期大学 全体		36.4	47.5	13.6	1.6	0.0	0.9	36.6	49.4	11.2	0.9	0.3
高等専門学校 全体		38.6	52.6	8.8	0.0	0.0	0.0	32.7	52.7	14.5	0.0	0.0	0.0	
学生支援に係る職員の能力・スキル向上が必要である	大学 全体		40.2	50.3	8.7	0.7	0.0	0.1	37.4	49.2	11.5	0.5	0.3	1.1
	国立	31.4	60.5	8.1	0.0	0.0	0.0	35.3	47.1	17.6	0.0	0.0	0.0	
		公立	34.1	55.7	9.1	1.1	0.0	0.0	31.3	47.0	19.3	1.2	0.0	1.2
	私立	42.4	48.0	8.7	0.7	0.0	0.2	38.6	49.8	9.6	0.5	0.3	1.2	
		短期大学 全体		39.9	43.4	14.6	1.3	0.0	0.9	36.3	48.8	12.1	0.9	0.0
高等専門学校 全体		33.3	52.6	12.3	1.8	0.0	0.0	29.1	52.7	18.2	0.0	0.0	0.0	
職員の人事異動のサイクルの見直し等、人事システムの改革が必要である	大学 全体		15.5	35.4	42.9	4.2	1.8	0.3						
	国立	5.8	40.7	47.7	5.8	0.0	0.0							
		公立	19.3	29.5	44.3	4.5	1.1	1.1						
	私立	16.3	35.5	41.9	3.9	2.2	0.2							
		短期大学 全体		16.8	26.9	48.1	4.4	2.8	0.9					
高等専門学校 全体		14.0	36.8	38.6	7.0	3.5	0.0							
認証評価に対応する観点から、学生支援の体制や方法を整理することが必要である	大学 全体		14.5	41.2	38.0	5.0	1.2	0.1						
	国立	5.8	45.3	43.0	4.7	1.2	0.0							
		公立	5.7	38.6	45.5	6.8	3.4	0.0						
	私立	17.1	40.9	36.2	4.8	0.8	0.2							
		短期大学 全体		15.2	40.8	35.4	5.7	1.9	0.9					
高等専門学校 全体		8.8	40.4	40.4	8.8	1.8	0.0							
学生支援に対して、ヒト・カネ等のリソースをこれ以上投入するのは難しい(※3)	大学 全体		6.4	24.4	49.5	13.6	5.9	0.1	10.5	23.6	48.5	12.2	4.1	1.1
	国立	11.6	30.2	38.4	16.3	3.5	0.0	15.3	28.2	37.6	14.1	4.7	0.0	
		公立	10.2	30.7	43.2	14.8	1.1	0.0	14.5	24.1	47.0	10.8	2.4	1.2
	私立	5.1	22.6	52.1	13.1	7.0	0.2	9.2	22.9	50.3	12.1	4.3	1.2	
		短期大学 全体		10.8	28.8	42.7	13.0	3.8	0.9	13.4	27.6	41.3	11.8	4.0
高等専門学校 全体		36.8	24.6	26.3	5.3	7.0	0.0	41.8	29.1	23.6	1.8	3.6	0.0	
学生支援の効果が明らかでない	大学 全体		0.9	11.3	34.1	33.6	20.1	0.1	1.7	13.1	34.7	30.1	19.4	0.9
	国立	1.2	8.1	27.9	37.2	25.6	0.0	1.2	9.4	30.6	31.8	27.1	0.0	
		公立	1.1	13.6	34.1	35.2	15.9	0.0	3.6	14.5	30.1	28.9	21.7	1.2
	私立	0.8	11.4	35.0	32.8	19.9	0.2	1.5	13.5	36.0	30.0	17.9	1.0	
		短期大学 全体		1.6	12.3	37.3	26.3	21.5	0.9	3.4	11.8	33.5	28.9	20.5
高等専門学校 全体		3.5	12.3	22.8	29.8	31.6	0.0	0.0	10.9	23.6	30.9	34.5	0.0	
学生募集の観点からも、よりインパクトのある取組が必要である	大学 全体		20.3	38.8	32.6	6.4	1.6	0.3	22.1	36.3	30.8	7.0	2.4	1.3
	国立	11.6	43.0	32.6	10.5	2.3	0.0	14.1	40.0	28.2	12.9	4.7	0.0	
		公立	9.1	33.0	39.8	18.2	0.0	0.0	14.5	28.9	42.2	12.0	1.2	1.2
	私立	23.3	39.0	31.6	4.1	1.7	0.3	24.4	36.9	29.5	5.5	2.2	1.5	
		短期大学 全体		28.2	35.1	28.2	4.4	2.5	1.6	24.8	34.2	31.7	5.3	1.9
高等専門学校 全体		21.1	31.6	29.8	12.3	5.3	0.0	18.2	25.5	38.2	14.5	1.8	1.8	
入学から卒業まで一貫して学生をサポートする体制が必要である	大学 全体		56.1	36.2	6.8	0.5	0.1	0.3	55.0	34.1	9.3	0.5	0.1	0.9
	国立	60.5	32.6	5.8	0.0	1.2	0.0	58.8	32.9	8.2	0.0	0.0	0.0	
		公立	45.5	40.9	13.6	0.0	0.0	0.0	45.8	42.2	9.6	0.0	1.2	1.2
	私立	57.0	36.0	5.9	0.7	0.0	0.3	55.8	33.1	9.4	0.7	0.0	1.0	
		短期大学 全体		55.1	34.8	8.5	0.6	0.0	0.9	52.2	35.4	9.6	0.6	0.0
高等専門学校 全体		45.6	38.6	15.8	0.0	0.0	0.0	40.0	41.8	18.2	0.0	0.0	0.0	
自学の学生支援の取組について、もっと広報することが必要である	大学 全体		29.1	45.3	22.5	2.5	0.1	0.4	27.7	43.1	25.2	2.4	0.4	1.2
	国立	23.3	50.0	24.4	2.3	0.0	0.0	25.9	42.4	28.2	2.4	1.2	0.0	
		公立	18.2	52.3	26.1	3.4	0.0	0.0	20.5	47.0	27.7	2.4	1.2	1.2
	私立	31.6	43.6	21.7	2.4	0.2	0.5	29.0	42.7	24.4	2.4	0.2	1.4	
		短期大学 全体		26.6	47.5	23.1	1.6	0.0	1.3	27.0	40.4	28.3	1.9	0.3
高等専門学校 全体		12.3	43.9	40.4	3.5	0.0	0.0	10.9	43.6	36.4	9.1	0.0	0.0	

※1 平成27年度 学外のアクターとの連携によって、学生支援を充実・強化したい

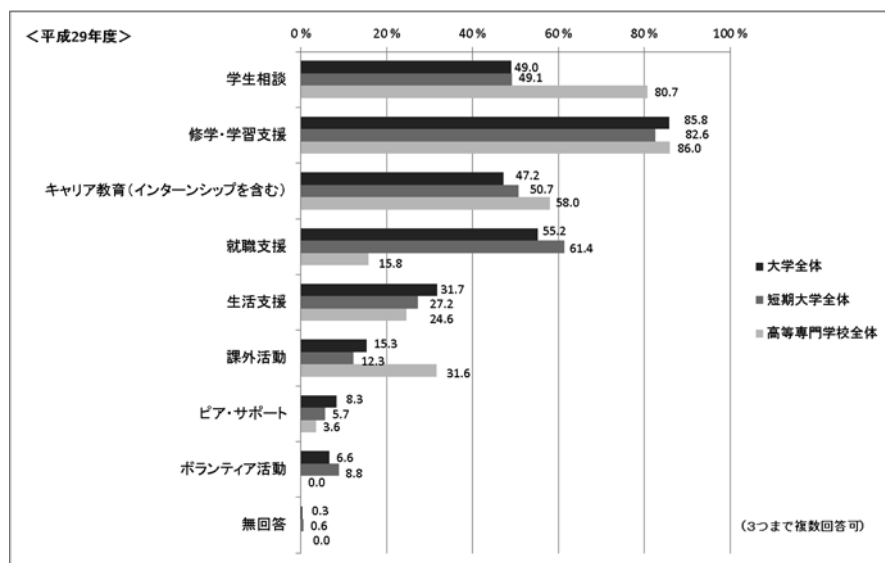
※2 平成27年度 学生支援のための施設・設備を充実・強化したい

※3 平成27年度 ヒト、カネ等のリソースをこれ以上投入するのは難しい

【表1-③】

1-④ 学生支援において特に重視すべき領域

学生支援において特に重視すべき領域(上位3つまで選択)において、各学校種ともに最も割合が高かったのは「修学・学習支援」であった。次に、大学全体、短期大学全体では「就職支援」、高等専門学校全体では「学生相談」が高い割合になっている。



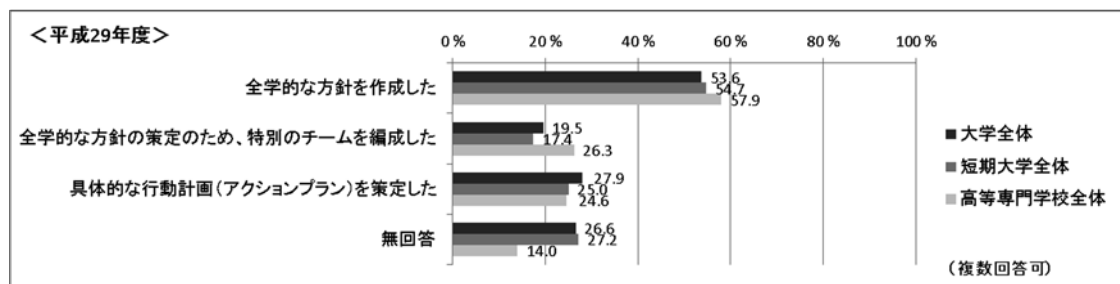
【図1-④】

	学生相談	修学・学習支援	キャリア教育(インターンシップを含む)	就職支援	生活支援	課外活動	ピア・サポート	ボランティア活動	無回答
大学 全体	49.0	85.8	47.2	55.2	31.7	15.3	8.3	6.6	0.3
国立	55.8	72.1	44.1	55.8	46.5	12.9	4.7	8.2	0.0
公立	67.1	82.9	39.7	53.4	35.2	6.8	8.0	6.9	0.0
私立	45.3	88.3	48.8	55.4	29.0	17.0	8.8	6.3	0.3
短期大学 全体	49.1	82.6	50.7	61.4	27.2	12.3	5.7	8.8	0.6
高等専門学校 全体	80.7	86.0	58.0	15.8	24.6	31.6	3.6	0.0	0.0

【表1-④】

1-⑤ 学生支援のための全学的な方針等

学生支援のための全学的な方針等については、各学校種ともに、「全学的な方針を作成した」の割合が最も高くなっている。前回調査と比べると、「具体的な行動計画を策定した」の割合が10ポイント程度増加している。



【図1-⑤】

	全学的な方針を作成した	全学的な方針の策定のため、特別のチームを編成した	具体的な行動計画(アクションプラン)を策定した	無回答
平成29年度				
大学 全体	53.6	19.5	27.9	26.6
国立	50.0	20.9	30.2	30.2
公立	58.0	14.8	20.5	26.1
私立	53.5	20.0	28.7	26.1
短期大学 全体	54.7	17.4	25.0	27.2
高等専門学校 全体	57.9	26.3	24.6	14.0

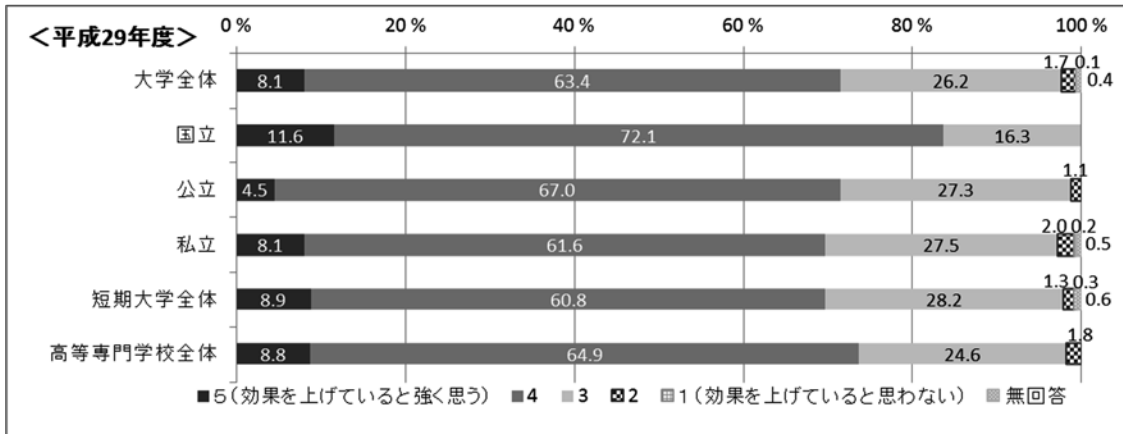
<参考>

	全学的な方針を作成した	全学的な方針の策定のため、特別のチームを編成した	具体的な行動計画(アクションプラン)を策定した	無回答
平成27年度				
大学 全体	48.8	18.6	17.4	34.0
国立	47.1	15.3	20.0	37.6
公立	39.8	7.2	14.5	44.6
私立	50.3	20.6	17.4	31.9
短期大学 全体	50.0	14.3	11.2	38.8
高等専門学校 全体	47.3	20.0	12.7	27.3

【表1-⑤】

1-⑥(1) 学生支援の取組の効果

学生支援の取組の効果については、「5(効果を上げていると強く思う)」と「4」を合わせた割合をみると、各学校種ともに7割程度となっている。大学全体を設置者別でみると、国立大学(83.7%)が最も高くなっている。



【図1-⑥(1)】

(単位: %)

		5 (効果を上げていると強く思う)	4	3	2	1 (効果を上げていると思わない)	無回答
平成29年度	大学 全体	8.1	63.4	26.2	1.7	0.1	0.4
	国立	11.6	72.1	16.3	0.0	0.0	0.0
	公立	4.5	67.0	27.3	1.1	0.0	0.0
	私立	8.1	61.6	27.5	2.0	0.2	0.5
	短期大学 全体	8.9	60.8	28.2	1.3	0.3	0.6
	高等専門学校 全体	8.8	64.9	24.6	1.8	0.0	0.0

<参考>

		5 (効果を上げていると強く思う)	4	3	2	1 (効果を上げていると思わない)	無回答
平成27年度	大学 全体	11.1	58.9	25.7	2.1	0.1	2.0
	国立	11.8	72.9	15.3	0.0	0.0	0.0
	公立	10.8	62.7	24.1	1.2	0.0	1.2
	私立	11.1	56.3	27.5	2.6	0.2	2.4
	短期大学 全体	9.3	64.9	22.7	1.2	0.3	1.6
	高等専門学校 全体	5.5	63.6	30.9	0.0	0.0	0.0

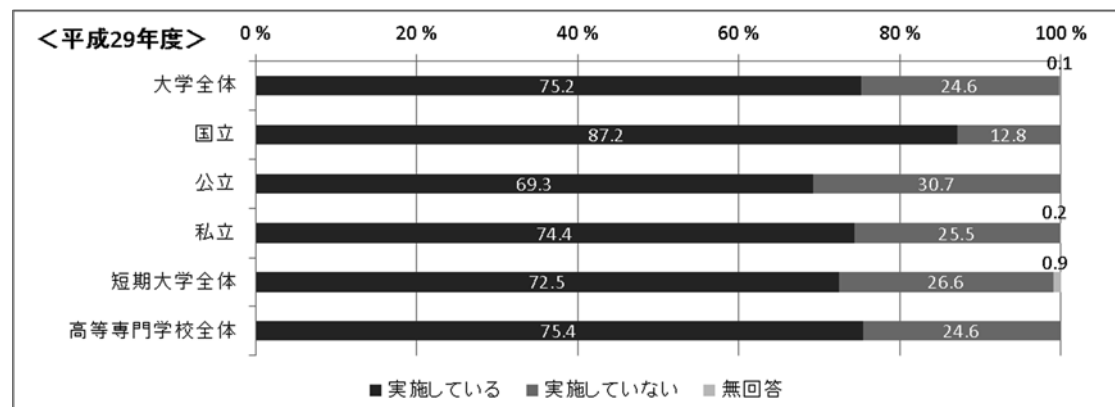
【表1-⑥(1)】

1-⑥(2) (3) 学生支援の効果を測定するための評価の実施及び評価の指標

学生支援の効果を測定するための評価の実施については、各学校種ともに、7割以上が「実施している」と回答しており、大学全体を設置者別でみると、国立大学(87.2%)が最も高くなっている。

学生支援の効果を測定するための評価の指標では、各学校種ともに「学生アンケート」の割合が最も高く、次いで、大学全体・短期大学全体では「就職率」、高等専門学校全体では「学生相談の件数」「成績」が高くなっている。「その他」の具体的な内容としては、保護者や卒業生に対するアンケート、進級率(留年率)、資格取得率、ガイダンス等の出席率、課外活動参加学生数等があった。

<評価の実施>



【図1-⑥(2)】

(単位: %)

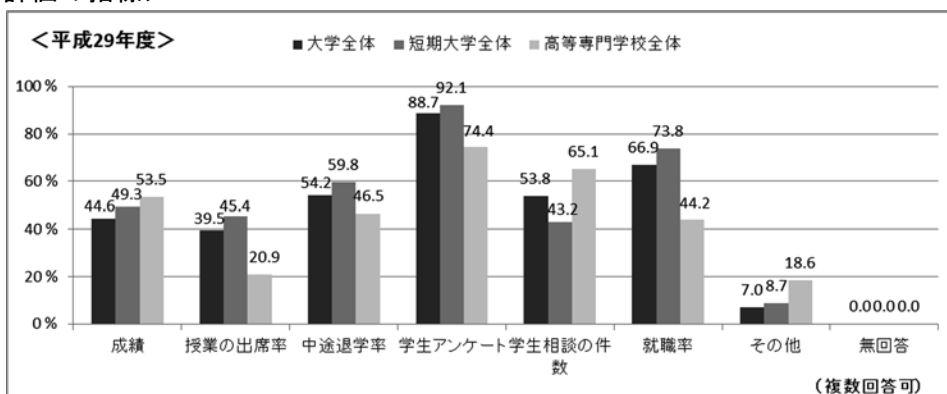
		実施している	実施していない	無回答	
平成29年度	大学 全体	75.2	24.6	0.1	
		国立	87.2	12.8	0.0
		公立	69.3	30.7	0.0
		私立	74.4	25.5	0.2
	短期大学 全体	72.5	26.6	0.9	
	高等専門学校 全体	75.4	24.6	0.0	

<参考>

		実施している	実施していない	無回答	
平成27年度	大学 全体	71.4	27.6	1.1	
		国立	78.8	21.2	0.0
		公立	63.9	34.9	1.2
		私立	71.3	27.5	1.2
	短期大学 全体	71.1	27.0	1.9	
	高等専門学校 全体	58.2	41.8	0.0	

【表1-⑥(2)】

<評価の指標>



【図1-⑥(3)】

(単位: %)

		成績	授業の出席率	中途退学率	学生アンケート	学生相談の件数	就職率	その他	無回答	
平成29年度	大学 全体	44.6	39.5	54.2	88.7	53.8	66.9	7.0	0.0	
		国立	22.7	10.7	28.0	89.3	77.3	70.7	9.3	0.0
		公立	34.4	21.3	42.6	86.9	42.6	68.9	16.4	0.0
		私立	49.8	47.0	60.3	88.8	51.4	66.0	5.3	0.0
	短期大学 全体	49.3	45.4	59.8	92.1	43.2	73.8	8.7	0.0	
	高等専門学校 全体	53.5	20.9	46.5	74.4	65.1	44.2	18.6	0.0	

<参考>

		成績	授業の出席率	中途退学率	学生アンケート	学生相談の件数	就職率	その他	無回答	
平成27年度	大学 全体	34.0	31.6	46.8	87.7	44.1	63.0	10.8	0.4	
		国立	23.9	14.9	26.9	89.6	61.2	65.7	11.9	0.0
		公立	20.8	13.2	34.0	88.7	49.1	66.0	20.8	0.0
		私立	37.3	36.6	51.7	87.3	40.7	62.2	9.3	0.5
	短期大学 全体	42.4	37.6	47.2	88.6	34.1	69.9	8.7	0.4	
	高等専門学校 全体	59.4	31.3	43.8	75.0	68.8	59.4	25.0	0.0	

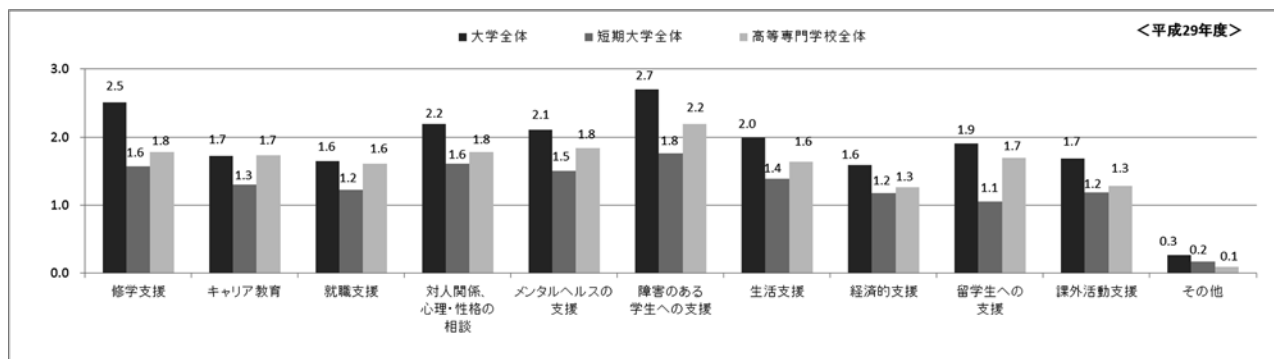
【表1-⑥(3)】

II 学生支援に関する組織等

2-① 学生支援に関する組織等 支援内容別組織数

学生支援に関する組織等の支援内容別組織数(1学校あたりの平均組織数)については、各学校種ともに「障害のある学生への支援」領域が最も多く、大学全体では「修学支援」領域も多くなっている。前回調査と比べて、各学校種ともに、「障害学生支援」領域が特に増加している。

【図2-①】



(単位:組織)

領域	平成29年度			平成27年度		
	大学全体	短期大学全体	高等専門学校全体	大学全体	短期大学全体	高等専門学校全体
修学支援に関するもの	2.5	1.6	1.8	2.3	1.5	1.6
キャリア教育に関するもの	1.7	1.3	1.7	1.6	1.2	1.6
就職支援に関するもの	1.6	1.2	1.6	1.6	1.2	1.5
対人関係、心理・性格の相談に関するもの	2.2	1.6	1.8	2.0	1.5	1.7
メンタルヘルスの支援に関するもの	2.1	1.5	1.8	2.0	1.4	1.7
障害のある学生への支援に関するもの	2.7	1.8	2.2	2.3	1.5	1.9
生活支援に関するもの	2.0	1.4	1.6	1.8	1.3	1.5
経済的支援に関するもの	1.6	1.2	1.3	1.5	1.1	1.2
留学生への支援に関するもの	1.9	1.1	1.7	1.7	0.9	1.4
課外活動支援に関するもの	1.7	1.2	1.3	1.6	1.1	1.3
その他	0.3	0.2	0.1			

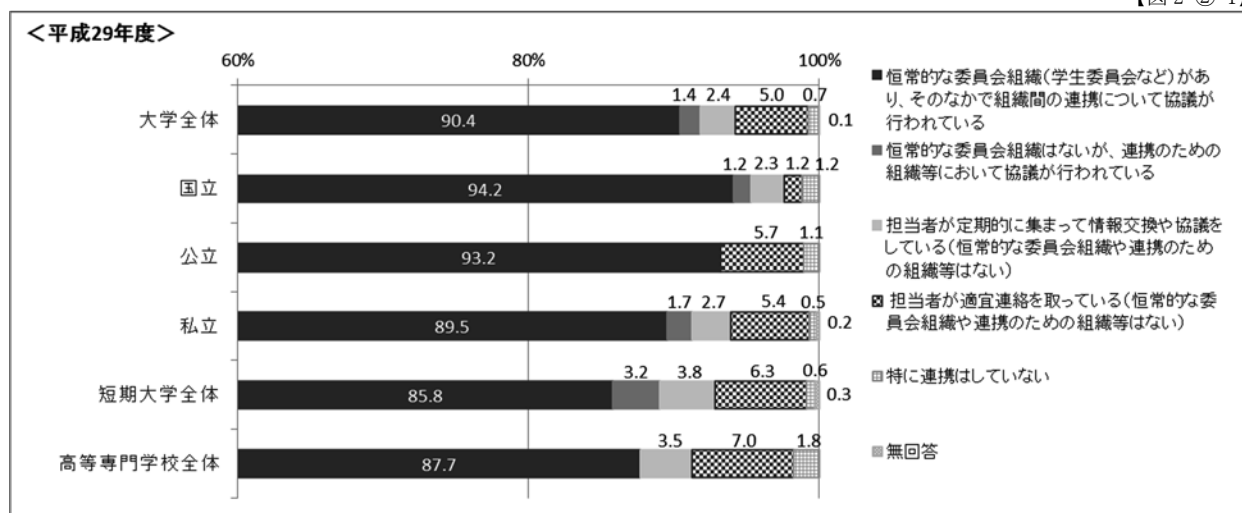
【表2-①】

2-② 組織間での連携のための委員会組織等

<設置状況>

組織間の連携にかかる委員会組織等の設置状況については、各学校種ともに「恒常的な委員会組織で連携について協議」と回答した割合が最も高く、8割を超えている。なお、前回調査と比べて、大きな変化はない。

【図2-②-1】



(単位:%)

		恒常的な委員会組織(学生委員会など)があり、そのなかで組織間の連携について協議が行われている	恒常的な委員会組織はないが、連携のための組織等において協議が行われている	担当者が定期的に集まって情報交換や協議をしている(恒常的な委員会組織や連携のための組織等はない)	担当者が適宜連絡を取っている(恒常的な委員会組織や連携のための組織等はない)	特に連携はしていない	無回答
平成29年度	大学全体	90.4	1.4	2.4	5.0	0.7	0.1
	国立	94.2	1.2	2.3	1.2	1.2	0.0
	公立	93.2	0.0	0.0	5.7	1.1	0.0
	私立	89.5	1.7	2.7	5.4	0.5	0.2
	短期大学全体	85.8	3.2	3.8	6.3	0.6	0.3
	高等専門学校全体	87.7	0.0	3.5	7.0	1.8	0.0

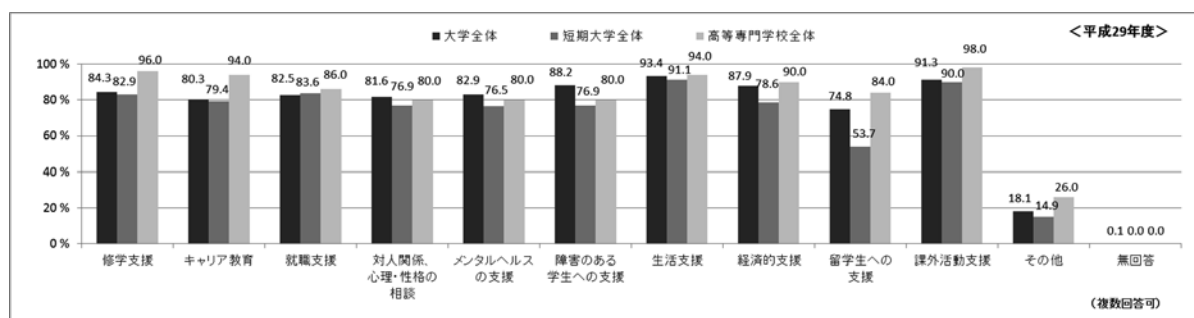
<参考>

平成27年度	大学全体	88.9	1.1	3.4	5.0	0.3	1.3
	国立	90.6	0.0	3.5	2.4	1.2	2.4
	公立	94.0	0.0	1.2	3.6	0.0	1.2
	私立	87.9	1.4	3.8	5.6	0.2	1.2
	短期大学全体	84.2	1.6	5.3	4.3	0.9	3.7
	高等専門学校全体	85.5	1.8	1.8	7.3	1.8	1.8

【表2-②-1】

<支援内容>

組織間での連携のための委員会・組織等が所掌する支援内容については、大学全体及び短期大学全体では「生活支援」、高等専門学校全体では「課外活動支援」が最も高くなっている。前回調査と比べると、大学全体及び短期大学全体では大きな変化はないが、高等専門学校全体では「キャリア教育」が 10.7 ポイント、「就職支援」が 11.0 ポイント増加している。「その他」の内容としては、ハラスメント、学生寮に関する事等があった。



【図 2-②-2】

		修学支援に関するもの	キャリア教育に関するもの	就職支援に関するもの	対人関係、心理・性格の相談に関するもの	メンタルヘルスの支援に関するもの	障害のある学生への支援に関するもの	生活支援に関するもの	経済的支援に関するもの	留学生への支援に関するもの	課外活動支援に関するもの	その他	無回答
平成29年度	大学 全体	84.3	80.3	82.5	81.6	82.9	88.2	93.4	87.9	74.8	91.3	18.1	0.1
	国立	93.9	90.2	90.2	85.4	87.8	96.3	98.8	97.6	89.0	95.1	20.7	0.0
	公立	81.7	79.3	85.4	78.0	85.4	86.6	95.1	90.2	70.7	89.0	13.4	0.0
	私立	83.2	79.0	80.8	81.6	81.8	87.2	92.4	86.0	73.2	91.1	18.4	0.2
	短期大学 全体	82.9	79.4	83.6	76.9	76.5	76.9	91.1	78.6	53.7	90.0	14.9	0.0
	高等専門学校 全体	96.0	94.0	86.0	80.0	80.0	80.0	94.0	90.0	84.0	98.0	26.0	0.0

(単位:%)

<参考>

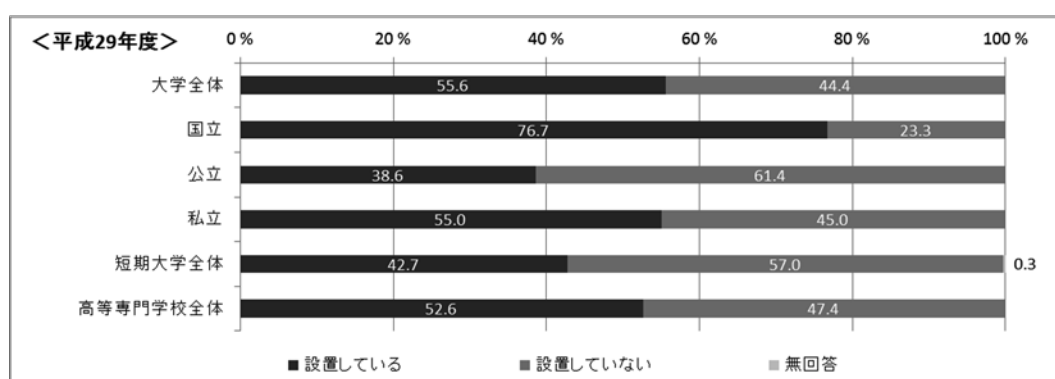
		修学支援に関するもの	キャリア教育に関するもの	就職支援に関するもの	対人関係、心理・性格の相談に関するもの	メンタルヘルスの支援に関するもの	障害のある学生への支援に関するもの	生活支援に関するもの	経済的支援に関するもの	留学生への支援に関するもの	課外活動支援に関するもの	その他	無回答
平成27年度	大学 全体	85.4	79.9	83.3	82.4	82.4	84.7	94.5	88.5	74.8	92.3	18.0	0.1
	国立	92.2	94.8	96.1	84.4	85.7	98.7	100.0	100.0	90.9	97.4	23.4	0.0
	公立	85.9	76.9	85.9	76.9	80.8	82.1	93.6	85.9	73.1	89.7	12.8	0.0
	私立	84.3	78.2	81.1	83.0	82.2	83.0	93.9	87.2	72.7	92.0	18.0	0.2
	短期大学 全体	81.2	76.8	81.5	74.6	73.9	70.3	89.1	81.2	55.1	86.6	16.3	0.0
	高等専門学校 全体	87.5	83.3	75.0	72.9	75.0	79.2	91.7	89.6	77.1	91.7	25.0	0.0

【表 2-②-2】

2-③ 学生の抱える課題に対して包括的に対応することを目的とする領域横断的かつ恒常的な組織

<設置状況>

領域横断的かつ恒常的な組織の設置状況については、大学全体と高等専門学校全体において5割を超えている。大学全体を設置者別でみると特に国立大学が高く、また、前回調査と比べて 8.5 ポイント増加している。



【図 2-③-1】

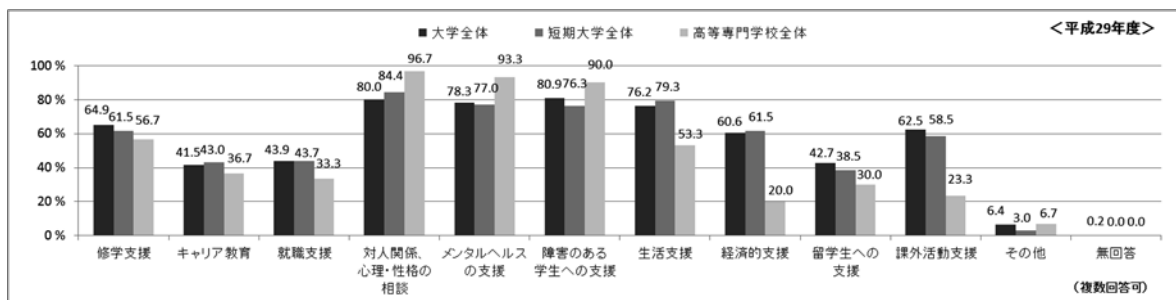
(単位:%)

	平成29年度			(参考)平成27年度		
	設置している	設置していない	無回答	設置している	設置していない	無回答
大学 全体	55.6	44.4	0.0	52.3	46.9	0.8
国立	76.7	23.3	0.0	68.2	31.8	0.0
公立	38.6	61.4	0.0	32.5	66.3	1.2
私立	55.0	45.0	0.0	52.7	46.4	0.9
短期大学 全体	42.7	57.0	0.3	44.4	53.1	2.5
高等専門学校 全体	52.6	47.4	0.0	47.3	52.7	0.0

【表 2-③-1】

<支援内容>

領域横断的かつ恒常的な組織が所掌する支援内容については、各学校種ともに「対人関係、心理・性格の相談」「メンタルヘルスの支援」「障害のある学生への支援」に関するものの割合が高くなっている。前回調査と比べると、高等専門学校全体において、「就職支援」が10.2ポイント増加している。



【図2-③-2】

(単位: %)

		修学支援に関するもの	キャリア教育に関するもの	就職支援に関するもの	対人関係、心理・性格の相談に関するもの	メンタルヘルスの支援に関するもの	障害のある学生への支援に関するもの	生活支援に関するもの	経済的支援に関するもの	留学生への支援に関するもの	課外活動支援に関するもの	その他	無回答
平成29年度	大学 全体	64.9	41.5	43.9	80.0	78.3	80.9	76.2	60.6	42.7	62.5	6.4	0.2
	国立	65.2	59.1	69.7	75.8	77.3	84.8	74.2	59.1	45.5	63.6	7.6	0.0
	公立	58.8	58.8	67.6	79.4	79.4	88.2	79.4	64.7	44.1	67.6	5.9	0.0
	私立	65.4	36.1	36.1	80.9	78.4	79.3	76.2	60.5	42.0	61.7	6.2	0.3
	短期大学 全体	61.5	43.0	43.7	84.4	77.0	76.3	79.3	61.5	38.5	58.5	3.0	0.0
高等専門学校 全体	56.7	36.7	33.3	96.7	93.3	90.0	53.3	20.0	30.0	23.3	6.7	0.0	

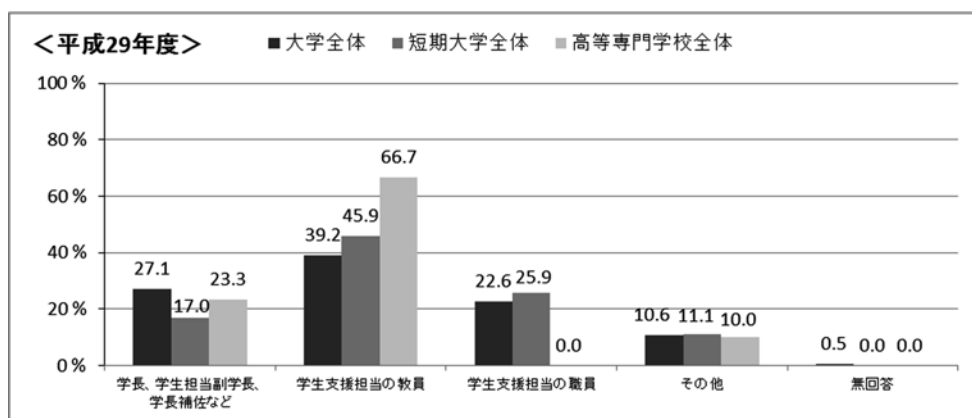
<参考>

平成27年度	大学 全体	64.7	41.6	46.7	81.2	79.7	77.9	77.4	64.5	44.4	66.0	8.4	0.5
	国立	67.2	58.6	74.1	79.3	82.8	84.5	77.6	69.0	51.7	74.1	10.3	0.0
	公立	59.3	51.9	70.4	74.1	77.8	77.8	70.4	59.3	44.4	55.6	14.8	0.0
	私立	64.7	37.5	39.5	82.2	79.3	76.7	78.0	64.1	43.0	65.4	7.4	0.6
	短期大学 全体	62.2	46.9	51.7	85.3	82.5	69.9	74.1	58.0	38.5	53.1	6.3	0.0
高等専門学校 全体	53.8	34.6	23.1	96.2	92.3	92.3	50.0	23.1	30.8	23.1	3.8	0.0	

【表2-③-2】

<組織の長>

領域横断的かつ恒常的な組織の長については、各学校種ともに、「学生支援担当の教員」が最も高い割合となっている。大学全体を設置者別でみると、国立大学において「学長、学生担当副学長、学長補佐など」(63.6%)が、高い割合になっている。



【図2-③-3】

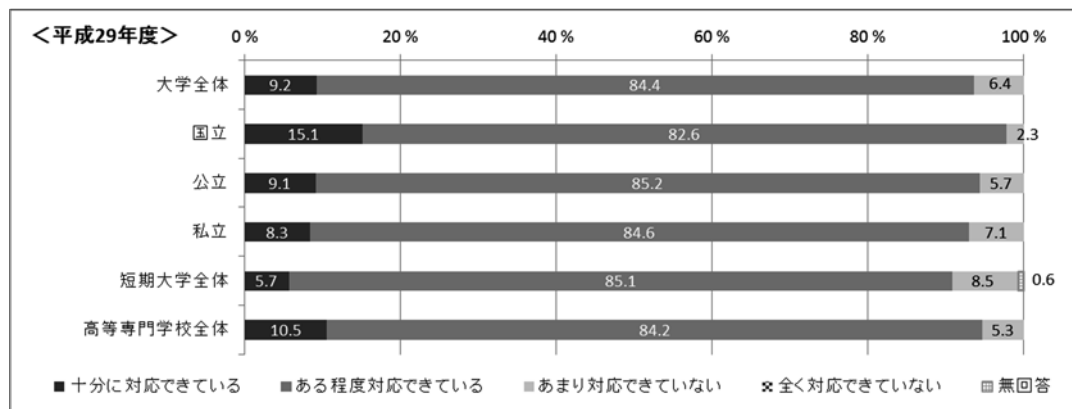
(単位: %)

		学長、学生担当副学長、学長補佐など	学生支援担当の教員	学生支援担当の職員	その他	無回答
平成29年度	大学 全体	27.1	39.2	22.6	10.6	0.5
	国立	63.6	16.7	9.1	10.6	0.0
	公立	35.3	29.4	17.6	14.7	2.9
	私立	18.8	44.8	25.9	10.2	0.3
	短期大学 全体	17.0	45.9	25.9	11.1	0.0
高等専門学校 全体	23.3	66.7	0.0	10.0	0.0	

【表2-③-3】

2-④ 学生の抱える多様で複合的な課題に対する組織の対応状況

学生の抱える多様で複合的な課題に対する組織の対応状況については、各学校種ともに、「十分に対応できている」「ある程度対応できている」を合わせると9割以上となっている。



【図 2-④】

(単位: %)

学校種別	十分に対応できている (%)	ある程度対応できている (%)	あまり対応できていない (%)	全く対応できていない (%)	無回答 (%)
平成29年度 大学全体	9.2	84.4	6.4	0.0	0.0
国立	15.1	82.6	2.3	0.0	0.0
公立	9.1	85.2	5.7	0.0	0.0
私立	8.3	84.6	7.1	0.0	0.0
短期大学全体	5.7	85.1	8.5	0.0	0.6
高等専門学校全体	10.5	84.2	5.3	0.0	0.0

<参考>

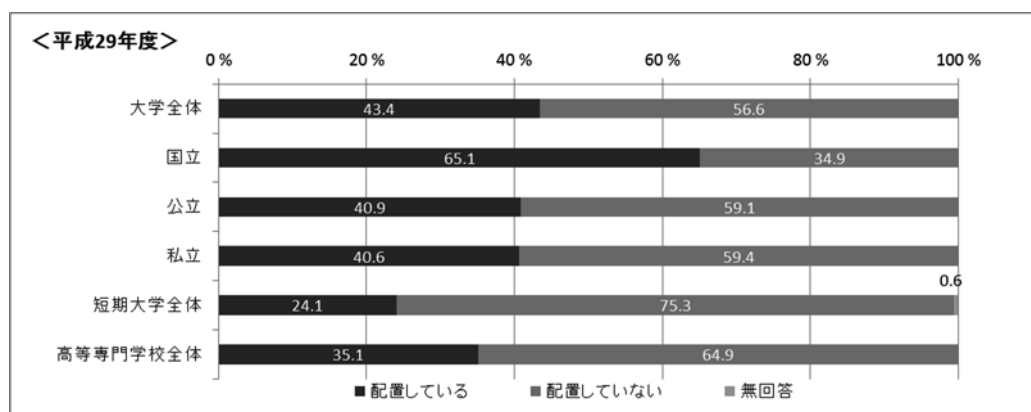
学校種別	十分に対応できている (%)	ある程度対応できている (%)	あまり対応できていない (%)	全く対応できていない (%)	無回答 (%)
平成27年度 大学全体	7.7	84.1	7.0	0.0	1.2
国立	8.2	88.2	2.4	0.0	1.2
公立	6.0	86.7	6.0	0.0	1.2
私立	7.8	83.1	7.8	0.0	1.2
短期大学全体	7.8	83.5	6.5	0.0	2.2
高等専門学校全体	5.5	87.3	7.3	0.0	0.0

【表 2-④】

2-⑤⑥ 一定の専門的知識や技能を以って学生支援に従事する専門的スタッフ

<配置>

一定の専門的知識や技能を以って学生支援に従事する専門的スタッフの配置については、「配置している」と回答した割合は大学全体で 43.4%となっており、次に高等専門学校全体が 35.1%で続いている。大学全体を設置者別でみると、国立大学(65.1%)が最も高くなっている。



【図 2-⑤】

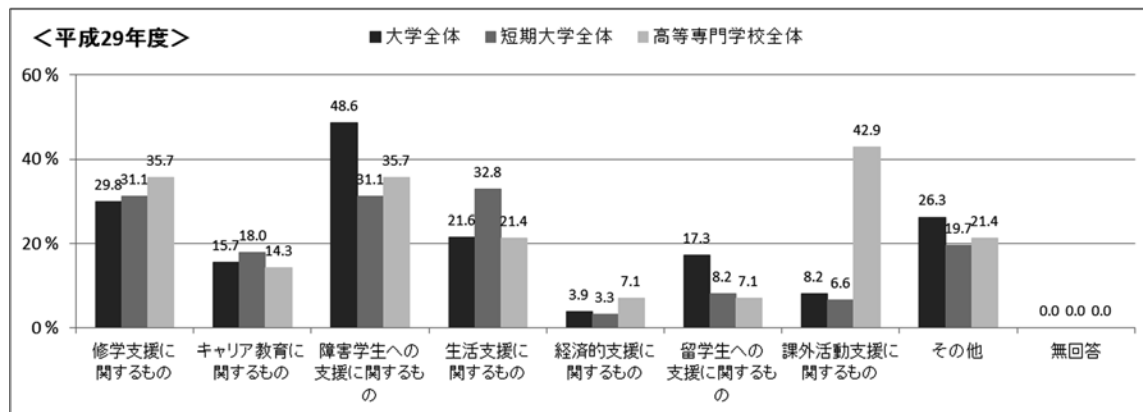
(単位: %)

学校種別	配置している (%)	配置していない (%)	無回答 (%)
平成29年度 大学全体	43.4	56.6	0.0
国立	65.1	34.9	0.0
公立	40.9	59.1	0.0
私立	40.6	59.4	0.0
短期大学全体	24.1	75.3	0.6
高等専門学校全体	35.1	64.9	0.0

【表 2-⑤】

＜支援領域＞

一定の専門的知識や技能を以って学生支援に従事する専門的スタッフの支援領域については、大学全体では「障害学生への支援に関するもの」(48.6%)の割合が最も高く、短期大学全体では「生活支援に関するもの」(32.8%)、高等専門学校全体では「課外活動支援に関するもの」(42.9%)が最も高くなっている。「その他」の具体的な内容としては、ボランティアに関するものや健康支援等があった。



【図 2-⑥】

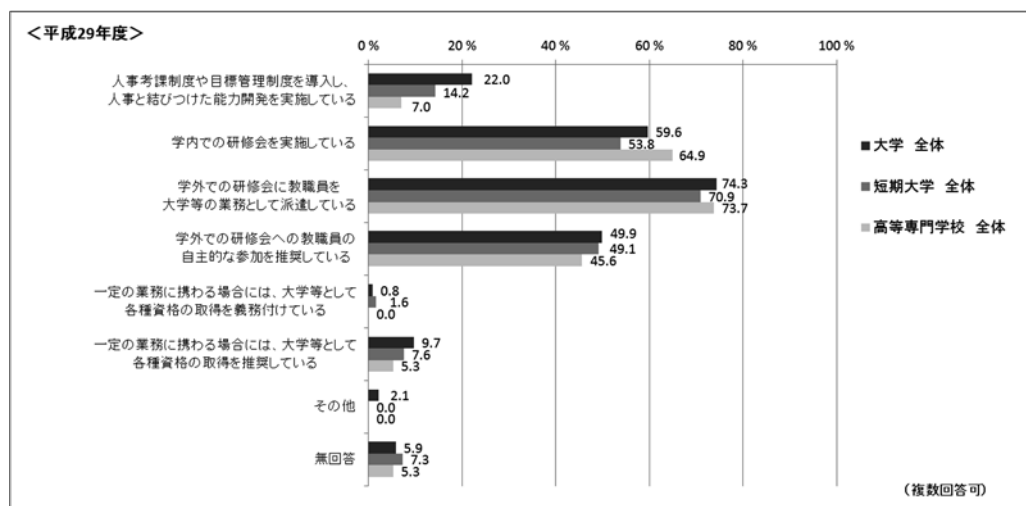
(単位: %)

年度	学校種別	修学支援に関するもの	キャリア教育に関するもの	障害学生への支援に関するもの	生活支援に関するもの	経済的支援に関するもの	留学生への支援に関するもの	課外活動支援に関するもの	その他	無回答	
		平成29年度	大学全体	29.8	15.7	48.6	21.6	3.9	17.3	8.2	26.3
平成29年度	大学全体	国立	24.5	14.3	79.6	6.1	2.0	34.7	6.1	14.3	0.0
		公立	23.1	11.5	42.3	26.9	3.8	15.4	7.7	23.1	0.0
		私立	32.2	16.7	41.1	25.0	4.4	12.8	8.9	30.0	0.0
		短期大学全体	31.1	18.0	31.1	32.8	3.3	8.2	6.6	19.7	0.0
短期大学全体	短期大学全体	31.1	18.0	31.1	32.8	3.3	8.2	6.6	19.7	0.0	
高等専門学校全体	高等専門学校全体	35.7	14.3	35.7	21.4	7.1	7.1	42.9	21.4	0.0	

【表 2-⑥】

2-⑦ 学生支援領域に関する教職員の能力開発

学生支援領域に関する教職員の能力開発については、各学校種ともに「学外での研修会に教職員を大学等の業務として派遣している」の割合が最も高くなっている。大学全体を設置者別でみると、国立大学は、「学外での研修会への教職員の自主的な参加を推奨している」の割合が、他と比べ高くなっている。



【図 2-⑦】

(単位: %)

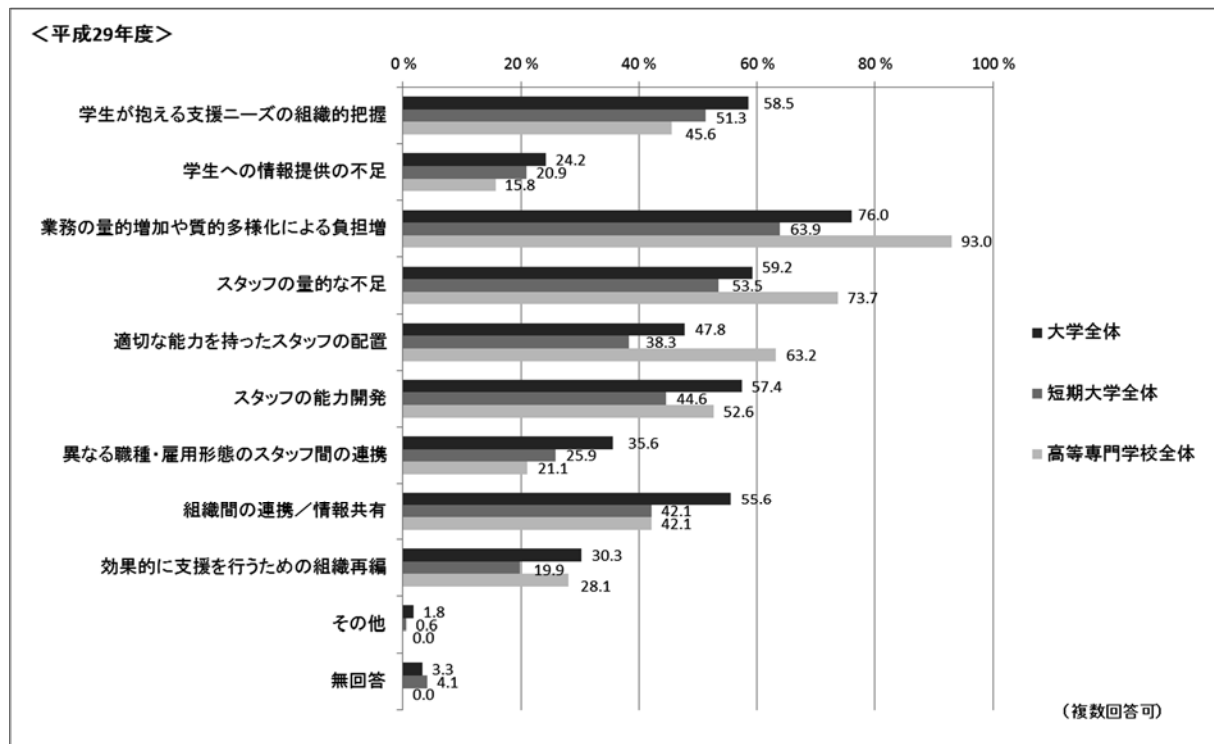
年度	学校種別	人事考課制度や目標管理制度を導入し、人事と結びつけた能力開発を実施している	学内での研修会を実施している	学外での研修会に教職員を大学等の業務として派遣している	学外での研修会への教職員の自主的な参加を推奨している	一定の業務に携わる場合には、大学等として各種資格の取得を義務付けている	一定の業務に携わる場合には、大学等として各種資格の取得を推奨している	その他	無回答	
		平成29年度	大学全体	22.0	59.6	74.3	49.9	0.8	9.7	2.1
平成29年度	大学全体	国立	14.0	62.8	79.1	62.8	0.0	23.3	3.5	3.5
		公立	11.4	54.5	65.9	39.8	0.0	1.1	1.1	9.1
		私立	24.8	59.9	74.9	49.6	1.0	9.0	2.0	5.8
		短期大学全体	14.2	53.8	70.9	49.1	1.6	7.6	0.0	7.3
短期大学全体	短期大学全体	14.2	53.8	70.9	49.1	1.6	7.6	0.0	7.3	
高等専門学校全体	高等専門学校全体	7.0	64.9	73.7	45.6	0.0	5.3	0.0	5.3	

【表 2-⑦】

3 学生支援のための組織の設計や運用等における課題

学生支援のための組織の設計や運用等における課題については、各学校種ともに「業務の量的増加や質的多様化による負担増」の割合が最も高くなっており、他に「スタッフの量的な不足」や「学生が抱える支援ニーズの組織的把握」、「スタッフの能力開発」も高くなっている。

前回調査と比べると、大学全体では「業務の量的増加や質的多様化による負担増」が 7.7 ポイント増加、短期大学全体では「学生への情報提供の不足」が 6.9 ポイント増加、高等専門学校全体では「適切な能力を持ったスタッフの配置」が 17.7 ポイントと大幅に増加している。



【図 3】

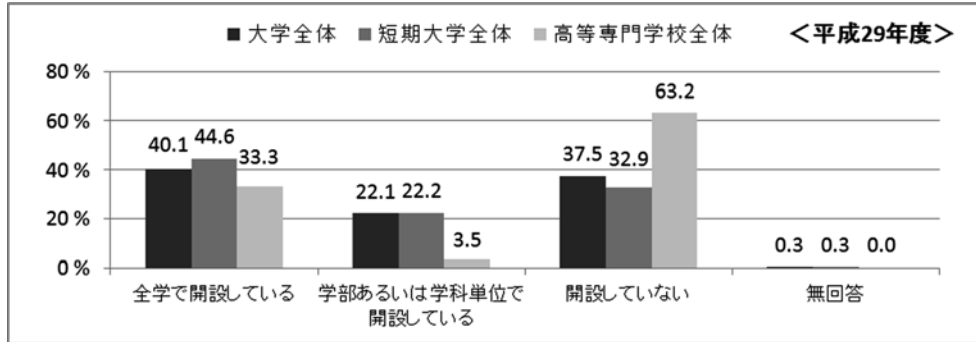
		学生が抱える支援ニーズの組織的把握	学生への情報提供の不足	業務の量的増加や質的多様化による負担増	スタッフの量的な不足	適切な能力を持ったスタッフの配置	スタッフの能力開発(知識・スキルの向上)	異なる職種・雇用形態のスタッフ間の連携【教員と職員・専任と嘱託・非常勤など】	組織間の連携／情報共有	効果的に支援を行うための組織再編	その他	無回答	
平成29年度	大学 全体	58.5	24.2	76.0	59.2	47.8	57.4	35.6	55.6	30.3	1.8	3.3	
	国立	65.1	38.4	93.0	81.4	58.1	58.1	43.0	67.4	31.4	4.7	1.2	
		公立	45.5	20.5	80.7	59.1	43.2	38.6	27.3	47.7	26.1	1.1	8.0
		私立	59.4	22.8	72.8	56.0	47.0	60.1	35.8	55.0	30.7	1.5	2.9
	短期大学 全体	51.3	20.9	63.9	53.5	38.3	44.6	25.9	42.1	19.9	0.6	4.1	
	高等専門学校 全体	45.6	15.8	93.0	73.7	63.2	52.6	21.1	42.1	28.1	0.0	0.0	
＜参考＞													
平成27年度	大学 全体	57.6	20.0	68.3	55.0	46.0	52.7	34.0	51.2	28.6		4.6	
	国立	56.5	29.4	83.5	71.8	58.8	57.6	35.3	57.6	38.8		3.5	
		公立	51.8	14.5	73.5	59.0	41.0	39.8	31.3	41.0	25.3		7.2
		私立	58.5	19.5	65.4	52.0	44.9	53.8	34.1	51.7	27.6		4.4
	短期大学 全体	50.9	14.0	61.5	50.0	33.5	44.4	29.5	44.7	18.9		6.2	
	高等専門学校 全体	54.5	16.4	90.9	67.3	45.5	50.9	23.6	50.9	18.2		1.8	

【表 3】

Ⅲ キャリア教育・就職支援

4-① 必修科目として設定したキャリア教育科目の開設状況

必修科目として設定したキャリア教育科目の開設状況については、「全学で開設している」「学部あるいは学科単位で開設している」と回答した割合を合わせると、大学全体は62.2%、短期大学全体は66.8%、高等専門学校全体は36.8%となっている。前回調査と比べると、大学全体で「全学で開設している」と回答した割合が4.8ポイント増加している一方、高等専門学校全体では「開設していない」と回答した割合が6.8ポイント増加している。



【図 4-①】

(単位:%)

		全学で開設している	学部あるいは学科単位で開設している	開設していない	無回答
平成29年度	大学 全体	40.1	22.1	37.5	0.3
	国立	36.0	27.9	36.0	0.0
	公立	36.4	9.1	54.5	0.0
	私立	41.3	23.3	35.1	0.3
	短期大学 全体	44.6	22.2	32.9	0.3
	高等専門学校 全体	33.3	3.5	63.2	0.0

<参考>

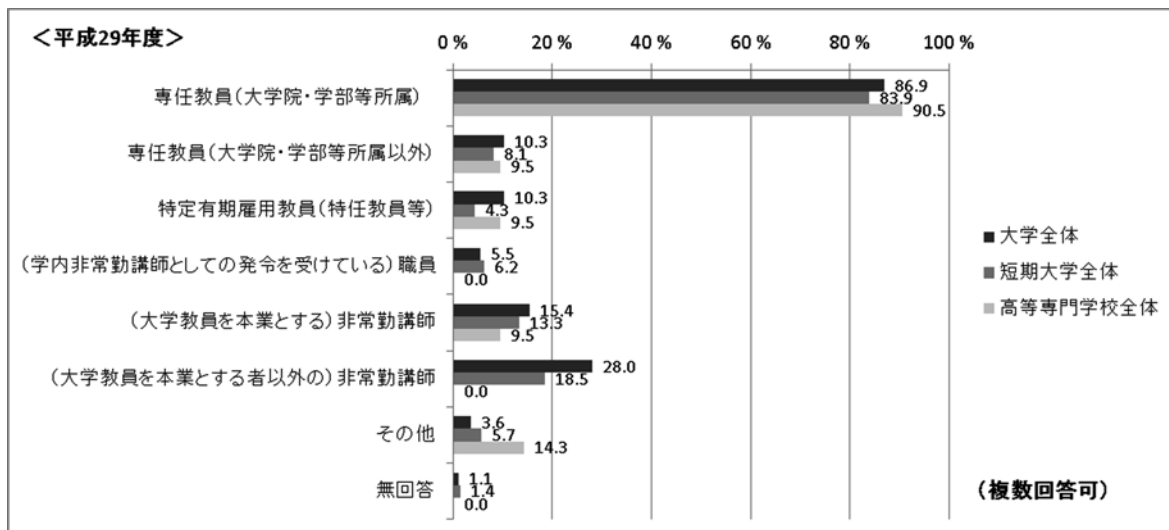
		全学で開設している	学部あるいは学科単位で開設している	開設していない	無回答
平成27年度	大学 全体	35.3	23.1	41.2	0.4
	国立	30.6	27.1	42.4	0.0
	公立	24.1	14.5	61.4	0.0
	私立	37.5	23.7	38.2	0.5
	短期大学 全体	42.5	23.6	33.2	0.6
	高等専門学校 全体	32.7	9.1	56.4	1.8

【表 4-①】

4-② キャリア教育科目について成績評価に一定の責任を持つ授業担当者

※4-①で「全学で開設している」「学部あるいは学科単位で開設している」と回答した学校が対象

キャリア教育科目について成績評価に一定の責任を持つ授業担当者については、各学校種ともに「専任教員(大学院・学部等所属)」と回答した割合が最も高く、8割を超えている。



【図 4-②】

(単位: %)

		専任教員(大学院・学部等所属)	専任教員(大学院・学部等所属以外)	特定有期雇用教員(特任教員等)	(学内非常勤講師としての発令を受けている)職員	(大学教員を本業とする)非常勤講師	(大学教員を本業とする者以外の)非常勤講師	その他	無回答	
平成29年度	大学 全体	86.9	10.3	10.3	5.5	15.4	28.0	3.6	1.1	
		国立	83.6	29.1	27.3	1.8	16.4	23.6	7.3	0.0
		公立	77.5	10.0	10.0	5.0	15.0	27.5	0.0	0.0
		私立	88.4	7.6	7.9	6.1	15.3	28.7	3.4	1.3
	短期大学 全体	83.9	8.1	4.3	6.2	13.3	18.5	5.7	1.4	
高等専門学校 全体	90.5	9.5	9.5	0.0	9.5	0.0	14.3	0.0		

<参考>

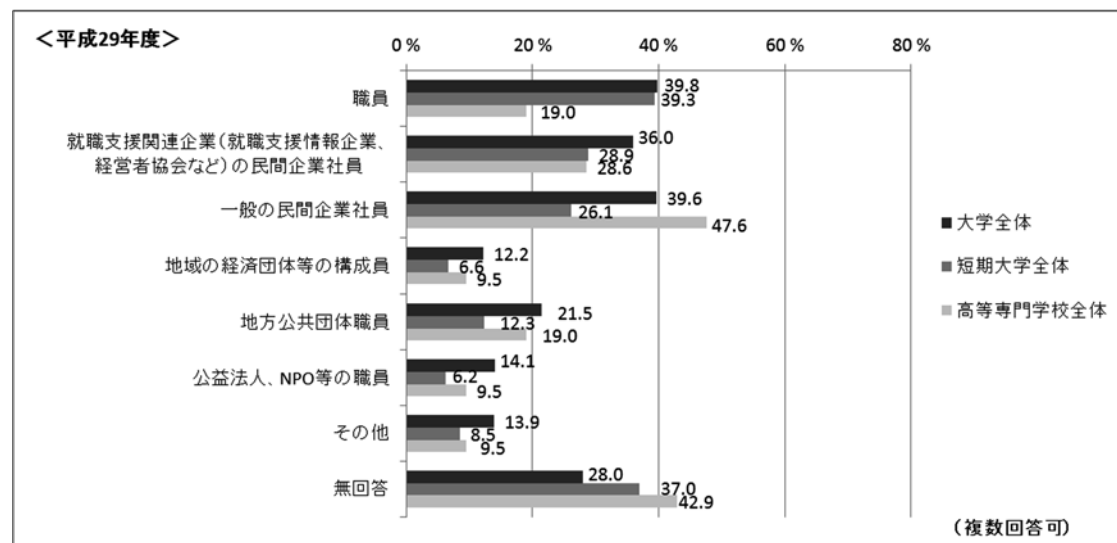
平成27年度	大学 全体	83.9	12.7	9.1	6.6	17.3	4.5	2.7	
		国立	77.6	34.7	22.4	8.2	16.3	12.2	2.0
		公立	87.5	6.3	12.5	3.1	9.4	12.5	0.0
		私立	84.4	10.3	7.0	6.7	18.1	2.8	3.1
	短期大学 全体	84.5	5.6	5.6	4.7	9.9	3.8	2.8	
高等専門学校 全体	82.6	8.7	8.7	4.3	8.7	17.4	4.3		

【表4-②】

4-③ キャリア科目について、成績評価に一定の責任を持つ授業担当者の指導の下、授業の一部を担当する者

※4-①で「全学で開設している」「学部あるいは学科単位で開設している」と回答した学校が対象

キャリア科目について、成績評価に一定の責任を持つ授業担当者の指導の下、授業の一部を担当する者については、大学全体では「職員」(39.8%)及び「一般の民間企業社員」(39.6%)と回答した割合が高く、短期大学全体では「職員」(39.3%)、高等専門学校全体では「一般の民間企業社員」(47.6%)が高くなっている。前回調査と比べると、「一般の民間企業社員」の割合が、大学全体では6.4ポイント、高等専門学校全体では12.8ポイント増加している。



【図4-③】

(単位: %)

		職員	就職支援関連企業(就職支援情報企業、経営者協会など)の民間企業社員	一般の民間企業社員	地域の経済団体等の構成員	地方公共団体職員	公益法人、NPO等の職員	その他	無回答	
平成29年度	大学 全体	39.8	36.0	39.6	12.2	21.5	14.1	13.9	28.0	
		国立	25.5	21.8	56.4	23.6	38.2	30.9	34.5	25.5
		公立	25.0	32.5	35.0	12.5	30.0	15.0	20.0	37.5
		私立	43.4	38.4	37.6	10.5	18.2	11.6	10.3	27.4
	短期大学 全体	39.3	28.9	26.1	6.6	12.3	6.2	8.5	37.0	
高等専門学校 全体	19.0	28.6	47.6	9.5	19.0	9.5	9.5	42.9		

<参考>

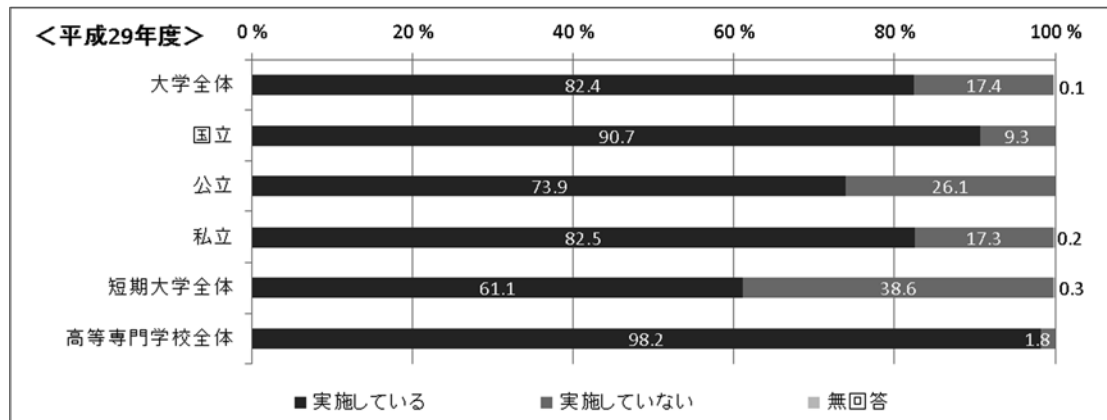
平成27年度	大学 全体	38.6	33.2	8.4	16.4	11.8	13.2	30.5	
		国立	20.4	46.9	14.3	30.6	22.4	32.7	32.7
		公立	18.8	31.3	6.3	15.6	12.5	9.4	34.4
		私立	42.9	31.5	7.8	14.5	10.3	10.9	29.8
	短期大学 全体	41.8	24.4	6.6	9.9	11.7	6.6	35.7	
高等専門学校 全体	17.4	34.8	4.3	17.4	17.4	8.7	52.2		

【表4-③】

5-① インターンシップ（※）の実施

※教育実習・医療実習・看護実習などの、特定の資格取得を目的とするものを除いています。

インターンシップの実施については、「実施している」と回答した割合が、高等専門学校全体では 98.2%、大学全体では 82.4%と高くなっているが、短期大学全体では 61.1%となっており、学校種により差が大きくなっている。



【図 5-①】

(単位: %)

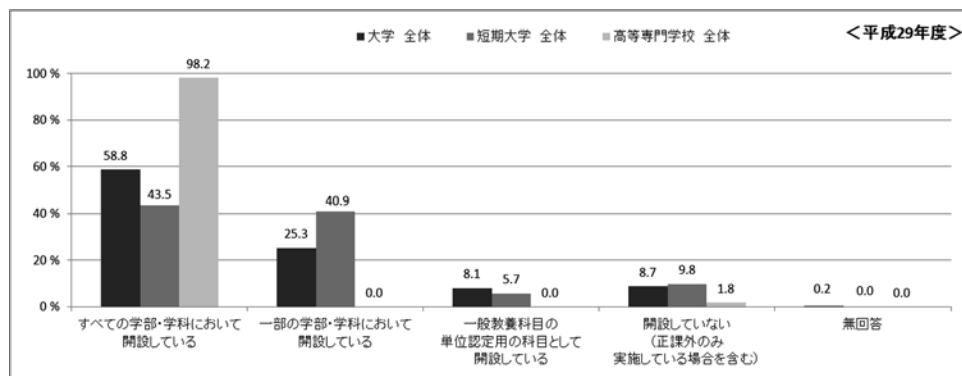
		実施している	実施していない	無回答
平成 29 年度	大学 全体	82.4	17.4	0.1
	国立	90.7	9.3	0.0
	公立	73.9	26.1	0.0
	私立	82.5	17.3	0.2
	短期大学 全体	61.1	38.6	0.3
	高等専門学校 全体	98.2	1.8	0.0

【表 5-①】

5-② インターンシップの実施状況

※5-①で「実施している」と回答した学校が対象

インターンシップの実施状況については、高等専門学校全体において「すべての学部・学科において開設している」(98.2%)と回答した割合が特に高くなっている一方で、大学全体では 58.8%、短期大学全体では 43.5%となっており、学校種により差が大きくなっている。



【図 5-②】

(単位: %)

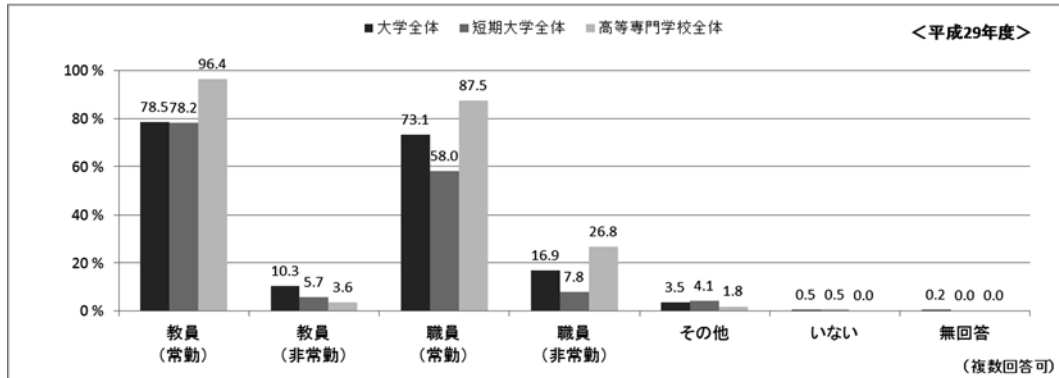
		すべての学部・学科において開設している	一部の学部・学科において開設している	一般教養科目の単位認定用の科目として開設している	開設していない(正課外のみ実施している場合を含む)	無回答
平成 29 年度	大学 全体	58.8	25.3	8.1	8.7	0.2
	国立	41.0	46.2	10.3	5.1	0.0
	公立	63.1	16.9	9.2	12.3	0.0
	私立	61.1	23.0	7.6	8.8	0.2
	短期大学 全体	43.5	40.9	5.7	9.8	0.0
	高等専門学校 全体	98.2	0.0	0.0	1.8	0.0

【表 5-②】

5-③ インターンシップの担当者

※5-①で「実施している」と回答した学校が対象

インターンシップの担当については、各学校種ともに「教員(常勤)」と回答した割合が最も高く、次いで「職員(常勤)」も大学全体及び高等専門学校全体においては割合が高くなっている。大学全体を設置者別でみると、国立大学は「教員(常勤)」の割合が、他と比べて高くなっている。



【図 5-③】

(単位: %)

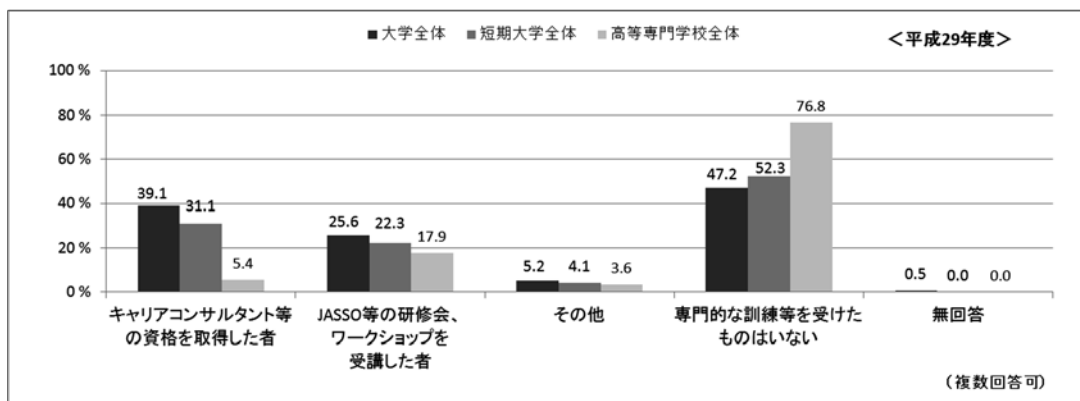
		教員(常勤)	教員(非常勤)	職員(常勤)	職員(非常勤)	その他	いない	無回答	
平成29年度	大学 全体	78.5	10.3	73.1	16.9	3.5	0.5	0.2	
		国立	92.3	20.5	73.1	44.9	3.8	2.6	0.0
		公立	72.3	10.8	64.6	26.2	0.0	0.0	0.0
		私立	77.2	8.6	74.3	11.1	3.9	0.2	0.2
	短期大学 全体	78.2	5.7	58.0	7.8	4.1	0.5	0.0	
高等専門学校 全体	96.4	3.6	87.5	26.8	1.8	0.0	0.0		

【表 5-③】

5-④ インターンシップの実施状況(専門的な訓練等を受けた担当者)

※5-①で「実施している」と回答した学校が対象

インターンシップの担当で専門的な訓練等を受けた者については、各学校種ともに「専門的な訓練等を受けたものはいない」と回答した割合が高くなっている。大学全体を設置者別でみると、私立大学では「キャリアコンサルタント等の資格を取得した者」(42.4%)の割合が、他の設置者に比べて高くなっている。



【図 5-④】

(単位: %)

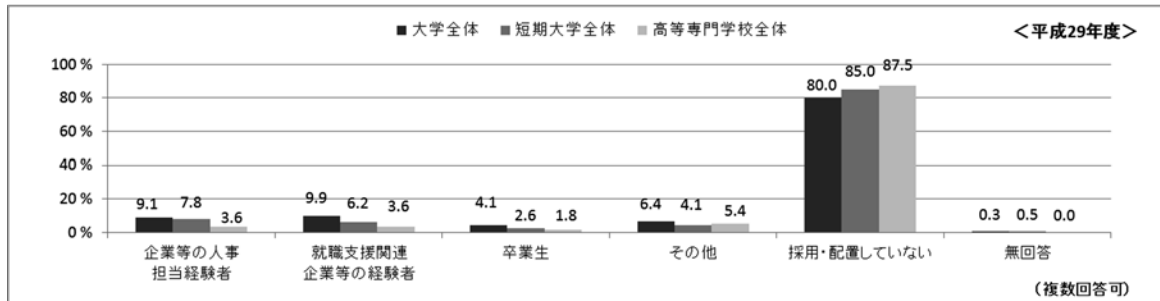
		キャリアコンサルタント等の資格を取得した者	JASSO等の就職・キャリア関係の研修会を受講した者	その他	いない	無回答	
平成29年度	大学 全体	39.1	25.6	5.2	47.2	0.5	
		国立	23.1	37.2	6.4	51.3	0.0
		公立	33.8	18.5	1.5	60.0	0.0
		私立	42.4	24.7	5.6	44.9	0.6
	短期大学 全体	31.1	22.3	4.1	52.3	0.0	
高等専門学校 全体	5.4	17.9	3.6	76.8	0.0		

【表 5-④】

5-5 インターンシップの実施状況（学外からの人材の採用・配置）

※5-1で「実施している」と回答した学校が対象

インターンシップの担当者で学外からの人材の採用・配置については、各学校種ともに「いない」と回答した割合が高くなっている。大学全体を設置者別で見ると、国立大学では「その他」（16.7%）が他と比べて高い割合であった。「その他」の具体的な内容としては、「キャリアコンサルタント等の資格を有する業務委託のキャリアカウンセラー」「インターンシップ業務専属のコーディネーター」などの回答があった。



【図 5-5】

（単位：％）

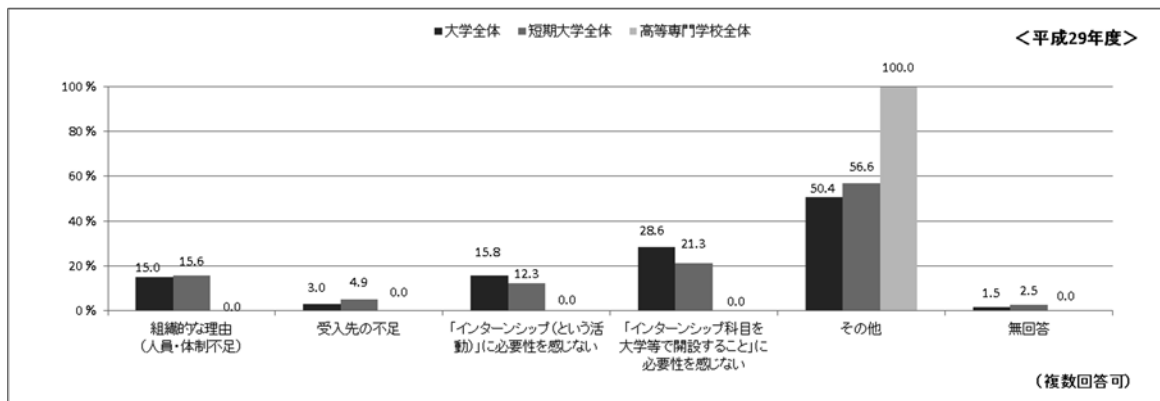
		企業等の人事担当経験者	就職支援関連企業等の経験者	卒業生	その他	採用・配置していない	無回答	
平成29年度	大学 全体	9.1	9.9	4.1	6.4	80.0	0.3	
		国立	10.3	9.0	9.0	16.7	71.8	0.0
		公立	3.1	3.1	0.0	4.6	92.3	0.0
		私立	9.7	10.9	3.9	4.9	79.6	0.4
	短期大学 全体	7.8	6.2	2.6	4.1	85.0	0.5	
	高等専門学校 全体	3.6	3.6	1.8	5.4	87.5	0.0	

【表 5-5】

5-6 インターンシップの実施状況（インターンシップを実施していない理由）

※5-1で「実施していない」と回答した学校が対象

インターンシップを実施していない学校にその理由を聞いたところ、各学校種ともに「その他」と回答した割合が高くなっている。「その他」の具体的な内容としては、医療・看護・保育士養成系等の大学・短期大学から、「実習を行っているため、インターンシップの必要がない」との回答が多くあった。



【図 5-6】

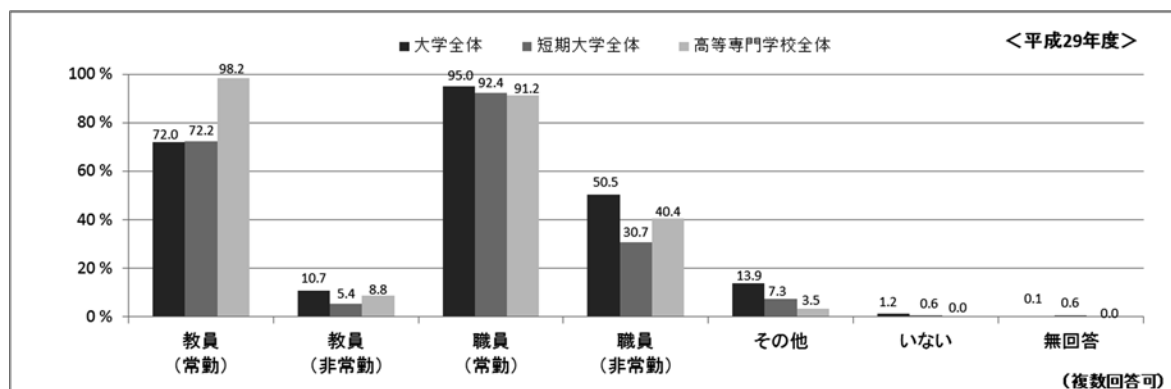
（単位：％）

		組織的な理由（人員・体制不足）	受入先の不足	「インターンシップ（という活動）」に必要性を感じない	「インターンシップ科目を大学等で開設すること」に必要性を感じない	その他	無回答	
平成29年度	大学 全体	15.0	3.0	15.8	28.6	50.4	1.5	
		国立	25.0	0.0	12.5	12.5	75.0	0.0
		公立	13.0	4.3	13.0	26.1	47.8	4.3
		私立	14.7	2.9	16.7	30.4	49.0	1.0
	短期大学 全体	15.6	4.9	12.3	21.3	56.6	2.5	
	高等専門学校 全体	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

【表 5-6】

6-① 就職支援に関する担当者

就職支援に関する担当者については、「職員(常勤)」が大学全体で95.0%、短期大学全体で92.4%と最も高く、高等専門学校全体では「教員(常勤)」(98.2%)が最も高くなっている。「その他」の具体的な内容としては、「外部委託のキャリアカウンセラー」「新卒応援ハローワーク派遣のジョブサポーター」等があった。



【図 6-①】

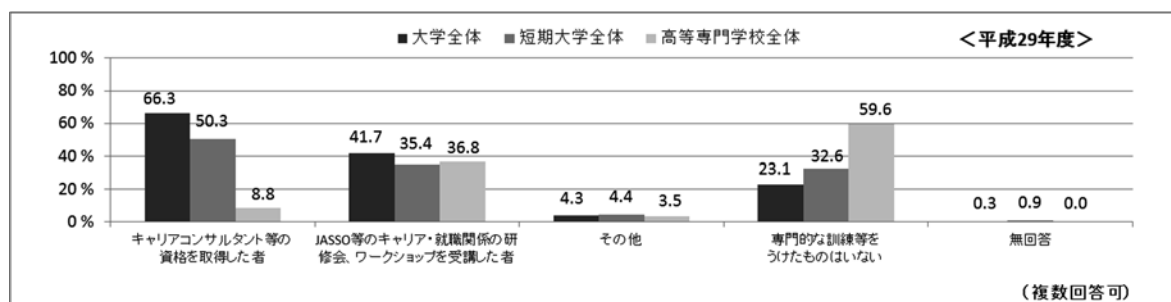
(単位: %)

年度	機関	教員(常勤)	教員(非常勤)	職員(常勤)	職員(非常勤)	その他	いない	無回答	
平成29年度	大学全体	72.0	10.7	95.0	50.5	13.9	1.2	0.1	
	国立	87.2	26.7	97.7	83.7	25.6	0.0	0.0	
		公立	65.9	6.8	84.1	53.4	10.2	1.1	0.0
		私立	70.6	9.0	96.3	45.2	12.7	1.4	0.2
	短期大学全体	72.2	5.4	92.4	30.7	7.3	0.6	0.6	
高等専門学校全体	98.2	8.8	91.2	40.4	3.5	0.0	0.0		

【表 6-①】

6-② 就職支援に関する専門的な訓練を受けた担当者

就職支援に関する専門的な訓練を受けた担当者については、大学全体・短期大学全体では「キャリアコンサルタント等の資格を取得した者」、高等専門学校全体では「専門的な訓練等をうけたものはいない」の割合が高くなっている。大学全体を設置者別でみると、国立大学と私立大学では「キャリアコンサルタント等の資格を取得した者」の割合が、前回調査と比べて6ポイント程度増加している。



【図 6-②】

(単位: %)

年度	機関	キャリアコンサルタント等の資格を取得した者	JASSO等のキャリア・就職関係の研修会、ワークショップを受講した者	その他	専門的な訓練等をうけたものはいない	無回答	
平成29年度	大学全体	66.3	41.7	4.3	23.1	0.3	
	国立	76.7	55.8	3.5	12.8	0.0	
		公立	55.7	27.3	5.7	36.4	0.0
		私立	66.4	41.8	4.2	22.6	0.3
	短期大学全体	50.3	35.4	4.4	32.6	0.9	
高等専門学校全体	8.8	36.8	3.5	59.6	0.0		

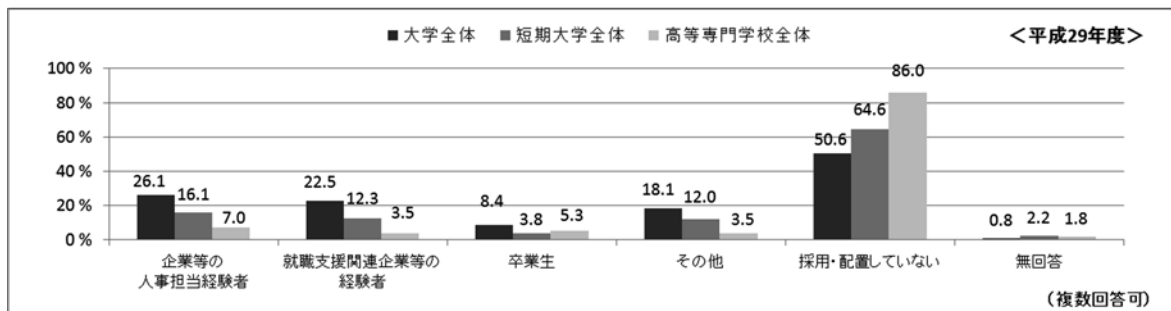
<参考>

年度	機関	キャリアコンサルタント等の資格を取得した者	JASSO等のキャリア・就職関係の研修会、ワークショップを受講した者	その他	専門的な訓練等をうけたものはいない	無回答	
平成27年度	大学全体	61.1	42.3	5.4	22.3	1.1	
	国立	70.6	61.2	4.7	9.4	0.0	
		公立	54.2	34.9	9.6	31.3	0.0
		私立	60.8	40.6	4.9	22.9	1.4
	短期大学全体	43.2	34.2	6.8	31.4	1.2	
高等専門学校全体	7.3	29.1	1.8	65.5	1.8		

【表 6-②】

6-③ 就職支援に関する学外から採用・配置している担当者

就職支援に関する学外から採用・配置している担当者については、各学校種ともに「採用・配置していない」の割合が最も高くなっており、前回調査と比べて、いずれの学校種も増加している。採用・配置している学校においては、各学校種ともに「企業等の人事担当経験者」が最も高くなっている。



【図 6-③】

(単位:%)

年度	学校種	企業等の人事担当経験者	就職支援関連企業等の経験者	卒業生	その他	採用・配置していない	無回答
平成29年度	大学全体	26.1	22.5	8.4	18.1	50.6	0.8
	国立	37.2	31.4	15.1	36.0	27.9	0.0
	公立	21.6	17.0	1.1	14.8	58.0	1.1
	私立	25.1	22.1	8.5	16.0	52.8	0.8
	短期大学全体	16.1	12.3	3.8	12.0	64.6	2.2
	高等専門学校全体	7.0	3.5	5.3	3.5	86.0	1.8

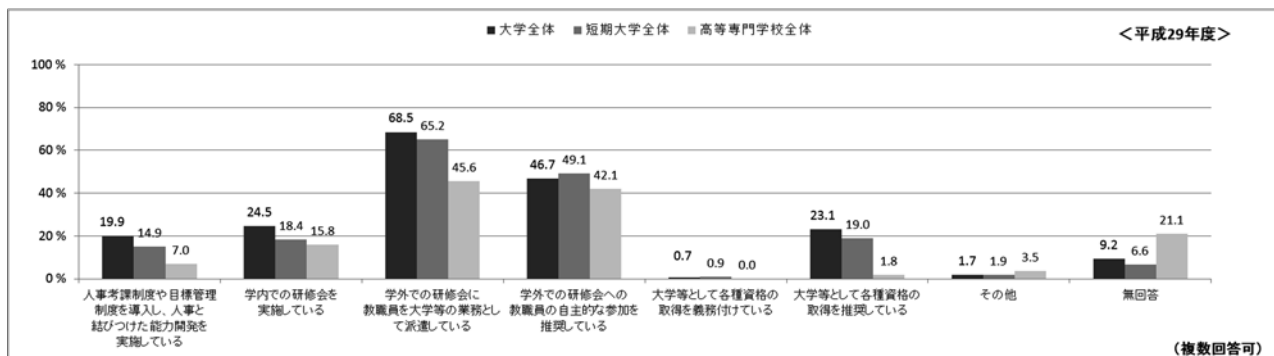
<参考>

年度	学校種	企業等の人事担当経験者	就職支援関連企業等の経験者	卒業生	その他	採用・配置していない	無回答
平成27年度	大学全体	29.4	24.8	13.4	19.2	44.8	1.9
	国立	38.8	29.4	23.5	37.6	27.1	0.0
	公立	20.5	19.3	3.6	18.1	53.0	3.6
	私立	29.4	24.9	13.3	16.7	46.2	1.9
	短期大学全体	18.3	17.4	9.6	14.9	55.9	2.8
	高等専門学校全体	5.5	3.6	3.6	10.9	74.5	5.5

【表 6-③】

6-④ 就職支援に関する教職員の能力開発

就職支援に関する教職員の能力開発については、各学校種ともに「学外での研修会に教職員を大学等の業務として派遣している」の割合が最も高くなっている。大学全体を設置者別で見ると、私立大学は他と比べて割合が高い項目が多い傾向になっている。



【図 6-④】

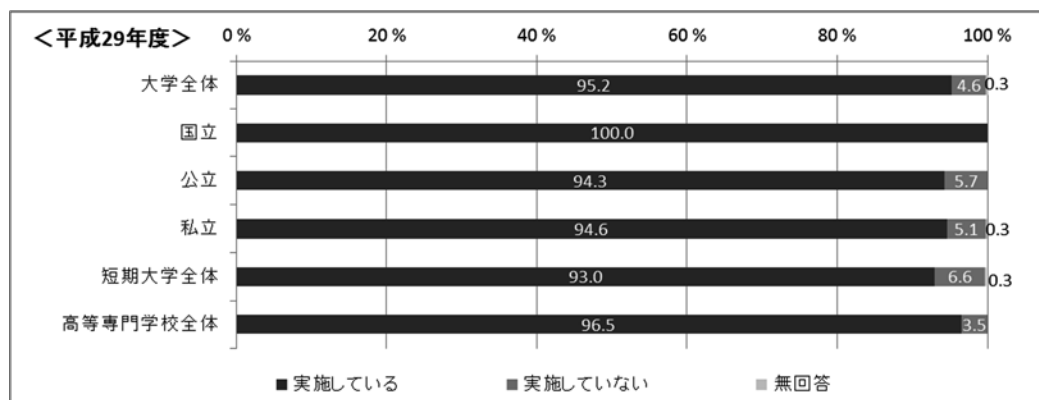
(単位:%)

年度	学校種	人事考課制度や目標管理制度を導入し、人事と結びつけた能力開発を実施している	学内での研修会を実施している	学外での研修会に教職員を大学等の業務として派遣している	学外での研修会への教職員の自主的な参加を推奨している	大学等として各種資格の取得を義務付けている	大学等として各種資格の取得を推奨している	その他	無回答
平成29年度	大学全体	19.9	24.5	68.5	46.7	0.7	23.1	1.7	9.2
	国立	10.5	14.0	68.6	32.6	0.0	14.0	2.3	16.3
	公立	9.1	20.5	55.7	30.7	1.1	12.5	2.3	19.3
	私立	22.9	26.7	70.5	51.1	0.7	26.0	1.5	6.6
	短期大学全体	14.9	18.4	65.2	49.1	0.9	19.0	1.9	6.6
	高等専門学校全体	7.0	15.8	45.6	42.1	0.0	1.8	3.5	21.1

【表 6-④】

7-① 卒業年次の学生全員に対する現況調査

卒業年次の学生全員に対する、進路等を把握するための現況調査の実施については、各学校種ともに9割以上が「実施している」と回答している。実施している場合の平均回数(年)では、高等専門学校全体が 5.9 回と最も多くなっている。



【図7-①】

(単位:%)

年度	学校種別	実施している (%)	実施していない (%)	無回答 (%)
平成29年度	大学全体	95.2	4.6	0.3
	国立	100.0	0.0	0.0
	公立	94.3	5.7	0.0
	私立	94.6	5.1	0.3
	短期大学全体	93.0	6.6	0.3
	高等専門学校全体	96.5	3.5	0.0

【実施している場合 平均回数/年】

(単位:回)

学校種別	平均回数
大学全体	3.1
国立	3.7
公立	3.2
私立	3.0
短期大学全体	2.2
高等専門学校全体	5.9

【表7-①-2】

<参考>

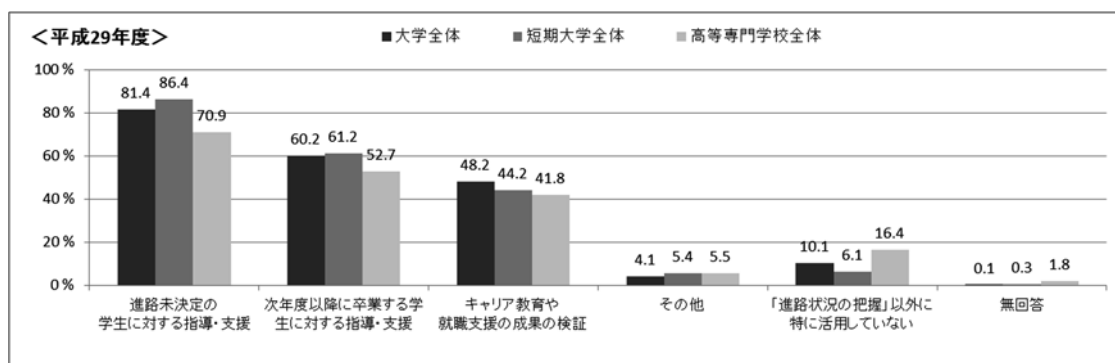
年度	学校種別	実施している (%)	実施していない (%)	無回答 (%)
平成27年度	大学全体	94.3	4.5	1.2
	国立	100.0	0.0	0.0
	公立	92.8	6.0	1.2
	私立	93.7	4.9	1.4
	短期大学全体	93.8	5.6	0.6
	高等専門学校全体	87.3	12.7	0.0

【表7-①-1】

7-② 卒業年次の学生全員に対する現況調査の活用

※7-①で「実施している」と回答した学校が対象

卒業年次の学生全員に対する、進路等を把握するための現況調査の活用については、各学校種とも「進路未決定の学生に対する指導・支援」の割合が高く、他項目の順位も各学校種ともに同様となっている。大学全体を設置者別でみると、「進路未決定の学生に対する指導・支援」では、私立大学が 86.2%と高い割合になっている。



【図7-②】

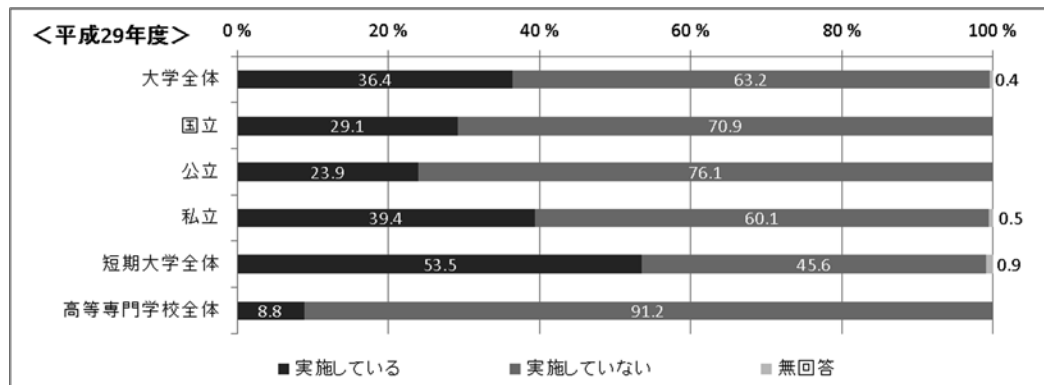
(単位:%)

年度	学校種別	進路未決定の学生に対する指導・支援 (%)	次年度以降に卒業する学生に対する指導・支援 (%)	キャリア教育や就職支援の成果の検証 (%)	その他 (%)	「進路状況の把握」以外に特に活用していない (%)	無回答 (%)
平成29年度	大学全体	81.4	60.2	48.2	4.1	10.1	0.1
	国立	60.5	59.3	55.8	10.5	16.3	0.0
	公立	71.1	50.6	43.4	2.4	16.9	0.0
	私立	86.2	61.8	47.8	3.4	8.1	0.2
	短期大学全体	86.4	61.2	44.2	5.4	6.1	0.3
	高等専門学校全体	70.9	52.7	41.8	5.5	16.4	1.8

【表7-②】

7-③ 卒業生の現況調査の実施

卒業生の現況調査については、「実施している」と回答した割合が、短期大学全体が 53.5%と最も高くなっているが、大学全体では 36.4%、高等専門学校全体では 8.8%となっており、学校種で差が大きくなっている。



【図7-③】

年度	学校種	実施している					実施していない	無回答
		全学	学部あるいは学科単位	全学を対象を抽出	学部あるいは学科単位を対象を抽出	無回答		
平成29年度	大学全体	36.4	24.2	5.8	5.0	1.4	63.2	0.4
	国立	29.1	14.0	12.8	2.3	0.0	70.9	0.0
	公立	23.9	15.9	5.7	2.3	0.0	76.1	0.0
	私立	39.4	27.0	4.8	5.8	1.9	60.1	0.5
	短期大学全体	53.5	39.2	4.4	6.3	3.5	45.6	0.9
	高等専門学校全体	8.8	5.3	0.0	3.5	0.0	91.2	0.0

(単位: %)

<参考>

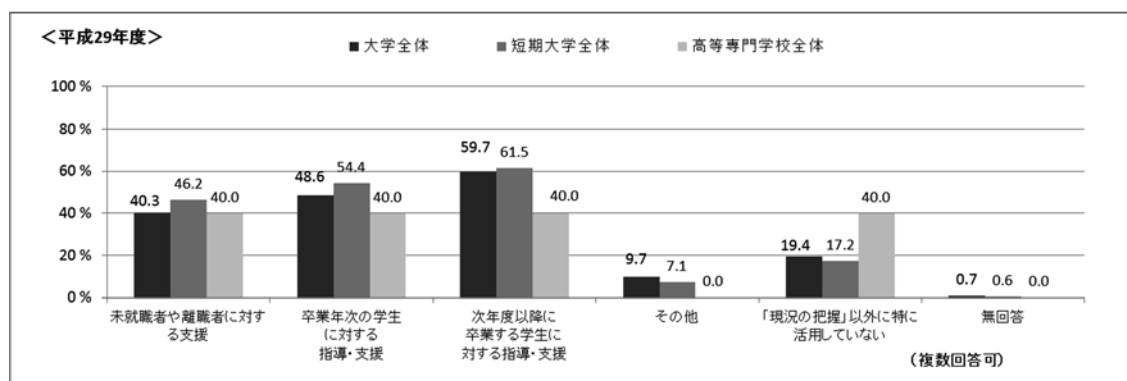
年度	学校種	実施している					実施していない	無回答
		全学	学部あるいは学科単位	全学を対象を抽出	学部あるいは学科単位を対象を抽出	無回答		
平成27年度	大学全体	32.2	—	—	—	—	66.8	0.9
	国立	27.1	—	—	—	—	72.9	0.0
	公立	24.1	—	—	—	—	74.7	1.2
	私立	34.1	—	—	—	—	64.8	1.0
	短期大学全体	44.4	—	—	—	—	55.0	0.6
	高等専門学校全体	7.3	—	—	—	—	92.7	0.0

【表7-③】

7-④ 卒業生の現況調査の活用

※7-③で「実施している」と回答した学校が対象

卒業生の現況調査における「現況の把握」以外の活用については、「次年度以降に卒業する学生に対する指導・支援」と回答した割合が高くなっている。大学全体を設置者別でみると、私立大学は「未就職者や離職者に対する支援」「卒業年次の学生に対する指導・支援」「次年度以降に卒業する学生に対する指導・支援」において、他の設置者に比べて高めの割合となっている。



【図7-④】

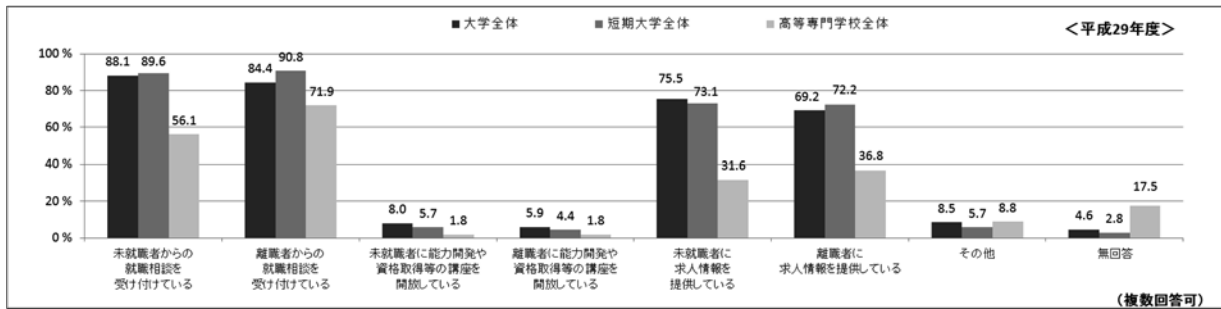
(単位: %)

年度	学校種	実施している					無回答
		未就職者や離職者に対する支援	卒業年次の学生に対する指導・支援	次年度以降に卒業する学生に対する指導・支援	その他	「現況の把握」以外に特に活用していない	
平成29年度	大学全体	40.3	48.6	59.7	9.7	19.4	0.7
	国立	36.0	36.0	56.0	12.0	28.0	0.0
	公立	19.0	38.1	42.9	14.3	38.1	4.8
	私立	42.7	50.9	61.6	9.1	16.8	0.4
	短期大学全体	46.2	54.4	61.5	7.1	17.2	0.6
	高等専門学校全体	40.0	40.0	40.0	0.0	40.0	0.0

【表7-④】

8 卒業生に対する支援の状況

卒業生に対する支援の状況については、大学全体では「未就職者からの就職相談を受け付けている」が最も高く、短期大学全体・高等専門学校全体では「離職者からの就職相談を受け付けている」が最も高くなっている。前回調査と比べると、高等専門学校全体で「離職者からの就職相談を受け付けている」が11.9ポイント増加した。



【図8】

(単位:%)

年度	支援の状況	未就職者からの就職相談を受け付けている	離職者からの就職相談を受け付けている	未就職者に能力開発や資格取得等の講座を開放している	離職者に能力開発や資格取得等の講座を開放している	未就職者に求人情報を提供している	離職者に求人情報を提供している	その他	無回答
平成29年度	大学全体	88.1	84.4	8.0	5.9	75.5	69.2	8.5	4.6
	国立	91.9	81.4	11.6	7.0	80.2	65.1	14.0	1.2
	公立	71.6	65.9	4.5	3.4	52.3	43.2	10.2	13.6
	私立	90.0	87.6	8.0	6.1	78.3	73.7	7.5	3.7
短期大学全体	89.6	90.8	5.7	4.4	73.1	72.2	5.7	2.8	
高等専門学校全体	56.1	71.9	1.8	1.8	31.6	36.8	8.8	17.5	

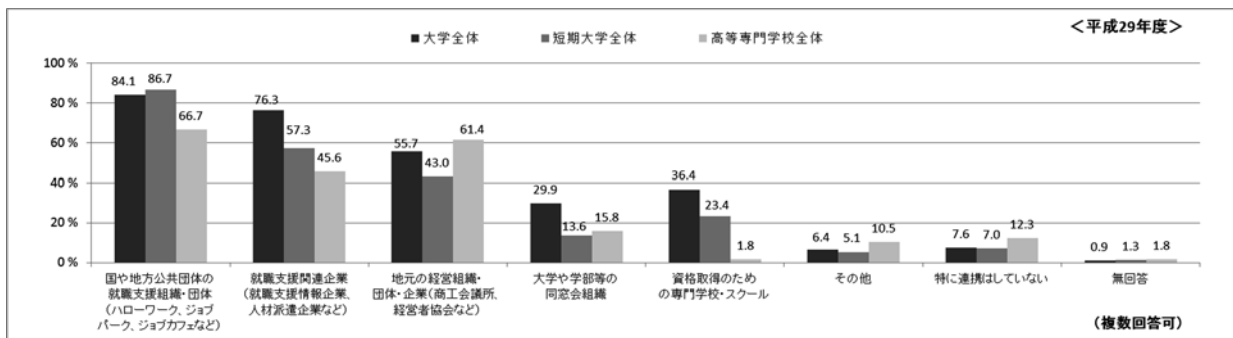
<参考>

年度	支援の状況	未就職者からの就職相談を受け付けている	離職者からの就職相談を受け付けている	未就職者に能力開発や資格取得等の講座を開放している	離職者に能力開発や資格取得等の講座を開放している	未就職者に求人情報を提供している	離職者に求人情報を提供している	その他	無回答
平成27年度	大学全体	87.7	81.2	11.1	7.2	75.9	68.8	11.0	5.2
	国立	90.6	77.6	15.3	10.6	81.2	70.6	17.6	3.5
	公立	77.1	69.9	9.6	7.2	50.6	43.4	8.4	12.0
	私立	88.7	83.3	10.8	6.7	78.7	72.2	10.4	4.4
短期大学全体	93.2	91.6	9.0	5.6	75.2	69.6	6.2	2.5	
高等専門学校全体	47.3	60.0	1.8	3.6	29.1	27.3	21.8	14.5	

【表8】

9 就職支援に関し、連携している学外の就職支援組織・団体

就職支援に関し、連携している学外の就職支援組織・団体については、各学校種ともに「国や地方公共団体の就職支援組織・団体」が最も高い。前回調査と比べると、全体的な傾向に大きな変化はないが、高等専門学校全体では「地元の経営組織・団体・企業(商工会議所、経営者協会など)」が10.5ポイント増加している。 【図9】



(単位:%)

年度	連携している学外の就職支援組織・団体	国や地方公共団体の就職支援組織・団体 (ハローワーク、ジョブパーク、ジョブカフェなど)	就職支援関連企業 (就職支援情報企業、人材派遣企業など)	地元の経営組織・団体・企業 (商工会議所、経営者協会など)	大学や学部等の同窓会組織	資格取得のための専門学校・スクール	その他	特に連携していない	無回答
平成29年度	大学全体	84.1	76.3	55.7	29.9	36.4	6.4	7.6	0.9
	国立	90.7	87.2	60.5	54.7	23.3	11.6	5.8	0.0
	公立	76.1	62.5	47.7	29.5	38.6	5.7	15.9	1.1
	私立	84.4	76.7	56.2	26.3	38.0	5.8	6.6	1.0
短期大学全体	86.7	57.3	43.0	13.6	23.4	5.1	7.0	1.3	
高等専門学校全体	66.7	45.6	61.4	15.8	1.8	10.5	12.3	1.8	

<参考>

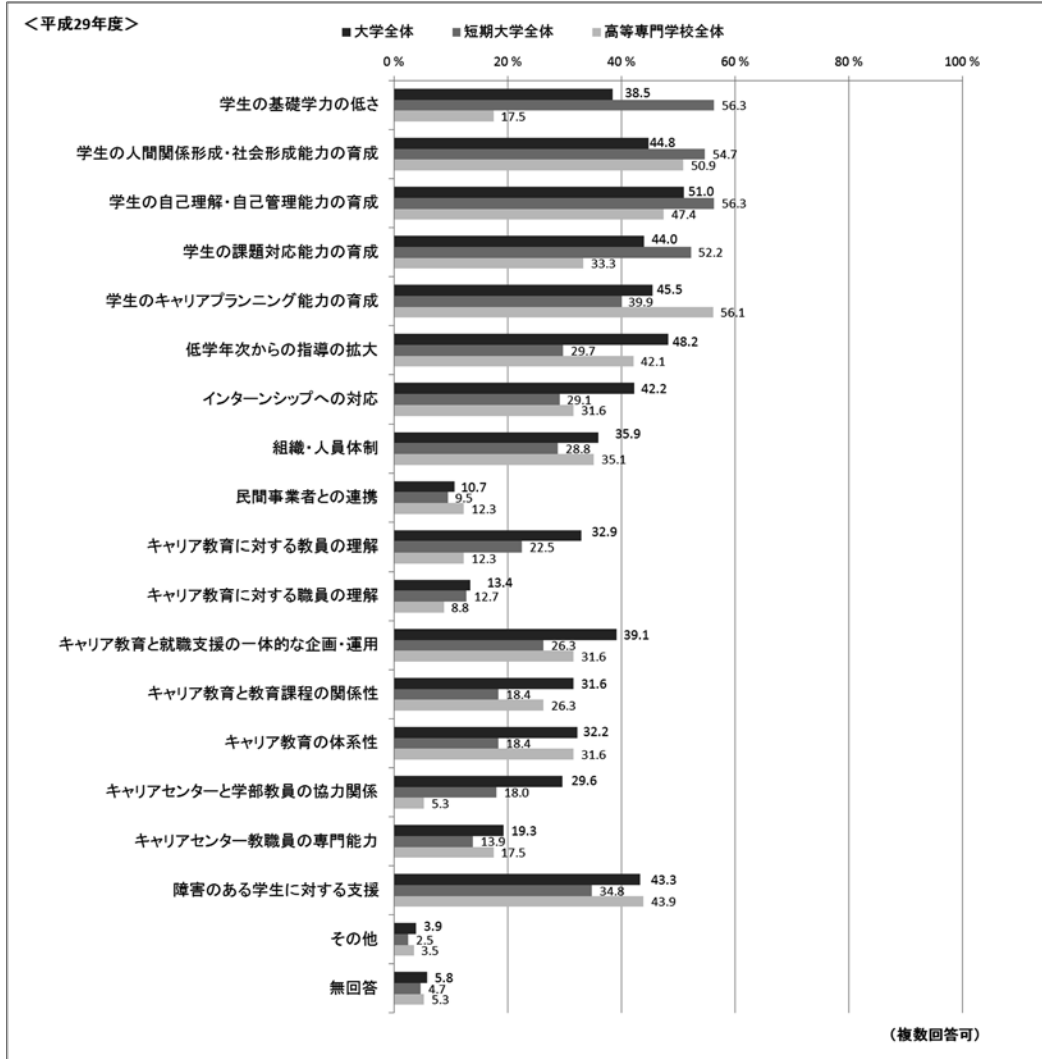
年度	連携している学外の就職支援組織・団体	国や地方公共団体の就職支援組織・団体 (ハローワーク、ジョブパーク、ジョブカフェなど)	就職支援関連企業 (就職支援情報企業、人材派遣企業など)	地元の経営組織・団体・企業 (商工会議所、経営者協会など)	大学や学部等の同窓会組織	資格取得のための専門学校・スクール	その他	特に連携していない	無回答
平成27年度	大学全体	83.0	74.4	55.2	31.3	38.1	6.6	8.8	1.2
	国立	88.2	82.4	62.4	60.0	32.9	11.8	5.9	0.0
	公立	72.3	63.9	41.0	30.1	36.1	6.0	15.7	1.2
	私立	83.8	74.7	56.1	27.3	39.1	6.0	8.2	1.4
短期大学全体	87.3	55.6	40.4	14.6	25.8	7.1	7.8	0.6	
高等専門学校全体	61.8	45.5	50.9	18.2	1.8	10.9	12.7	1.8	

※ 平成27年度：実施していない

【表9】

10 キャリア教育に関する課題

キャリア教育に関する課題については、大学全体では「学生の自己理解・自己管理能力の育成」(51.0%)、「低学年次からの指導の拡大」(48.2%)の順に回答した割合が高くなっている。短期大学全体では「学生の基礎学力の低さ」と「学生の自己理解・自己管理能力の育成」がいずれも56.3%で最も高くなっている。高等専門学校全体では、「学生のキャリアプランニング能力の育成」(56.1%)、「学生の人間関係形成・社会形成能力の育成」(50.9%)の順に割合が高くなっている。大学全体を設置者別でみると、私立大学で「学生の基礎学力の低さ」(47.4%)が他の設置者に比べて高い割合となっている。



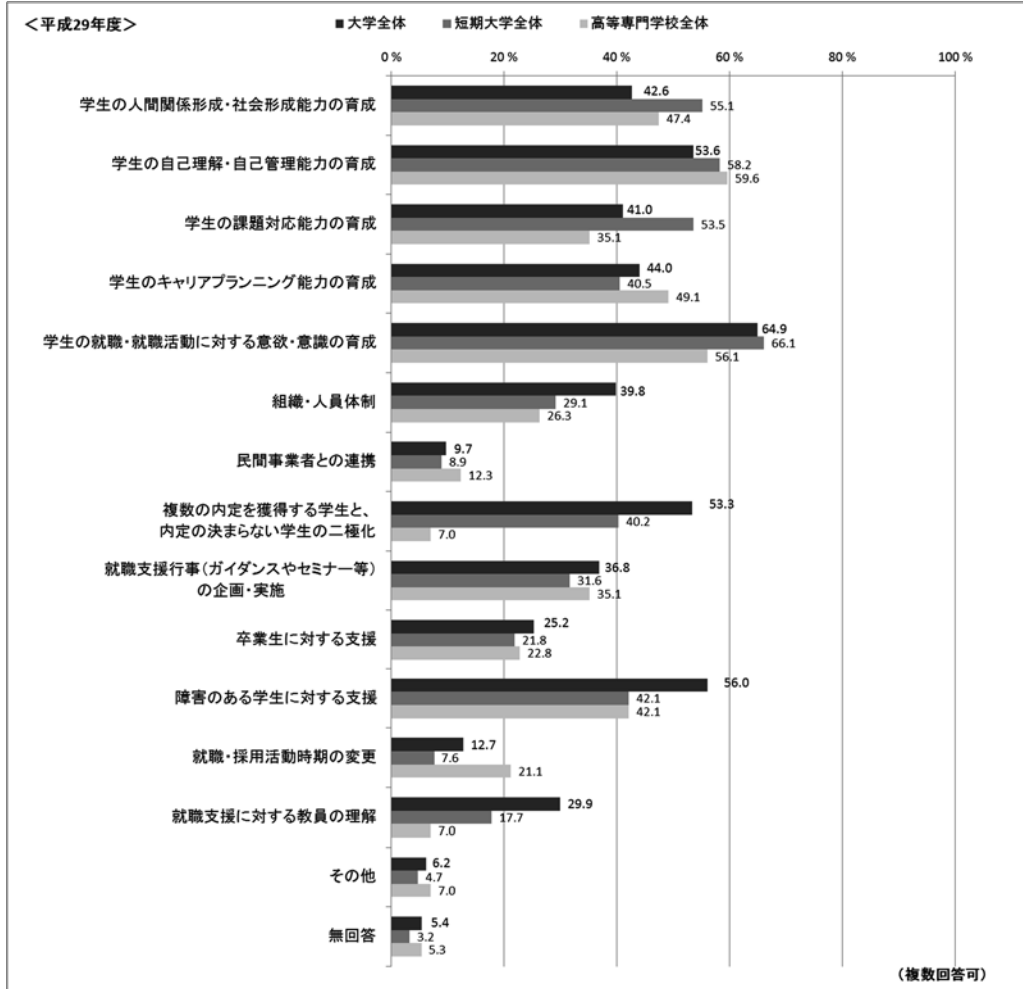
【図10】

		学生の基礎学力の低さ	学生の人間関係形成・社会形成能力の育成	学生の自己理解・自己管理能力の育成	学生の課題対応能力の育成	学生のキャリアプランニング能力の育成	低学年次からの指導の拡大	インターンシップへの対応	組織・人人体制	民間事業者との連携	キャリア教育に対する教員の理解	
平成29年度	大学 全体	38.5	44.8	51.0	44.0	45.5	48.2	42.2	35.9	10.7	32.9	
	国立	9.3	41.9	51.2	40.7	51.2	51.2	51.2	53.5	9.3	47.7	
	公立	8.0	29.5	29.5	22.7	37.5	39.8	38.6	35.2	12.5	28.4	
	私立	47.4	47.5	54.2	47.7	45.8	49.1	41.4	33.4	10.7	31.4	
	短期大学 全体	56.3	54.7	56.3	52.2	39.9	29.7	29.1	28.8	9.5	22.5	
	高等専門学校 全体	17.5	50.9	47.4	33.3	56.1	42.1	31.6	35.1	12.3	12.3	
		キャリア教育に対する職員の理解	キャリア教育と就職支援の一体的な企画・運用	キャリア教育と教育課程の関係性	キャリア教育の体系性	キャリアセンターと学部教員の協力関係	キャリアセンター教職員の専門能力	障害のある学生に対する支援	その他	無回答		
	大学 全体	13.4	39.1	31.6	32.2	29.6	19.3	43.3	3.9		5.8	
	国立	20.9	43.0	40.7	44.2	37.2	17.4	53.5	3.5		3.5	
	公立	6.8	27.3	22.7	22.7	23.9	13.6	31.8	3.4		10.2	
私立	13.2	40.2	31.6	31.9	29.4	20.4	43.5	4.1		5.4		
短期大学 全体	12.7	26.3	18.4	18.4	18.0	13.9	34.8	2.5		4.7		
高等専門学校 全体	8.8	31.6	26.3	31.6	5.3	17.5	43.9	3.5		5.3		

【表10】

1 1 就職支援に関する課題

就職支援に関する課題については、大学全体及び短期大学全体では「学生の就職・就職活動に対する意欲・意識の育成」(大学全体 64.9%、短期大学全体 66.1%)と回答した割合が最も高く、高等専門学校全体では「学生の自己理解・自己管理能力の育成」(59.6%)が最も高くなっている。他に、大学全体では「障害のある学生に対する支援」(56.0%)、「学生の自己理解・自己管理能力の育成」(53.6%)、「複数の内定を獲得する学生と、内定の決まらない学生の二極化」(53.3%)も高い割合となっている。



【図11】

(単位:%)

平成29年度			学生の人間関係形成・社会形成能力の育成	学生の自己理解・自己管理能力の育成	学生の課題対応能力の育成	学生のキャリアプランニング能力の育成	学生の就職・就職活動に対する意欲・意識の育成	組織・人員体制	民間事業者との連携	複数の内定を獲得する学生と、内定の決まらない学生の二極化
	大学 全体			42.6	53.6	41.0	44.0	64.9	39.8	9.7
	国立		37.2	54.7	32.6	39.5	57.0	51.2	9.3	51.2
	公立		25.0	31.8	23.9	35.2	43.2	39.8	9.1	45.5
	私立		46.0	56.7	44.8	46.0	69.3	38.2	9.8	54.8
短期大学 全体			55.1	58.2	53.5	40.5	66.1	29.1	8.9	40.2
高等専門学校 全体			47.4	59.6	35.1	49.1	56.1	26.3	12.3	7.0
			就職支援行事(ガイダンスやセミナー等)の企画・実施	卒業生に対する支援	障害のある学生に対する支援	就職・採用活動時期の変更	就職支援に対する教員の理解	その他	無回答	
大学 全体			36.8	25.2	56.0	12.7	29.9	6.2		5.4
	国立		39.5	39.5	61.6	19.8	36.0	8.1		4.7
	公立		30.7	20.5	39.8	10.2	25.0	4.5		10.2
	私立		37.4	23.8	57.6	12.1	29.7	6.1		4.8
短期大学 全体			31.6	21.8	42.1	7.6	17.7	4.7		3.2
高等専門学校 全体			35.1	22.8	42.1	21.1	7.0	7.0		5.3

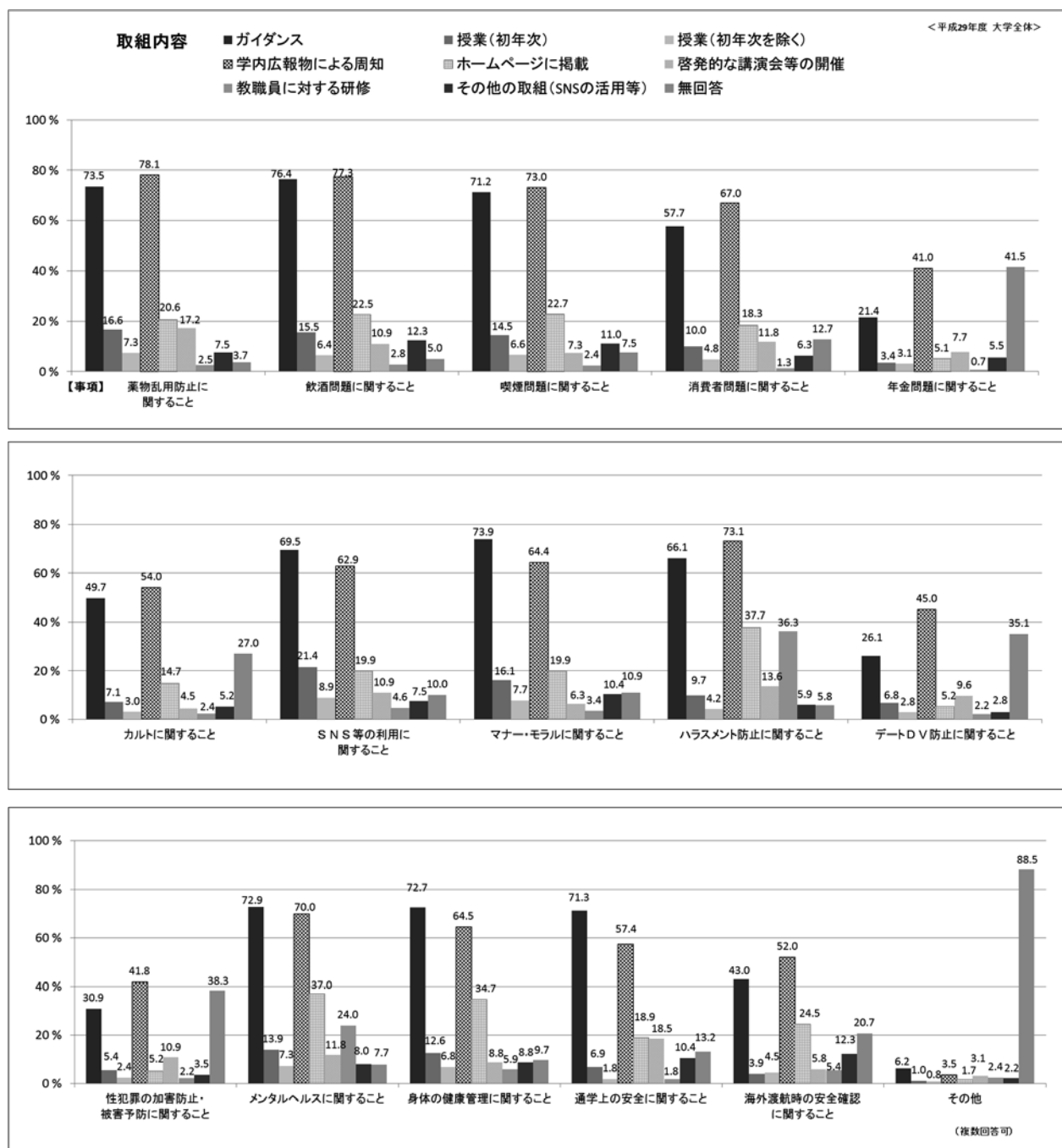
【表11】

IV 生活支援

12-①(1) 学生に関わる事件・事故の防止等に関する指導・啓発の取組

学生に関わる事件・事故の防止等に関する指導・啓発のための取組内容については、大学全体では多くの事項で「ガイダンス」「学内広報物による周知」の割合が高く、また、事項【ハラスメント防止】【メンタルヘルス】【身体の健康管理】では、「ホームページに掲載」の割合も高くなっている。

高等専門学校全体では、大学全体・短期大学全体と比べると、特に、事項【薬物乱用防止】【SNS等の利用】【通学上の安全】【メンタルヘルス】において、「啓発的な講演会等の開催」の割合が高くなっている。

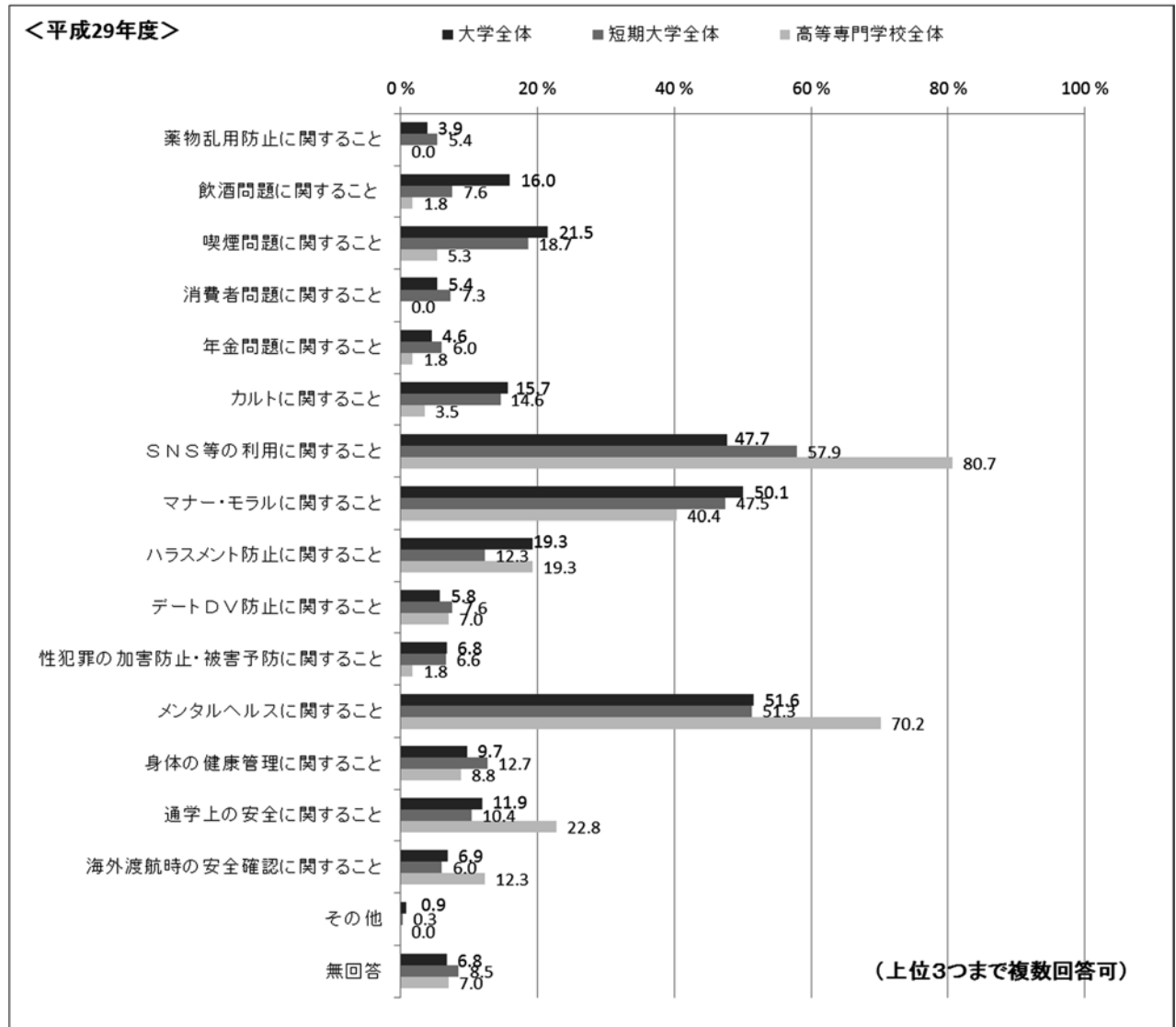


大学全体 【図 12-①(1)】

事項	取組内容	平成29年度(実施している項目をすべて選択)										平成27年度(実施している項目をすべて選択)									
		ガイダンス	授業(初年次)	授業(初年次を除く)	学内広報物による周知	ホームページに掲載	啓発的な講演会等の開催	教職員に対する研修	その他の取組(SNSの活用等)	無回答	ガイダンス	授業(初年次)	授業(初年次を除く)	学内広報物による周知	ホームページに掲載	啓発的な講演会等の開催	教職員に対する研修	その他の取組	無回答		
薬物乱用防止に関すること ※1	大学全体	73.5	16.6	7.3	78.1	20.6	17.2	2.5	7.5	3.7	72.8	16.6	6.1	76.9	20.0	23.1	3.1	10.5	3.1		
	国立	81.4	26.7	14.0	88.4	53.5	11.6	4.7	5.8	1.2	82.4	29.4	10.6	90.6	45.9	21.2	5.9	15.3	0.0		
	公立	65.9	8.0	6.8	72.7	6.8	15.9	1.1	4.5	4.5	67.5	6.0	6.0	69.9	13.3	19.3	1.2	7.2	4.8		
	私立	73.5	16.5	6.5	77.4	17.8	18.2	2.4	8.1	3.9	72.2	16.2	5.5	75.9	17.2	23.9	2.9	10.2	3.2		
	短期大学全体	60.1	13.6	4.4	69.3	7.9	16.5	1.9	3.5	4.7	61.2	13.4	4.0	68.6	6.5	22.0	2.2	3.7	7.1		
飲酒問題に関すること	大学全体	17.5	8.8	17.5	57.9	0.0	64.9	3.5	1.8	7.0	20.0	12.7	12.7	50.9	1.8	69.1	0.0	3.6	5.5		
	国立	76.4	15.5	6.4	77.3	22.5	10.9	2.8	12.3	5.0	73.7	15.4	5.7	74.5	21.0	9.5	2.4	13.1	5.8		
	公立	93.0	32.5	14.0	90.7	61.6	25.6	5.8	26.7	0.0	89.4	37.6	12.9	95.3	56.5	22.4	4.7	34.1	0.0		
	私立	69.3	8.0	5.7	76.1	12.5	11.4	2.3	5.7	5.7	69.9	7.2	4.8	68.7	13.3	9.6	0.0	6.0	6.0		
	短期大学全体	75.0	14.1	5.4	75.6	18.3	8.7	2.4	11.2	5.6	72.0	13.3	4.8	72.4	16.9	7.7	2.4	11.1	6.7		
喫煙問題に関すること	大学全体	63.3	11.1	3.8	60.8	8.2	4.4	0.9	4.7	11.1	61.2	10.6	5.3	55.3	5.9	5.9	2.2	5.3	15.8		
	国立	31.6	17.5	14.0	54.4	0.0	19.3	3.5	1.8	15.8	34.5	25.5	12.7	43.6	1.8	12.7	0.0	5.5	12.7		
	公立	71.2	14.5	6.6	73.0	22.7	7.3	2.4	11.0	7.5	70.2	14.5	6.9	69.5	22.5	10.9	3.2	13.9	7.6		
	私立	69.8	25.6	12.8	74.4	52.3	11.6	7.0	10.5	9.3	70.6	29.4	14.1	81.2	49.4	10.6	9.4	17.6	7.1		
	短期大学全体	54.5	3.4	5.7	60.2	10.2	5.7	1.1	5.7	14.8	57.8	4.8	4.8	56.6	13.3	10.8	1.2	8.4	14.5		
消費者問題に関すること	大学全体	73.9	14.6	5.8	74.7	20.2	7.0	1.9	11.9	6.1	71.8	13.7	6.1	69.6	20.0	10.9	2.6	14.2	6.7		
	国立	68.7	15.8	6.6	61.4	9.8	6.3	1.3	6.6	6.3	69.3	14.3	7.8	60.2	7.8	9.3	2.5	7.8	8.7		
	公立	33.3	19.3	17.5	54.4	0.0	29.8	5.3	3.5	14.0	40.0	23.6	16.4	45.5	1.8	29.1	1.8	9.1	3.6		
	私立	57.7	10.0	4.8	67.0	18.3	11.8	1.3	6.3	12.7	55.3	8.4	3.1	61.5	18.0	10.2	1.5	6.2	13.9		
	短期大学全体	66.6	18.6	7.0	81.4	43.0	12.8	3.5	8.1	7.0	68.2	21.2	7.1	80.0	38.8	12.9	1.2	7.1	5.9		
年金問題に関すること	大学全体	59.1	3.4	0.0	61.4	9.1	11.4	1.1	5.7	15.9	55.4	2.4	0.0	56.6	12.0	10.8	1.2	6.0	15.7		
	国立	55.9	9.7	5.3	65.7	16.1	11.7	1.0	6.1	13.1	53.4	7.3	2.9	59.6	15.9	9.7	1.5	6.1	14.8		
	公立	48.4	12.0	5.4	53.8	7.9	11.7	1.3	2.2	13.9	44.7	9.9	5.0	50.3	7.1	10.9	1.6	4.3	18.0		
	私立	8.8	7.0	7.0	40.4	0.0	33.3	3.5	1.8	33.3	7.3	1.8	9.1	34.5	0.0	23.6	1.8	1.8	34.5		
	短期大学全体	21.4	3.4	3.1	41.0	5.1	7.7	0.7	5.5	41.5	19.1	1.7	1.7	37.0	4.5	7.4	1.5	7.3	42.6		
カルトに関すること	大学全体	25.6	4.7	0.0	54.7	17.4	8.1	0.0	10.5	32.6	16.5	2.4	0.0	50.6	17.6	5.9	1.2	9.4	32.9		
	国立	18.2	0.0	1.1	38.6	4.5	10.2	0.0	10.2	39.8	26.5	0.0	1.2	33.7	4.8	8.4	0.0	13.3	39.8		
	公立	21.2	3.7	3.9	39.4	3.4	7.3	0.8	4.1	43.1	18.4	1.9	2.0	35.5	2.6	7.5	1.7	6.1	44.4		
	私立	20.3	5.4	3.8	31.0	1.6	11.1	0.3	2.2	46.6	18.3	4.0	2.5	29.8	0.9	9.9	1.6	4.7	44.1		
	短期大学全体	7.0	0.0	8.8	28.1	0.0	21.1	0.0	0.0	47.4	1.8	0.0	5.5	23.6	1.8	9.1	0.0	0.0	58.2		
SNS等に関すること	大学全体	49.7	7.1	3.0	54.0	14.7	4.5	2.4	5.2	27.0	47.9	6.9	2.8	51.2	14.6	3.3	2.9	5.6	27.3		
	国立	65.1	16.3	4.7	83.7	50.0	9.3	8.1	12.8	8.1	68.2	20.0	7.1	82.4	42.4	8.2	8.2	9.4	3.5		
	公立	39.8	1.1	0.0	43.2	6.8	4.5	1.1	2.3	43.2	39.8	1.2	0.0	43.4	8.4	3.6	0.0	4.8	34.9		
	私立	48.9	6.6	3.2	51.3	10.7	3.7	1.7	4.6	27.3	46.1	5.8	2.6	47.8	11.4	2.6	2.6	5.1	29.7		
	短期大学全体	31.6	5.1	1.9	34.5	4.7	2.5	0.3	2.2	44.6	29.5	5.6	1.9	30.7	4.3	2.8	1.9	2.5	45.0		
マナー・モラルに関すること	大学全体	5.3	0.0	1.8	19.3	0.0	5.3	1.8	0.0	73.7	1.8	0.0	1.8	12.7	0.0	3.6	0.0	1.8	74.5		
	国立	69.5	21.4	8.9	62.9	19.9	10.9	4.6	7.5	10.0	66.2	19.2	6.8	54.9	18.6	10.1	6.5	6.9	14.5		
	公立	66.3	31.4	12.8	72.1	39.5	10.5	4.7	9.3	7.0	65.9	36.5	11.8	57.6	34.1	8.2	8.2	10.6	10.6		
	私立	55.7	6.8	4.5	55.7	8.0	12.5	5.7	6.8	19.3	55.4	6.0	2.4	53.0	6.0	12.0	8.4	3.6	21.7		
	短期大学全体	72.0	22.1	9.0	62.6	18.8	10.7	4.4	7.3	9.0	67.7	18.6	6.7	54.6	18.1	10.1	6.0	6.8	14.0		
ハラステマ防止に関すること	大学全体	65.2	24.7	11.7	50.0	9.5	12.3	5.1	4.4	8.9	65.8	22.7	10.2	43.2	7.5	12.1	7.5	3.4	13.4		
	国立	45.6	35.1	19.3	54.4	1.8	63.2	10.5	5.3	3.5	43.6	30.9	20.0	41.8	3.6	67.3	12.7	7.3	1.8		
	公立	73.9	16.1	7.7	64.4	19.9	6.3	3.4	10.4	10.9	75.1	13.9	6.5	64.2	20.7	7.2	2.9	11.7	9.2		
	私立	74.4	24.4	7.0	75.6	41.9	9.3	3.5	12.8	10.5	77.6	20.0	4.7	68.2	37.6	11.8	3.5	21.2	9.4		
	短期大学全体	63.6	5.7	3.4	48.9	10.2	8.0	3.4	8.0	20.5	63.9	3.6	1.2	55.4	9.6	7.2	1.2	4.8	15.7		
デートDV防止に関すること ※2	大学全体	75.4	16.5	8.5	65.0	18.2	5.6	3.4	10.4	9.5	76.3	14.5	7.5	64.8	19.8	6.5	3.1	11.3	8.2		
	国立	70.6	25.3	12.7	48.4	9.5	6.6	0.9	7.3	11.1	76.7	23.3	14.3	53.4	8.1	6.8	3.7	7.8	7.5		
	公立	47.4	14.0	19.3	36.8	1.8	28.1	3.5	5.3	21.1	43.6	20.0	23.6	38.2	3.6	20.0	5.5	7.3	12.7		
	私立	66.1	9.7	4.2	73.1	37.7	13.6	36.3	5.9	5.8	66.0	8.4	4.1	72.3	37.1	14.1	34.6	7.0	4.8		
	短期大学全体	70.9	16.3	2.3	83.7	79.1	23.3	53.5	2.3	2.3	78.8	20.0	5.9	85.9	71.8	25.9	51.8	5.9	1.2		
性犯罪の加害防止・被害者防に関すること	大学全体	61.4	1.1	1.1	70.5	31.8	14.8	36.4	4.5	9.1	65.1	2.4	1.2	72.3	34.9	10.8	37.3	7.2	2.4		
	国立	66.0	10.0	4.9	72.0	32.6	12.1	33.8	6.6	5.8	64.3	7.5	4.3	70.3	32.4	12.8	31.7	7.2	5.6		
	公立	59.2	9.5	3.2	56.6	16.8	7.9	23.1	3.5	12.3	55.9	6.2	1.6	53.4	14.3	9.6	24.8	5.0	13.4		
	私立	21.1	5.3	5.3	54.4	15.8	15.8	43.9	3.5	15.8	23.6	7.3	3.6	43.6	16.4	18.2	41.8	1.8	20.0		
	短期大学全体	26.1	6.8	2.8	45.0	5.2	9.6	2.2	2.8	35.1	25.1	4.2	3.2	43.2	5.4	9.8	2.0	5.6	32.4		
メンタルヘルスに関すること	大学全体	20.9	10.5	3.5	39.5	8.1	11.6	3.5	0.0	44.2	20.0	11.8	4.7	44.7	11.8	10.6	2.4	2.4	32.9		
	国立	26.1	1.1	1.1	47.7	3.4	20.5	5.7	3.4	33.0	38.6	2.4	1.2	44.6	1.2	12.0	3.6	4.8	22.9		
	公立	26.8	7.1	2.9	45.3	5.1	7.6	1.5	3.1	34.1	23.9	3.4	3.2	42.8	5.1	9.4	1.7	6.1	33.6		
	私立	25.3	7.0	3.2	41.8	2.5	11.7	0.9	3.2	34.8	26.4	6.5	4.7	32.6	2.5	10.6	2.8	3.7	34.2		
	短期大学全体	8.8	3.5	3.5	38.6	0.0	36.8	1.8	0.0	31.6	1.8	1.8	5.5	38.2	1.8	34.5	0.0	0.0	36.4		
身体の健康管理に関すること	大学全体	30.9	5.4	2.4	41.8	5.2	10.9	2.2	3.5	38.3											
	国立	26.7	10.5	3.5	44.2	11.6	11.6	0.0	2.3	40.7											
	公立	29.5	2.3	2.3	38.6	6.8	14.8	3.4	3.4	43.2											
	私立	31.7	5.1	2.2	41.9	4.1	10.2	2.4	3.7	37.2											
	短期大学全体	31.6	7.0	3.5	38.0	2.8	13.6	0.9	3.5	35.8											
通学上の安全に関すること	大学全体	12.3	7.0	5.3	35.1	0.0	21.1	1.8	0.0	43.9											
	国立	72.9	13.9	7.3	70.0	37.0	11.8	24.0	8.0	7.7	76.0	15.5	7.4	70.3	41.0	13.3	29.6	8.2	4.8		
	公立	88.4	30.2	19.8	81.4	73.3	32.6	52.3	7.0	2.3	90.6	36.5	20.0	84.7	72.9	32.9	64.7	9.4	0.0		
	私立	77.3	4.5	3.4	82.5	26.1	10.2	21.6	13.6	4.5	83.1	6.0	4.8	73.5	45.8	12.0	21.7	8.4	0.0		
	短期大学全体	69.9	12.9	6.1	69.4	33.3	9.0	20.2	7.3	9.0	72.9	13.8	6.0	67.7	35.7	10.6	25.6	8.0	6.1		
海外渡航時の安全確認に関すること	大学全体	69.6	12.7	4.7	53.2	20.6	7.0	16.5	5.1	11.1	72.4	13.0	6.5	56.2	20.8	8.7					

12-①(2) 学生に対する事件・事故の防止等に関する対応が困難な事項

学生に対する事件・事故の防止等に関する対応が困難な事項について、上位3つまで選択としたところ、各学校種ともに、「メンタルヘルス」(大学全体 51.6%、短期大学全体 51.3%、高等専門学校全体 70.2%)、「マナー・モラル」(大学全体 50.1%、短期大学全体 47.5%、高等専門学校全体 40.4%)、「SNS等の利用」(大学全体 47.7%、短期大学全体 57.9%、高等専門学校全体 80.7%)が高くなっている。前回調査と比べると、各学校種ともに、上記3事項は増加しており、特に「SNS等の利用」では高等専門学校全体では 20.7 ポイント、短期大学全体では 17.8 ポイント増加している。



【図 12-①(2)】

		薬物乱用防止に関する事	飲酒問題に関する事	喫煙問題に関する事	消費者問題に関する事	年金問題に関する事	カルトに関する事	SNS等の利用に関する事	マナー・モラルに関する事	ハラスメント防止に関する事	デートDV防止に関する事	性犯罪の加害防止・被害予防に関する事(※)	メンタルヘルスに関する事	身体の健康管理に関する事	通学上の安全に関する事	海外渡航時の安全確認に関する事	その他	無回答
平成29年度	大学全体	3.9	16.0	21.5	5.4	4.6	15.7	47.7	50.1	19.3	5.8	6.8	51.6	9.7	11.9	6.9	0.9	6.8
	国立	1.2	43.0	8.1	7.0	0.0	22.1	36.0	46.5	29.1	2.3	5.8	60.5	8.1	9.3	5.8	1.2	4.7
	公立	2.3	17.0	2.3	3.4	6.8	18.2	31.8	38.6	22.7	5.7	10.2	56.8	18.2	13.6	13.6	0.0	12.5
	私立	4.6	11.9	26.3	5.4	4.9	14.4	51.8	52.3	17.3	6.3	6.5	49.6	8.7	12.1	6.1	1.0	6.3
短期大学全体	短期大学全体	5.4	7.6	18.7	7.3	6.0	14.6	57.9	47.5	12.3	7.6	6.6	51.3	12.7	10.4	6.0	0.3	8.5
	国立	0.0	1.8	5.3	0.0	1.8	3.5	80.7	40.4	19.3	7.0	1.8	70.2	8.8	22.8	12.3	0.0	7.0
	私立	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成27年度	大学全体	3.2	9.4	17.1	4.4	4.4	13.1	40.1	41.4	11.1	6.0	—	43.0	6.2	11.5	5.4	0.8	25.7
	国立	1.2	34.1	5.9	2.4	1.2	22.4	21.2	43.5	18.8	3.5	—	51.8	7.1	10.6	3.5	0.0	23.5
	公立	1.2	15.7	3.6	4.8	6.0	15.7	19.3	19.3	14.5	6.0	—	42.2	9.6	9.6	6.0	1.2	37.3
	私立	3.8	4.9	20.6	4.6	4.6	11.4	45.7	44.2	9.6	6.3	—	41.8	5.6	11.9	5.6	0.9	24.4
短期大学全体	短期大学全体	3.1	3.1	19.3	4.0	4.0	11.5	40.1	41.9	6.8	8.1	—	38.8	10.6	14.0	4.0	0.3	28.6
	国立	0.0	0.0	5.5	1.8	5.5	7.3	60.0	30.9	12.7	9.1	—	56.4	3.6	25.5	7.3	0.0	23.6
	私立	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

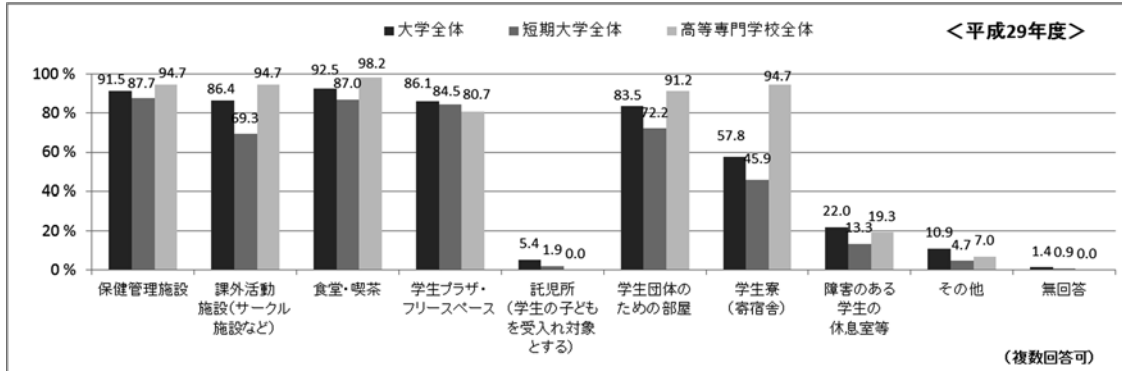
※H27年度「配偶者・恋人からの暴力防止に関する事」

【表 12-①(2)】

13-① 学生生活に関する施設

<設置状況>

学生生活に関する施設については、各学校種ともに、「食堂・喫茶」「保健管理施設」の割合が高くなっている。前回調査と比べると、「障害のある学生の休息室等」の割合が増加している(大学全体 6.0 ポイント増加、短期大学全体 4.9 ポイント増加)。



【図 13-①-1】

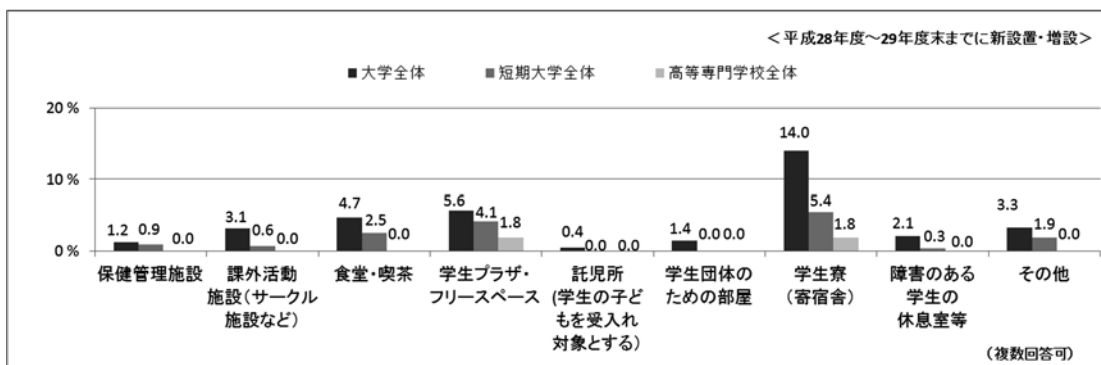
		保健管理施設	課外活動施設(サークル施設など)	食堂・喫茶	学生プラザ・フリースペース	託児所(学生の子どもを受入れ対象とする)	学生団体のための部屋	学生寮(寄宿舎)	障害のある学生の休息室等	その他	無回答
平成29年度	大学 全体	91.5	86.4	92.5	86.1	5.4	83.5	57.8	22.0	10.9	1.4
	国立	96.5	96.5	98.8	93.0	22.1	80.2	96.5	36.0	17.4	0.0
	公立	93.2	88.6	94.3	80.7	4.5	84.1	35.2	14.8	4.5	1.1
	私立	90.5	84.6	91.3	85.9	3.1	83.9	55.5	21.1	10.9	1.7
	短期大学 全体	87.7	69.3	87.0	84.5	1.9	72.2	45.9	13.3	4.7	0.9
高等専門学校 全体	94.7	94.7	98.2	80.7	0.0	91.2	94.7	19.3	7.0	0.0	

		保健管理施設	課外活動施設(サークル施設など)	食堂・喫茶	学生プラザ・フリースペース	託児所(学生の子どもを受入れ対象とする)	学生団体のための部屋	学生寮(寄宿舎)	障害のある学生の休息室等	その他	無回答
平成27年度	大学 全体	90.6	84.7	93.1	82.6	4.9	80.5	53.8	16.0	7.7	1.6
	国立	97.6	96.5	97.6	91.8	18.8	83.5	94.1	29.4	14.1	0.0
	公立	92.8	85.5	96.4	77.1	4.8	84.3	34.9	7.2	6.0	0.0
	私立	89.2	82.9	92.0	82.1	2.9	79.5	50.7	15.4	7.0	2.0
	短期大学 全体	86.6	70.8	85.4	80.7	2.5	71.7	45.0	8.4	4.0	2.5
高等専門学校 全体	90.9	90.9	96.4	83.6	0.0	89.1	90.9	18.2	1.8	1.8	

【表 13-①-1】

<平成28年度～29年度末までに新設置・増設した(する)割合>

学生生活に関する各施設を設置している学校のうち、平成28年度～29年度末までに新設置・増設した(する)割合については、各学校種ともに、「学生寮(寄宿舎)」と回答した割合が高くなっている。



【図 13-①-2】

		保健管理施設	課外活動施設(サークル施設など)	食堂・喫茶	学生プラザ・フリースペース	託児所(学生の子どもを受入れ対象とする)	学生団体のための部屋	学生寮(寄宿舎)	障害のある学生の休息室等	その他
平成28年度末までに新設置・増設	大学 全体	1.2	3.1	4.7	5.6	0.4	1.4	14.0	2.1	3.3
	国立	1.2	4.7	7.0	3.5	1.2	0.0	22.1	3.5	5.8
	公立	0.0	1.1	2.3	4.5	0.0	0.0	6.8	2.3	1.1
	私立	1.4	3.2	4.8	6.1	0.3	1.9	13.9	1.9	3.2
	短期大学 全体	0.9	0.6	2.5	4.1	0.0	0.0	5.4	0.3	1.9
高等専門学校 全体	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	

【表 13-①-2】

13-② 学生生活に関する施設の利用（特に工夫していること）

学生生活に関する施設の利用に関して特に工夫していることについて、多くの学校等から様々な回答をいただきました。ここでは、その一部を掲載しています。※記述の表現を、一部修正しています。

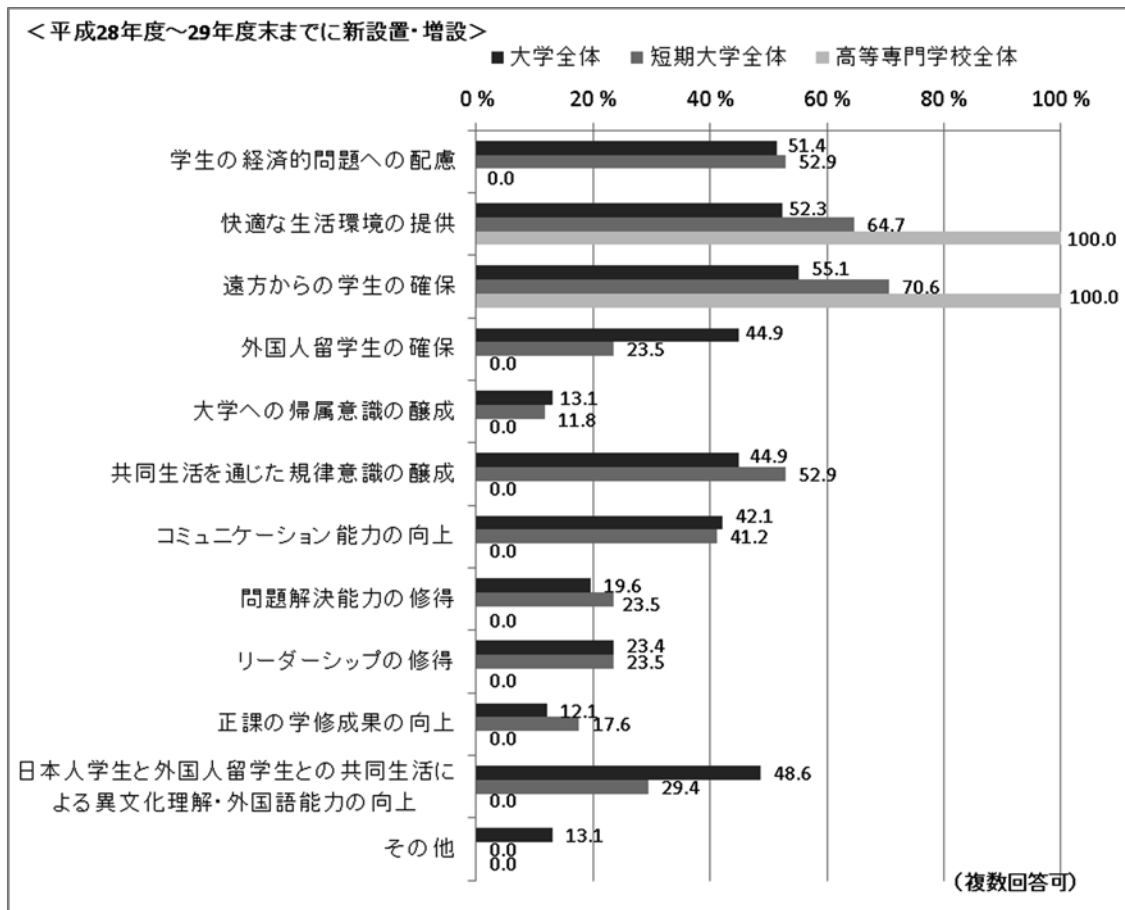
施設名	特に工夫していること
保健管理施設	居場所のない学生が、休養できるようにスペースを用意している。 保健室と学生相談室を隣接させ、連携して学生対応をしている。 保健管理施設と学生相談室で電子カルテを共有し、学生を支援している。 自動血圧計や身長体重計等を設置し、利用できるようにしている。 英語でも対応できるようにしている。 診療所の届出を行っており、予防接種等にも対応できるようにしている。
課外活動施設	体育施設は、パソコンから利用予約ができるようにしている。 トレーニングルームは、空き時間を利用して誰でもトレーニングできるように開放している。 体育会系の屋内施設(体育館・柔道場・剣道場等)は、熱中症対策と防音対策のため、冷房を設置している。 施設の整備や防犯管理のため、事務室および担当職員を配置し、対応している。 学生自治組織が主導で、学生団体の利用について調整会議を行い、利用予定を決めている。
食堂・喫茶	食堂で、混雑緩和のため、専用の電子マネーを導入している。 食堂で、プリペイドカード利用の場合に、割引(10%)している。 食堂と後援会で一部補助し、朝食定期券(2000円)を販売している。 食堂で、午前8時から10時まで、朝食を100円で提供している。 食堂に、カウンター席(一人席)やグループの人数に合わせて利用できるコーナーなどを用意している。 食堂に、Wi-Fi、コンセントを設置している。 昼食時に、低価格の弁当を、移動販売している。 同窓会と協働し、食育支援をしている。各地方の名物料理をメニューに取り入れ、低価格で提供している。 食堂のメニューについて、食育担当教員と食堂委託業者で連携し、アスリート向けのランチを提供している。 管理栄養士を目指す学科の学生が考案したメニューを、食堂で提供している。 ムスリムフレンドリー認証を取得し、ハラールフードを提供している。 「食物アレルギー」「ハラール」に対応するため、学生食堂のメニューに原材料の表示をしている。 地元メディアと協力して地産地消メニューを提供し、一般の方々も食べられるようにしている。 カフェでは、カップ代(100円)のみでドリンク飲み放題とし、学生と教員の交流の場や学生の居場所になっている。 営業時間外には、多目的スペース(アクティブ・ラーニング、プレゼンテーション、談話室等)として利用できるようにしている。 営業時間外には、自習からグループ討論など様々な用途に使えるよう、メインラウンジとグループ個室を設置している。
学生プラザ・フリースペース	1人席、小グループ席、ミーティングルームを設置している。 ソファ・テレビ・パソコンを配置し、飲食可能な学生談話室を設けている。また、ミーティングルーム、サークル対象のロッカー、充電機器や印刷室も設置している。 学生が過ごしやすいうように、フリードリンク設備を備えたラウンジタイプのスペース、学生が家具などを選び寛げるコミュニティスペースや自由に使えるフリースペースを設けている。 学生がミーティングや作業等を行うことができる、予約制の部屋を設置している。 24時間利用可能にしており、監視カメラを配置したうえで、守衛室にガードマンを常駐させている。 ピアサポートカフェを開室し、交流を苦手とする学生も参加しやすいように、学生同士の交流の場を設けている。 外国人講師による無料の英会話レッスンを開催している。 留学生と日本人学生が、英語でフリートークする時間を設けている。 英語を母語とするネイティブ教員が常駐し、英会話を楽しみながら英語力を身につけられるラウンジを設置している。また、他言語(中国語、ドイツ語、韓国語等)のイベントも開催している。 日本人学生が留学生をサポートし、日本語で文化交流を行う拠点を設置している。 24時間利用可能な自習室、留学生と日本人学生が交流できるスペース、学生のみならず企業とのコラボレーションもできるスペースを設置し、学部・国籍・大学を越えて交流ができるようにしている。
学生団体のための部屋	共同使用する部屋(会議室、多目的室)の利用回数等を定め、多くの団体が利用できるように配慮している。 学生自治会室を設置し、学生主体の行事準備が円滑に進むようにしている。 定期的に部室の点検を行い、適正利用を確認している。
学生寮(寄宿舎)	私語厳禁で24時間利用可能な自習室を設け、居室空間とは異なる学習環境を提供している。 練習室や図書館を完備している。 Wi-Fiを設置(全室)している。 各階にコミュニケーションルームを設置し、学生の交流の場としている。 留学生との交流ができるグローバルラウンジを設置している。 バリアフリー棟を設置している。 教育寮と位置づけ、人材育成プログラムを実施している。 英語力向上を目的として、留学生が講師となり、英会話の勉強会を実施している。
障害のある学生の休息室	パニック対応、クールダウン等のため、声もれにくいよう壁を厚めになっている。 車椅子でも利用しやすいように、引戸にしている。 連携のため、医務室、学生相談室に隣接して設置している。 災害時にスムーズに避難できるように、建物の出口のそばに、障害のある学生等の控え室を設置している。 障害のある学生だけではなく、学生が1人でも利用できるように、パーテーションで区切って運用している。 障害のある学生のための支援機器等を備えた部屋を設置し、障害のある学生の学習室等として使用している。
その他	世界各国の多用な文化をもつ留学生のために、瞑想、思索、礼拝、など心を落ち着かせることができる場を設置している。 身を清めるための洗浄施設(手・足等を洗うことのできる給湯施設)を設け、男女別で礼拝可能な場所も設置している。 女子トイレに、パウダーコーナー・フィッティングゾーンを設置している。

【表 13-②】

13-③ 学生寮（寄宿舎）を新たに設置・増設した（する）理由

※13-①で「学生寮（寄宿舎）を設置している」及び「平成28年度～29年度末までに新設置・増設した（する）」と回答した学校が対象

平成28年度～29年度末までに「学生寮（寄宿舎）（以下「学生寮」という。）」を新たに設置・増設した（する）理由については、各学校種ともに「遠方からの学生の確保」「快適な生活環境の提供」の割合が高くなっている。また、大学全体と短期大学全体においては、「学生の経済的問題への配慮」「共同生活を通じた規律意識の醸成」「コミュニケーション能力の向上」も高い割合になっている。なお、大学全体を設置者別でみると、国立大学及び公立大学では「日本人学生と外国人留学生との共同生活による異文化理解・外国語能力の向上」、私立大学では「遠方からの学生の確保」の割合が高くなっている。



【図13-③】

		学生の経済的問題への配慮	快適な生活環境の提供	遠方からの学生の確保(※1)	外国人留学生の確保	大学等への帰属意識の醸成	共同生活を通じた規律意識の醸成	コミュニケーション能力の向上	問題解決能力の修得	リーダーシップの修得	正課の学修成果の向上	日本人学生と外国人留学生との共同生活による異文化理解・外国語能力の向上	その他
平成29年度	大学 全体	51.4	52.3	55.1	44.9	13.1	44.9	42.1	19.6	23.4	12.1	48.6	13.1
	国立	52.6	36.8	15.8	52.6	0.0	42.1	31.6	0.0	5.3	10.5	73.7	15.8
	公立	50.0	50.0	16.7	66.7	16.7	16.7	50.0	16.7	16.7	16.7	66.7	16.7
	私立	51.2	56.1	67.1	41.5	15.9	47.6	43.9	24.4	28.0	12.2	41.5	12.2
	短期大学 全体	52.9	64.7	70.6	23.5	11.8	52.9	41.2	23.5	23.5	17.6	29.4	0.0
高等専門学校 全体	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

<参考>

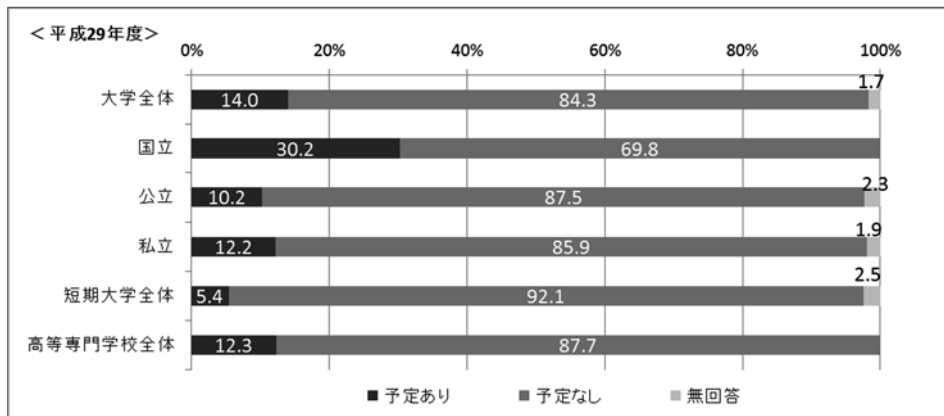
平成27年度	大学 全体	59.7	54.8	45.2	12.9	35.5	32.3	19.4				48.4	29.0
	国立	72.2	61.1	16.7	0.0	27.8	27.8	16.7				66.7	33.3
	公立	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3				33.3	33.3
	私立	56.1	53.7	61.0	19.5	39.0	34.1	19.5				41.5	26.8
	短期大学 全体	80.0	80.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0				40.0	40.0
高等専門学校 全体	50.0	75.0	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0				25.0	25.0	

※1 平成27年度：地方学生の確保

【表13-③】

13-④(1) 学生寮の平成30年度以降の設置・増設予定

学生寮について、平成30年度以降の設置・増設を予定している学校の割合は、大学全体が最も高く14.0%、高等専門学校全体で12.3%、短期大学全体で5.4%の順になっている。前回調査と比べて、大きな変化はない。



【図13-④(1)】

(単位: %)

		予定あり	予定なし	無回答
平成29年度	大学全体	14.0	84.3	1.7
	国立	30.2	69.8	0.0
	公立	10.2	87.5	2.3
	私立	12.2	85.9	1.9
	短期大学全体	5.4	92.1	2.5
	高等専門学校全体	12.3	87.7	0.0

<参考>

		予定あり	予定なし	無回答
平成27年度	大学全体	15.0	77.7	7.4
	国立	31.8	68.2	1.2
	公立	8.4	79.5	12.0
	私立	13.5	78.8	7.7
	短期大学全体	7.8	83.5	8.7
	高等専門学校全体	21.8	78.2	0.0

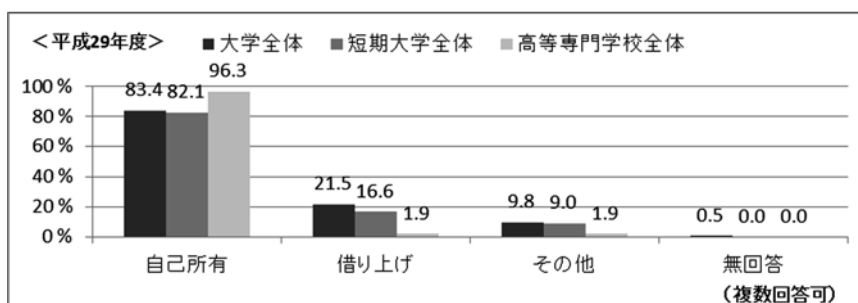
※平成28年度以降に学生寮を新設または増設の予定

【表13-④(1)】

13-④(2) 学生寮の保有形態

※13-①で「学生寮(寄宿舎)を設置している」と回答した学校が対象

学生寮の保有形態については、各学校種ともに「自己所有」が8割を超えている。大学全体を設置者別で見ると、私立大学で、「借り上げ」(23.9%)が他の設置者に比べて高くなっている。



【図13-④(2)】

(単位: %)

		自己所有	借り上げ	その他	無回答
平成29年度	大学全体	83.4	21.5	9.8	0.5
	国立	97.6	14.5	6.0	0.0
	公立	93.5	16.1	3.2	0.0
	私立	78.9	23.9	11.3	0.6
	短期大学全体	82.1	16.6	9.0	0.0
	高等専門学校全体	96.3	1.9	1.9	0.0

<参考>

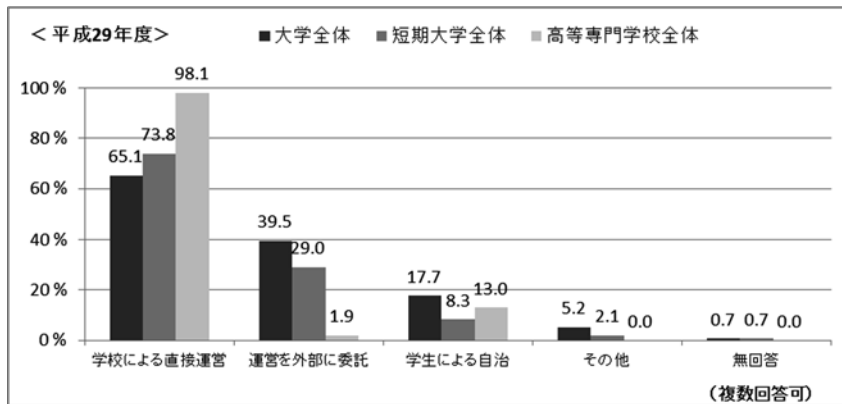
		自己所有	借り上げ	その他	無回答
平成27年度	大学全体	83.0	21.4	9.2	0.5
	国立	98.8	14.8	3.7	0.0
	公立	89.7	20.7	0.0	0.0
	私立	78.1	23.3	11.6	0.7
	短期大学全体	82.9	15.8	8.2	0.7
	高等専門学校全体	98.0	2.0	2.0	0.0

【表13-④(2)】指摘

13-④(3) 学生寮の運営形態

※13-①で「学生寮(寄宿舎)を設置している」と回答した学校が対象

学生寮の運営形態の状況については、各学校種ともに「学校による直接運営」の割合が6割以上となっている。大学全体を設置者別でみると、国立大学で「学生による自治」、私立大学で「運営を外部に委託」と回答した割合が、他の設置者に比べて高くなっている。



【図 13-④(3)】

(単位: %)

年度	設置者	学校による直接運営 (%)	運営を外部に委託 (%)	学生による自治 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
平成29年度	大学 全体	65.1	39.5	17.7	5.2	0.7
	国立	72.3	30.1	45.8	1.2	0.0
	公立	74.2	29.0	25.8	3.2	0.0
	私立	62.4	42.8	9.8	6.4	0.9
	短期大学 全体	73.8	29.0	8.3	2.1	0.7
高等専門学校 全体	98.1	1.9	13.0	0.0	0.0	

<参考>

年度	設置者	学校による直接運営 (%)	運営を外部に委託 (%)	学生による自治 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
平成27年度	大学 全体	66.7	38.9	19.5	3.9	0.5
	国立	72.8	28.4	46.9	0.0	0.0
	公立	79.3	24.1	27.6	0.0	0.0
	私立	63.8	43.2	11.3	5.3	0.7
	短期大学 全体	76.0	24.0	8.2	6.8	0.7
高等専門学校 全体	98.0	5.9	15.7	2.0	0.0	

【表 13-④(3)】

13-④(5) 学生寮の平均定員数

※13-①で「学生寮(寄宿舎)を設置している」と回答した学校が対象

学生寮の平均定員数については、高等専門学校全体が最も多く365.3人、次に大学全体278.7人、短期大学全体123.6人の順になっている。大学全体を設置者別でみると、国立大学が最も多く572.5人となっている。

学生寮の平均定員数のうち外国人留学生の定員数については、大学全体が一番多く67.6人、短期大学全体と高等専門学校全体は10人程度となっている。なお、外国人留学生の定員数を「定めていない」と回答した学校も、多くみられた。

(単位: 人)

年度	設置者	全体 (人)	うち外国人留学生 (人)
平成29年度	大学 全体	278.7	67.6
	国立	572.5	174.5
	公立	155.0	28.4
	私立	215.4	40.2
	短期大学 全体	123.6	11.9
高等専門学校 全体	365.3	10.3	

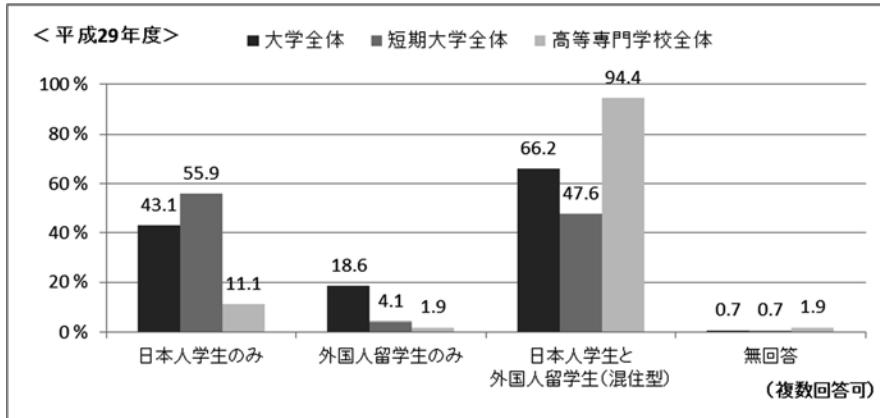
【表 13-④(5)】

※人数の回答があった学校のみを集計

13-④(6) 学生寮の入居学生の形態について

※13-①で「学生寮(寄宿舎)を設置している」と回答した学校が対象

学生寮の入居学生の形態については、大学全体・高等専門学校全体では「日本人学生と外国人留学生(混住型)」の割合が最も高くなっている(大学全体 66.2%、高等専門学校全体 94.4%)。大学全体を設置者別でみると、国立大学で、「日本人学生と外国人留学生(混住型)」(95.2%)が、他の設置者に比べて特に高くなっている。



【図 13-④(6)】

(単位:%)

		日本人学生のみ	外国人留学生のみ	日本人学生と外国人留学生(混住型)	無回答	
平成29年度	大学 全体	43.1	18.6	66.2	0.7	
		国立	32.5	37.3	95.2	1.2
		公立	35.5	19.4	58.1	0.0
		私立	46.5	13.8	59.6	0.6
	短期大学 全体	55.9	4.1	47.6	0.7	
	高等専門学校 全体	11.1	1.9	94.4	1.9	

<参考>

		日本人学生のみ	外国人留学生のみ	日本人学生と外国人留学生(混住型)	無回答	
平成27年度	大学 全体	44.8	18.0	62.8	3.2	
		国立	33.3	33.3	93.8	1.2
		公立	41.4	27.6	44.8	3.4
		私立	48.2	13.0	56.1	3.7
	短期大学 全体	60.3	4.1	43.8	2.7	
	高等専門学校 全体	17.6	2.0	92.2	2.0	

【表 13-④(6)】

13-④(7) 学生寮の全体の定員数に対する入居者の割合

※13-①で「学生寮(寄宿舎)を設置している」と回答した学校が対象

学生寮の全体の定員数に対する入居者数の割合については、高等専門学校全体が最も高く82.9%、次に大学全体 74.6%、短期大学全体 60.7%の順となっている。

なお、入居率が 0%、100%となっている学校もあり、状況は学校によって大きく異なっている。

【全体の定員数に対する入居者の割合(平均値)】

(単位:%)

		入居率	
平成29年度	大学 全体	74.6%	
		国立	77.3%
		公立	80.5%
		私立	73.4%
	短期大学 全体	60.7%	
	高等専門学校 全体	82.9%	

※人数の回答があった学校のみを集計【表 13-④(7)-1】

【入居者にしめる外国人留学生の割合(平均値)】

(単位:%)

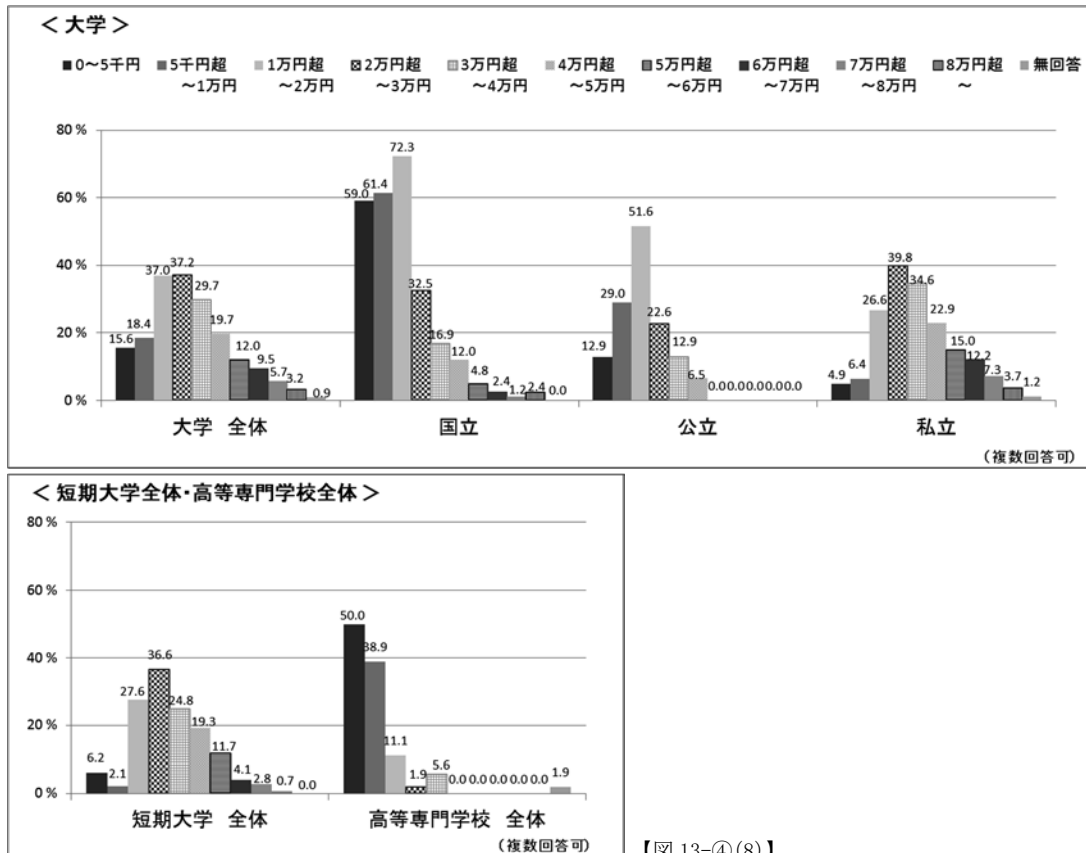
		外国人留学生の割合	
平成29年度	大学 全体	19.1%	
		国立	22.7%
		公立	29.1%
		私立	17.1%
	短期大学 全体	7.2%	
	高等専門学校 全体	3.4%	

※人数の回答があった学校のみを集計【表 13-④(7)-2】

13-④(8) 学生寮の寮費について

※13-①で「学生寮(寄宿舎)を設置している」と回答した学校が対象

学生寮の寮費については、大学全体と短期大学全体では「1万円超～2万円」及び「2万円超～3万円」と回答した割合が高く、高等専門学校全体では「0～5千円」が最も高くなっている。



【図 13-④(8)】

(単位: %)

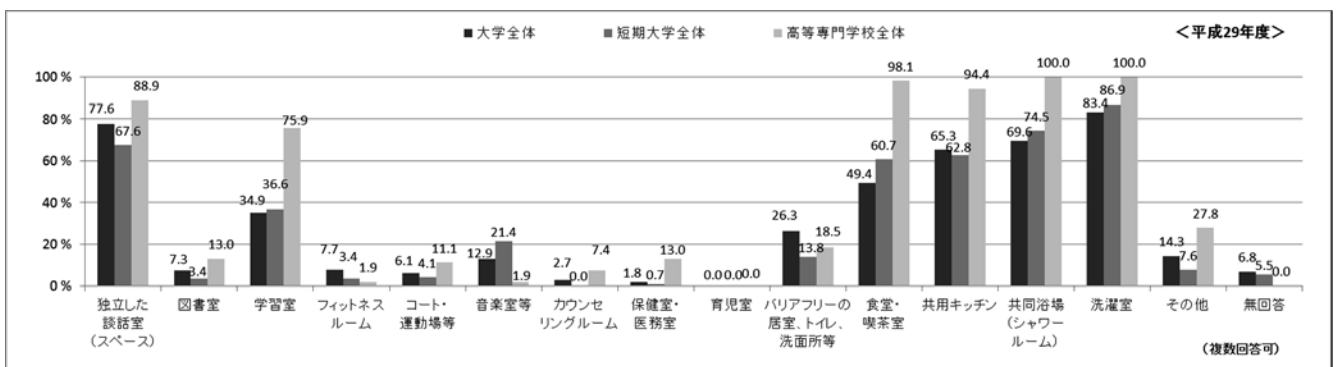
		0～5千円	5千円超～1万円	1万円超～2万円	2万円超～3万円	3万円超～4万円	4万円超～5万円	5万円超～6万円	6万円超～7万円	7万円超～8万円	8万円超～	無回答
平成29年度	大学 全体	15.6	18.4	37.0	37.2	29.7	19.7	12.0	9.5	5.7	3.2	0.9
	国立	59.0	61.4	72.3	32.5	16.9	12.0	4.8	2.4	1.2	2.4	0.0
	公立	12.9	29.0	51.6	22.6	12.9	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	私立	4.9	6.4	26.6	39.8	34.6	22.9	15.0	12.2	7.3	3.7	1.2
	短期大学 全体	6.2	2.1	27.6	36.6	24.8	19.3	11.7	4.1	2.8	0.7	0.0
	高等専門学校 全体	50.0	38.9	11.1	1.9	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9

【表 13-④(8)】

13-④(9) 学生寮の付帯施設

※13-①で「学生寮(寄宿舎)を設置している」と回答した学校が対象

学生寮の付帯施設について、各学校種ともに設置率が高かったのは「洗濯室」「共同浴場(シャワールーム)」「独立した談話室(スペース)」「共用キッチン」であった。高等専門学校全体においては、「食堂・喫茶室」「学習室」も設置率が高くなっている。「その他」の具体的な内容としては、「集会ホール」や「多目的室」等があった。



【図 13-④(9)】

(単位:%)

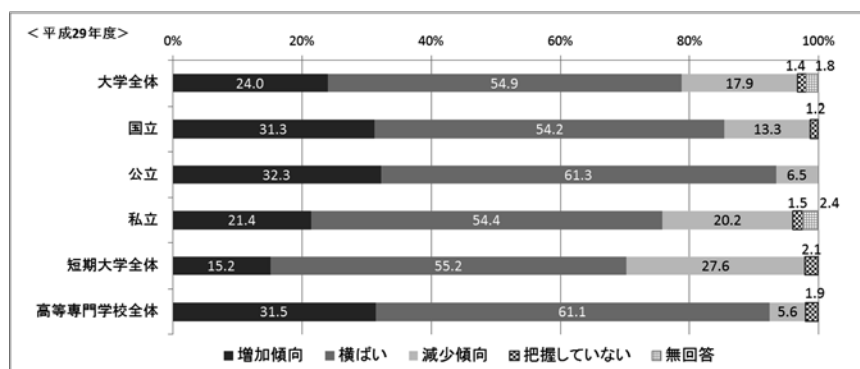
年度	学校種別	独立した談話室(スペース)	図書室	学習室	フィットネスルーム	コート・運動場等	音楽室等	カウンセリングルーム	保健室・医務室	育児室	バリアフリーの居室、トイレ、洗面所等	食堂・喫茶室	共用キッチン	共同浴場(シャワールーム)	洗濯室	その他	無回答
		平成29年度	大学全体	77.6	7.3	34.9	7.7	6.1	12.9	2.7	1.8	0.0	26.3	49.4	65.3	69.6	83.4
	国立	96.4	13.3	33.7	3.6	7.2	9.6	3.6	0.0	0.0	41.0	19.3	84.3	85.5	96.4	25.3	0.0
	公立	71.0	0.0	22.6	3.2	0.0	3.2	0.0	3.2	0.0	35.5	32.3	67.7	58.1	74.2	16.1	9.7
	私立	73.4	6.4	36.4	9.2	6.4	14.7	2.8	2.1	0.0	21.7	58.7	60.2	66.7	81.0	11.3	8.3
	短期大学全体	67.6	3.4	36.6	3.4	4.1	21.4	0.0	0.7	0.0	13.8	60.7	62.8	74.5	86.9	7.6	5.5
	高等専門学校全体	88.9	13.0	75.9	1.9	11.1	1.9	7.4	13.0	0.0	18.5	98.1	94.4	100.0	100.0	27.8	0.0
<参考>																	
平成27年度	大学全体	74.9	7.1	33.1	6.6	5.8	11.7	2.7	1.5	0.0	24.3	48.2	65.5	69.1	86.1	17.5	5.1
	国立	98.8	17.3	30.9	3.7	11.1	9.9	1.2	0.0	0.0	39.5	18.5	84.0	85.2	96.3	24.7	0.0
	公立	62.1	0.0	24.1	3.4	0.0	3.4	0.0	6.9	0.0	31.0	37.9	58.6	55.2	72.4	6.9	13.8
	私立	69.8	5.0	34.6	7.6	5.0	13.0	3.3	1.3	0.0	19.6	57.1	61.1	66.1	84.7	16.6	5.6
	短期大学全体	68.5	2.7	39.0	4.1	3.4	15.8	0.7	0.7	0.0	11.0	66.4	58.9	76.0	89.0	11.0	4.8
	高等専門学校全体	86.3	7.8	76.5	5.9	7.8	2.0	7.8	13.7	0.0	27.5	94.1	98.0	100.0	100.0	27.5	0.0

【表13-④(9)】

13-④(10) 学生寮への入居希望者数の傾向

※13-①で「学生寮(寄宿舎)を設置している」と回答した学校が対象

学生寮の入居希望者数の傾向としては、各学校種ともに「横ばい」が最も高く、割合は5~6割となっている。前回調査と比べて全体的な大きな変化はないが、短期大学全体においては「減少傾向」が7.7ポイント増加した。



【図13-④(10)】

		増加傾向	横ばい	減少傾向	把握していない	無回答
平成29年度	大学全体	24.0	54.9	17.9	1.4	1.8
	国立	31.3	54.2	13.3	1.2	0.0
	公立	32.3	61.3	6.5	0.0	0.0
	私立	21.4	54.4	20.2	1.5	2.4
	短期大学全体	15.2	55.2	27.6	2.1	0.0
	高等専門学校全体	31.5	61.1	5.6	1.9	0.0
<参考>						
平成27年度	大学全体	26.0	52.3	16.3	2.2	3.2
	国立	32.1	45.7	18.5	2.5	1.2
	公立	24.1	69.0	3.4	3.4	0.0
	私立	24.6	52.5	16.9	2.0	4.0
	短期大学全体	17.1	61.0	19.9	2.1	0.0
	高等専門学校全体	43.1	47.1	9.8	0.0	0.0

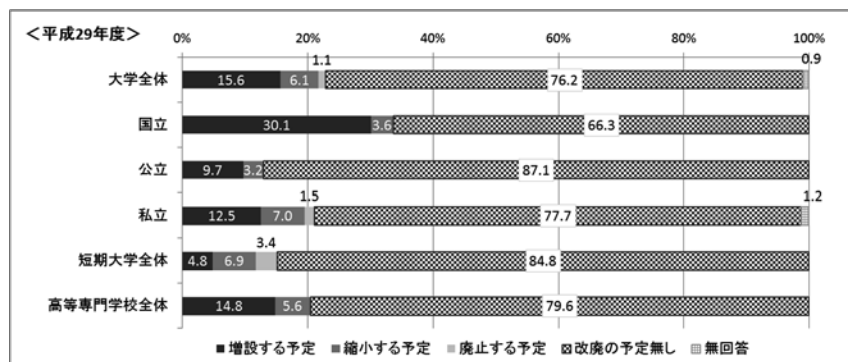
※平成29年度は過去2年、平成27年度は過去3年の入居希望者数の傾向

【表13-④(10)】

13-④(11) 学生寮(寄宿舎)の今後の予定

※13-①で「学生寮(寄宿舎)を設置している」と回答した学校が対象

学生寮の今後の予定については、各学校種ともに「改廃の予定なし」が多くを占めており、前回調査と同様の傾向ではあるが、「縮小する予定」と回答した割合が微増している。



【図13-④(11)】

(単位: %)

		増設する 予定	縮小する 予定	廃止する 予定	改廃の予 定なし	無回答
平成 29 年度	大学 全体	15.6	6.1	1.1	76.2	0.9
	国立	30.1	3.6	0.0	66.3	0.0
	公立	9.7	3.2	0.0	87.1	0.0
	私立	12.5	7.0	1.5	77.7	1.2
	短期大学 全体	4.8	6.9	3.4	84.8	0.0
	高等専門学校 全体	14.8	5.6	0.0	79.6	0.0

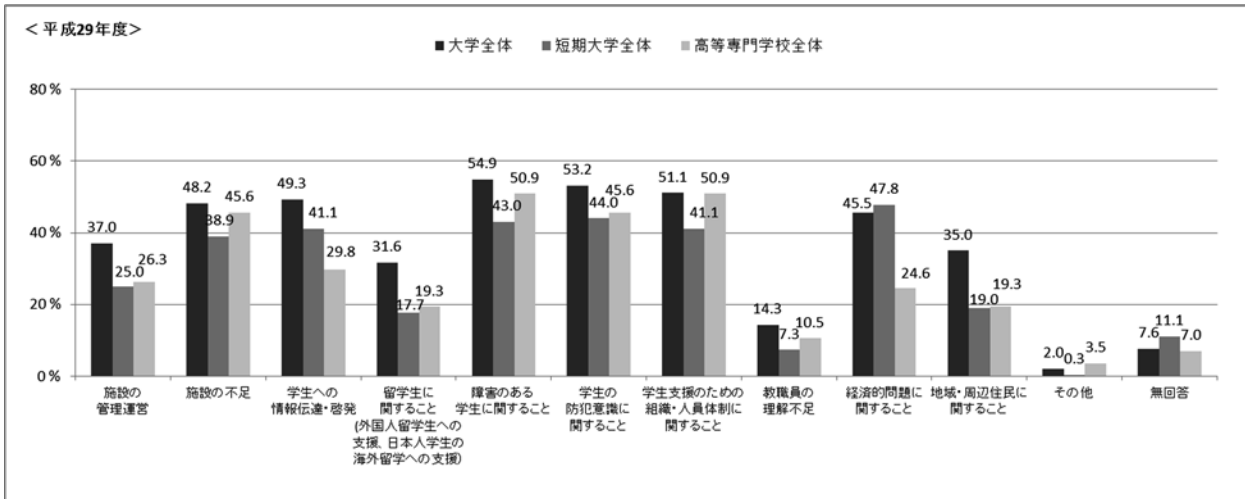
<参考>

		増設する 予定	縮小する 予定	廃止する 予定	改廃の予 定なし	無回答
平成 27 年度	大学 全体	16.5	2.7	1.0	77.6	2.2
	国立	24.7	0.0	1.2	74.1	0.0
	公立	10.3	3.4	0.0	86.2	0.0
	私立	15.0	3.3	1.0	77.7	3.0
	短期大学 全体	4.8	1.4	2.7	89.7	1.4
	高等専門学校 全体	11.8	0.0	0.0	88.2	0.0

【表13-④(11)】

1.4 学生生活支援（学生が関わる事件・事故の防止等に関する学生への指導・啓発、学生生活に関する施設の設置等）に関する課題

学生生活支援に関する課題については、各学校種とも「障害のある学生に関すること」「学生の防犯意識に関すること」「学生支援のための組織・人員体制に関すること」が、4～5割と高い割合になっている。また、大学全体及び短期大学全体においては、「学生への情報伝達・啓発」「経済的問題に関すること」の割合が高くなっている。大学全体を設置者別でみると、国立大学においては、他の設置者に比べて割合が高い項目が多くなっている。



【図14】

(単位: %)

		施設の管理運営	施設の不足	学生への情報伝達・啓発	留学生に関すること (外国人留学生への支援、日本人学生の海外留学への支援) (※1)	障害のある学生に関すること	学生の防犯意識に関すること (※2)	学生支援のための組織・人員体制に関すること	教職員の理解不足	経済的問題に関すること	地域・周辺住民に関すること	その他	無回答
平成 29 年度	大学 全体	37.0	48.2	49.3	31.6	54.9	53.2	51.1	14.3	45.5	35.0	2.0	7.6
	国立	70.9	62.8	60.5	46.5	59.3	75.6	66.3	19.8	45.3	52.3	5.8	0.0
	公立	34.1	39.8	45.5	33.0	48.9	44.3	47.7	8.0	27.3	15.9	2.3	13.6
	私立	32.4	47.4	48.2	29.2	55.2	51.3	49.4	14.4	48.2	35.3	1.4	7.8
	短期大学 全体	25.0	38.9	41.1	17.7	43.0	44.0	41.1	7.3	47.8	19.0	0.3	11.1
	高等専門学校 全体	26.3	45.6	29.8	19.3	50.9	45.6	50.9	10.5	24.6	19.3	3.5	7.0

<参考>

		施設の管理運営	施設の不足	学生への情報伝達・啓発	留学生に関すること (外国人留学生への支援、日本人学生の海外留学への支援) (※1)	障害のある学生に関すること	学生の防犯意識に関すること (※2)	学生支援のための組織・人員体制に関すること	教職員の理解不足	経済的問題に関すること	地域・周辺住民に関すること	その他	無回答
平成 27 年度	大学 全体	30.6	49.1	43.5	24.9	44.7	41.5	43.5		42.3	33.7		8.1
	国立	67.1	61.2	54.1	41.2	60.0	55.3	62.4		45.9	49.4		2.4
	公立	27.7	33.7	45.8	21.7	44.6	33.7	42.2		30.1	24.1		12.0
	私立	25.8	49.5	41.6	23.0	42.5	40.6	41.0		43.5	32.8		8.4
	短期大学 全体	20.2	40.1	36.0	12.1	32.0	36.0	35.4		43.8	18.3		10.2
	高等専門学校 全体	25.5	40.0	32.7	12.7	25.5	52.7	32.7		16.4	27.3		9.1

※1 平成27年度: 留学生・外国人学生に関すること

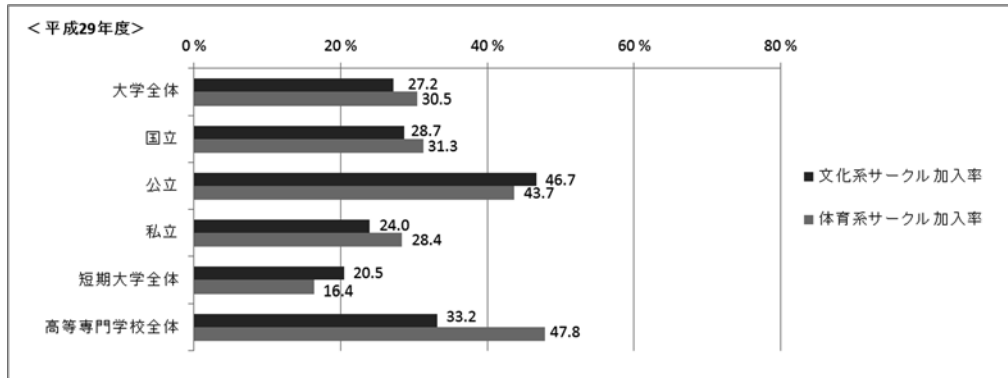
※2 平成27年度: 学生の防犯意識の低下

【表14】

V 課外活動／ピア・サポート／ボランティア活動

15 公認サークル（公認しているクラブ、サークル、同好会等の課外活動団体）の加入率

公認サークルの加入人数と学生数から、公認サークルの加入率を算出したところ、大学全体・高等専門学校全体では「体育系サークル」、短期大学全体では「文化系サークル」の割合が高く、これらは前回調査と同様の傾向になっている。なお、前回調査と比べると、短期大学全体では「体育系サークル」「文化系サークル」ともに、加入率が8ポイント程度、減少している。



【図15】

(単位: %)

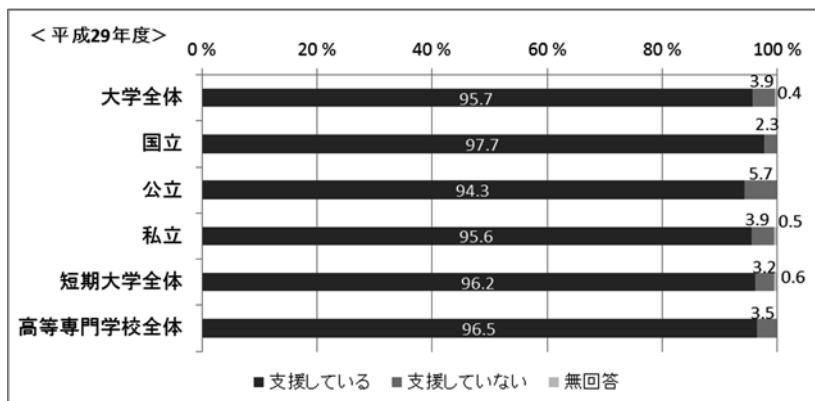
	平成29年度		＜参考＞平成27年度	
	文化系サークル	体育系サークル	文化系サークル	体育系サークル
大学 全体	27.2	30.5	28.0	33.2
国立	28.7	31.3	27.9	31.3
公立	46.7	43.7	46.7	57.2
私立	24.0	28.4	25.3	29.9
短期大学 全体	20.5	16.4	29.0	24.3
高等専門学校 全体	33.2	47.8	33.9	48.8

※サークル加入率＝サークル加入者数／学生数
サークル加入者がいない大学等および、大学・短期大学の併設により、切り分けができない大学等は除外しています。

【表15】

16-① 公認サークルに対する支援状況

公認サークルに対する学校としての支援状況については、各学校種ともに「支援している」割合が9割を超えている。前回調査と比べて、大きな変化はない。



【図16-①】

(単位: %)

		支援している	支援していない	無回答
平成29年度	大学 全体	95.7	3.9	0.4
	国立	97.7	2.3	0.0
	公立	94.3	5.7	0.0
	私立	95.6	3.9	0.5
	短期大学 全体	96.2	3.2	0.6
高等専門学校 全体	96.5	3.5	0.0	

＜参考＞

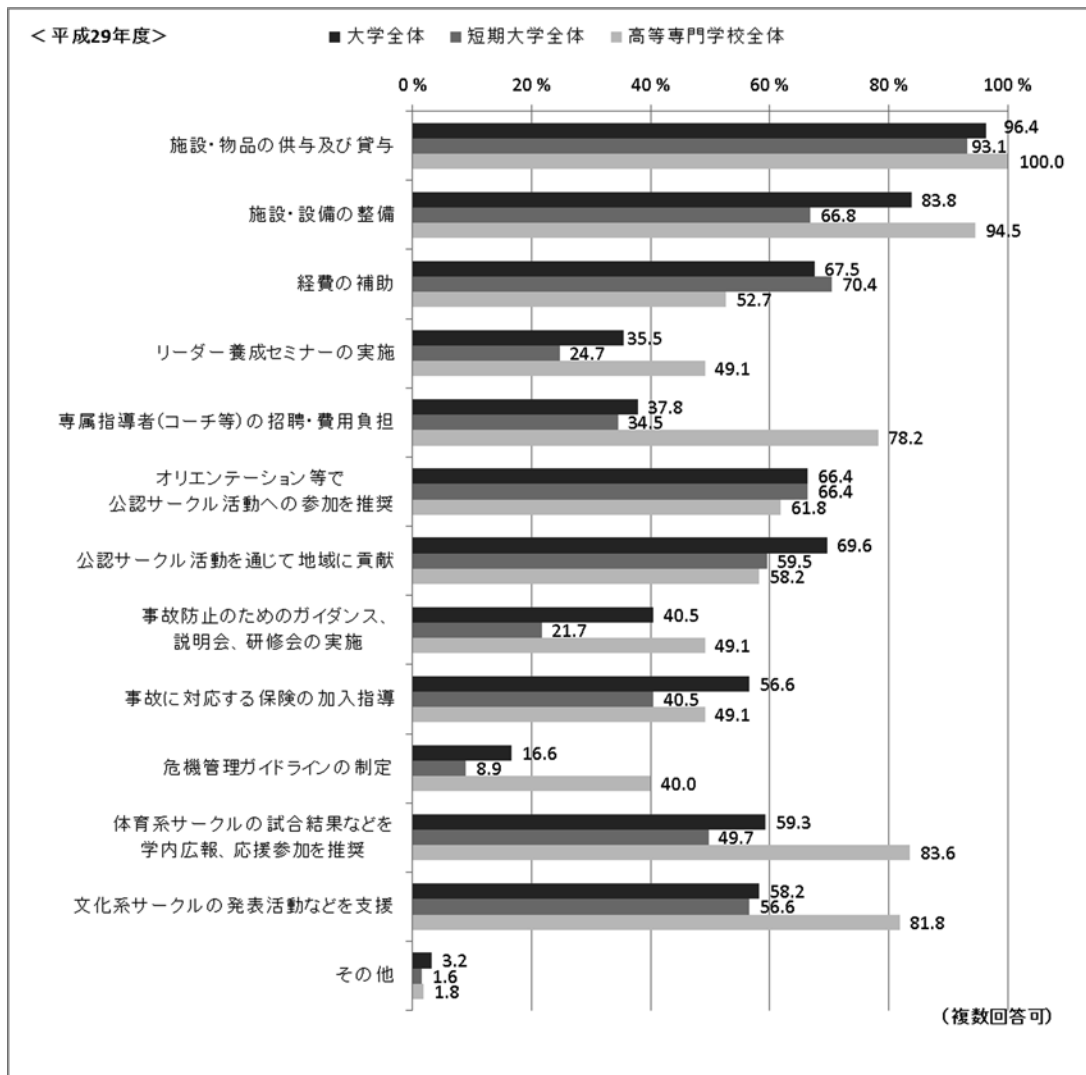
		支援している	支援していない	無回答
平成27年度	大学 全体	94.0	4.8	1.2
	国立	97.6	2.4	0.0
	公立	92.8	4.8	2.4
	私立	93.7	5.1	1.2
	短期大学 全体	96.0	2.5	1.6
高等専門学校 全体	100.0	0.0	0.0	

【表16-①】

16-② 公認サークルに対する支援内容

※16-①で「支援している」と回答した学校が対象

公認サークルに対する学校としての支援内容については、各学校種ともに回答割合の高い項目が多い。なお、「専属指導者(コーチ等)の招聘・費用負担」「危機管理ガイドラインの制定」「体育系サークルの試合結果などを学内広報、応援参加を推奨」については、学校種によって回答割合の差が大きく(30ポイント以上)なっている。なお、前回調査と比べて、大きな変化はない。



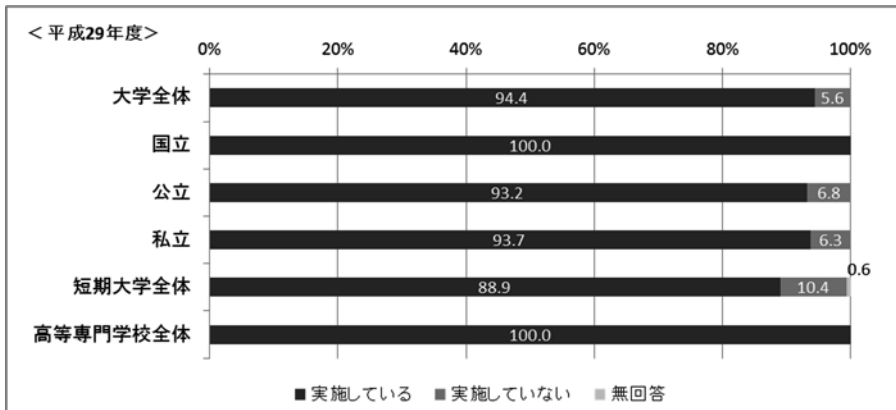
【図 16-②】

		施設・物品の供与及び貸与	施設・設備の整備	経費の補助	リーダー養成セミナーの実施	専属指導者(コーチ等)の招聘・費用負担	オリエンテーション等で公認サークル活動への参加を推奨	公認サークル活動を通じて地域に貢献	事故防止のためのガイダンス、説明会、研修会の実施	事故に対応する保険の加入指導	危機管理ガイドラインの制定	体育系サークルの試合結果などを学内広報、応援参加を推奨	文化系サークルの発表活動などを支援	その他
平成29年度	大学全体	96.4	83.8	67.5	35.5	37.8	66.4	69.6	40.5	56.6	16.6	59.3	58.2	3.2
	国立	100.0	95.2	56.0	75.0	13.1	52.4	63.1	58.3	76.2	22.6	54.8	57.1	7.1
	公立	95.2	77.1	27.7	10.8	8.4	37.3	56.6	25.3	48.2	6.0	30.1	32.5	2.4
	私立	96.1	83.1	75.1	33.2	45.8	72.8	72.5	40.1	54.9	17.2	64.3	62.2	2.7
	短期大学全体	93.1	66.8	70.4	24.7	34.5	66.4	59.5	21.7	40.5	8.9	49.7	56.6	1.6
高等専門学校全体	100.0	94.5	52.7	49.1	78.2	61.8	58.2	49.1	49.1	40.0	83.6	81.8	1.8	
＜参考＞														
平成27年度	大学全体	96.5	85.2	68.5	36.2	38.6	65.7	70.9	40.8	55.7	16.9	59.9	58.0	3.2
	国立	100.0	98.8	54.2	68.7	13.3	55.4	65.1	61.4	75.9	27.7	56.6	57.8	7.2
	公立	94.8	77.9	31.2	7.8	6.5	40.3	55.8	29.9	45.5	3.9	31.2	33.8	1.3
	私立	96.2	84.2	76.0	35.3	47.0	70.9	74.0	39.2	54.1	17.1	64.5	61.4	2.9
	短期大学全体	93.5	62.8	67.6	23.3	35.3	67.3	59.9	22.3	40.8	10.0	47.9	56.3	0.6
高等専門学校全体	100.0	90.9	47.3	54.5	70.9	56.4	52.7	49.1	40.0	38.2	83.6	78.2	0.0	

【表 16-②】

17-① 学生表彰の実施状況

学生表彰の実施状況については、各学校種ともに「実施している」の割合が高くなっており、前回調査と比べていずれも増加している。高等専門学校全体及び国立大学においては、「実施している」が100%となっている。



【図 17-①】

(単位: %)

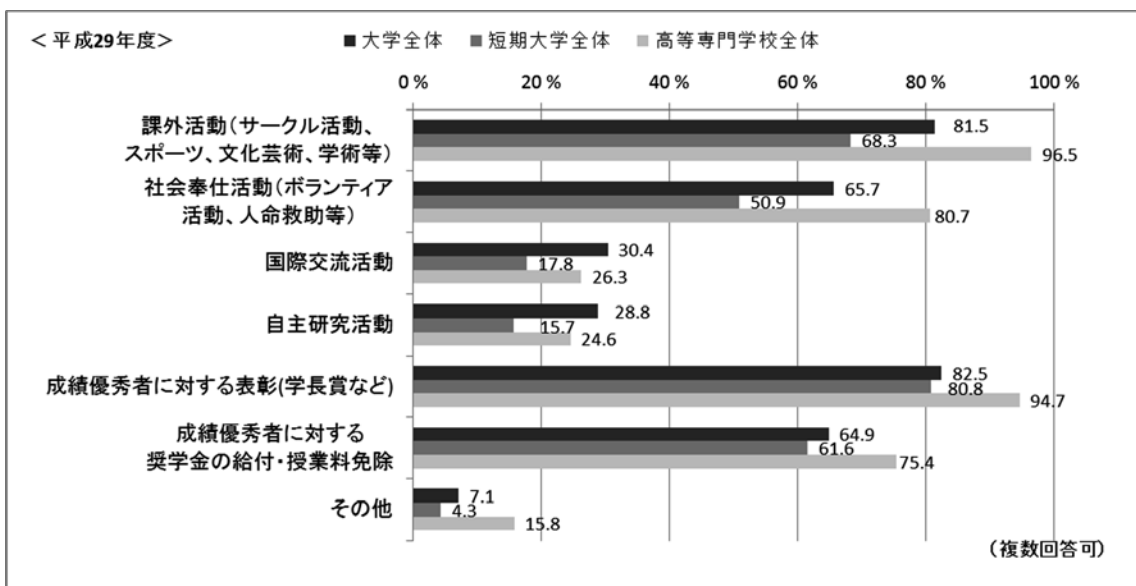
年度	学校種別	実施している (%)	実施していない (%)	無回答 (%)
平成29年度	大学 全体	94.4	5.6	0.0
	国立	100.0	0.0	0.0
	公立	93.2	6.8	0.0
	私立	93.7	6.3	0.0
	短期大学 全体	88.9	10.4	0.6
	高等専門学校 全体	100.0	0.0	0.0
<参考>				
平成27年度	大学 全体	89.9	9.5	0.5
	国立	98.8	1.2	0.0
	公立	84.3	15.7	0.0
	私立	89.4	9.9	0.7
	短期大学 全体	84.8	14.6	0.6
	高等専門学校 全体	98.2	1.8	0.0

【表 17-①】

17-② 学生表彰の対象となる活動

※17-①で「実施している」と回答した学校が対象

学生表彰の対象となる活動については、各学校種ともに「成績優秀者に対する表彰(学長賞など)」「課外活動(サークル活動、スポーツ、文化芸術、学術等)」「社会奉仕活動(ボランティア活動、人命救助等)」「成績優秀者に対する奨学金の給付・授業料免除」が高い割合になっている。前回調査と比べると、短期大学全体及び高等専門学校全体において、「成績優秀者に対する表彰(学長賞など)」「成績優秀者に対する奨学金の給付・授業料免除」が5~6ポイント増加している。



【図 17-②】

(単位:%)

		課外活動 (サークル 活動、ス ポーツ、文 化芸術、学 術等)	社会奉仕 活動(ボラ ンティア活 動、人命救 助等)	国際交流 活動	自主研究 活動	成績優秀 者に対する 表彰(学長 賞など)	成績優秀 者に対する 奨学金の 給付・授業 料免除	その他	
平成 29 年度	大学 全体	81.5	65.7	30.4	28.8	82.5	64.9	7.1	
		国立	93.0	83.7	45.3	50.0	81.4	50.0	19.8
		公立	75.6	68.3	36.6	32.9	90.2	36.6	3.7
		私立	80.6	62.5	27.2	24.8	81.5	71.4	5.6
	短期大学 全体	68.3	50.9	17.8	15.7	80.8	61.6	4.3	
	高等専門学校 全体	96.5	80.7	26.3	24.6	94.7	75.4	15.8	

<参考>

平成 27 年度	大学 全体	81.3	64.9	29.4		80.8	66.2	7.1	
		国立	95.2	89.3	40.5		79.8	56.0	17.9
		公立	74.3	67.1	34.3		88.6	32.9	5.7
		私立	80.0	60.7	26.9		80.0	72.3	5.5
	短期大学 全体	69.2	49.5	19.4		74.7	56.4	5.1	
	高等専門学校 全体	100.0	74.1	22.2		88.9	70.4	14.8	

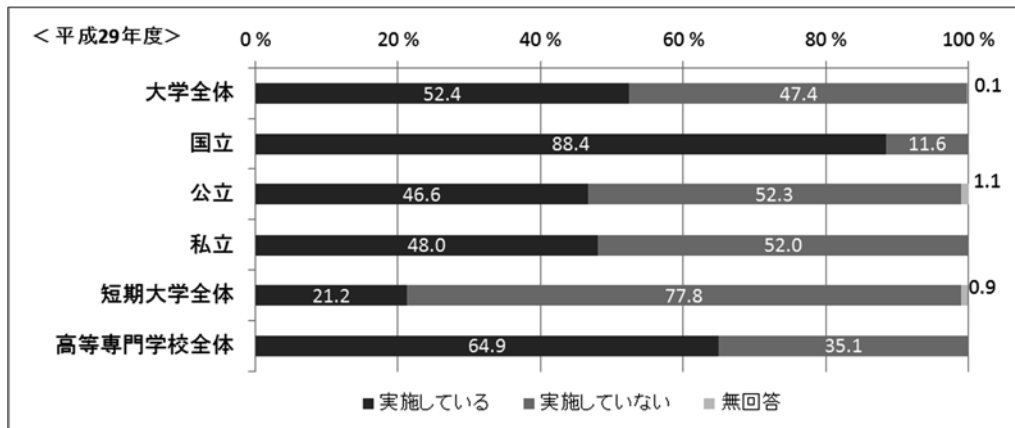
【表 17-②】

18-① ピア・サポート(※)等、学生同士で支援する制度の実施

※ピア・サポート:学生生活上で支援(援助)を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で気軽に相談に応じ、手助けを行う制度

ピア・サポート等、学生同士で支援する制度について、「実施している」と回答した割合は、高等専門学校全体(64.9%)が最も高く、次に大学全体(52.4%)、短期大学全体(21.2%)の順となっている。前回調査と比べて、短期大学全体で微減(1.5ポイント減少)となっているものの、他学校種では全て増加しており、特に高等専門学校全体では6.7ポイント増加している。

大学全体を設置者別で見ると、国立大学において「実施している」(88.4%)が高い割合になっており、前回調査と比べて4.9ポイント増加している。また公立大学においても、「実施している」(46.6%)と回答した割合が、前回調査と比べて11.7ポイント増加している。



【図 18-①】

(単位:%)

		実施している	実施していない	無回答	
平成 29 年度	大学 全体	52.4	47.4	0.1	
		国立	88.4	11.6	0.0
		公立	46.6	52.3	1.1
		私立	48.0	52.0	0.0
	短期大学 全体	21.2	77.8	0.9	
	高等専門学校 全体	64.9	35.1	0.0	

<参考>

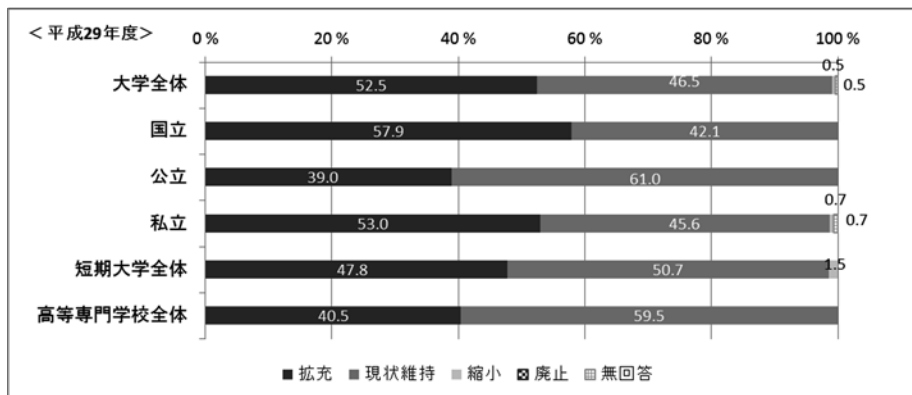
平成 27 年度	大学 全体	49.3	49.6	1.1	
		国立	83.5	14.1	2.4
		公立	34.9	65.1	0.0
		私立	46.4	52.6	1.0
	短期大学 全体	22.7	76.1	1.2	
	高等専門学校 全体	58.2	40.0	1.8	

【表 18-①】

18-② ピア・サポートの今後の取組

※18-①で「実施している」と回答した学校が対象

ピア・サポートの今後の取組については、大学全体と短期大学全体では、「拡充」と「現状維持」がそれぞれ5割程度であったが、高等専門学校全体では「現状維持」が高く、6割になっている。前回調査と比べて、各学校種ともに「現状維持」が増加しており、大学全体で9.1ポイント、短期大学全体で11.0ポイント増加している。



【図 18-②】

(単位:%)

学校種別	拡充	現状維持	縮小	廃止	無回答
平成29年度 大学全体	52.5	46.5	0.5	0.0	0.5
国立	57.9	42.1	0.0	0.0	0.0
公立	39.0	61.0	0.0	0.0	0.0
私立	53.0	45.6	0.7	0.0	0.7
短期大学全体	47.8	50.7	1.5	0.0	0.0
高等専門学校全体	40.5	59.5	0.0	0.0	0.0

<参考>

学校種別	拡充	現状維持	縮小	廃止	無回答
平成27年度 大学全体	61.6	37.4	0.0	0.0	1.1
国立	63.4	36.6	0.0	0.0	0.0
公立	51.7	44.8	0.0	0.0	3.4
私立	62.1	36.8	0.0	0.0	1.1
短期大学全体	57.5	39.7	1.4	0.0	1.4
高等専門学校全体	43.8	56.3	0.0	0.0	0.0

【表 18-②】

18-③ ピア・サポートの具体的な活動（プログラム）

※18-①で「実施している」と回答した学校が対象

ピア・サポートの具体的な活動（プログラム）の平均数は、大学全体で2.6、短期大学全体で1.7、高等専門学校全体で2.2となっており、前回調査と比べて大きな変化はない。報酬については、前回調査と比べて各学校種ともに「有給」の割合が増加しており、特に大学全体で6.7ポイント増加している。支援領域では、前回調査と比べて大きな変化はないが、各学校種ともに「学習サポート」の割合が最も高く、また「障害のある学生の支援」と「留学生支援」が若干増加している。

<プログラムの平均数> ※実施校1校あたり

(単位:件)

学校種別	平均数	
	平成29年度	<参考>平成27年度
大学全体	2.6	2.6
国立	3.6	3.1
公立	2.3	2.1
私立	2.4	2.5
短期大学全体	1.7	1.5
高等専門学校全体	2.2	2.2

【表 18-③-1】

<報酬> ※プログラム単位で算出(無回答は無給を含む)

(単位:%)

学校種別	平成29年度		平成27年度	
	無給	有給	無給	有給
大学全体	40.5	59.5	47.2	52.8
国立	29.2	70.8	35.2	64.8
公立	45.1	54.9	55.0	45.0
私立	44.3	55.7	50.4	49.6
短期大学全体	57.5	42.5	61.2	38.8
高等専門学校全体	19.3	80.7	21.4	78.6

【表 18-③-2】

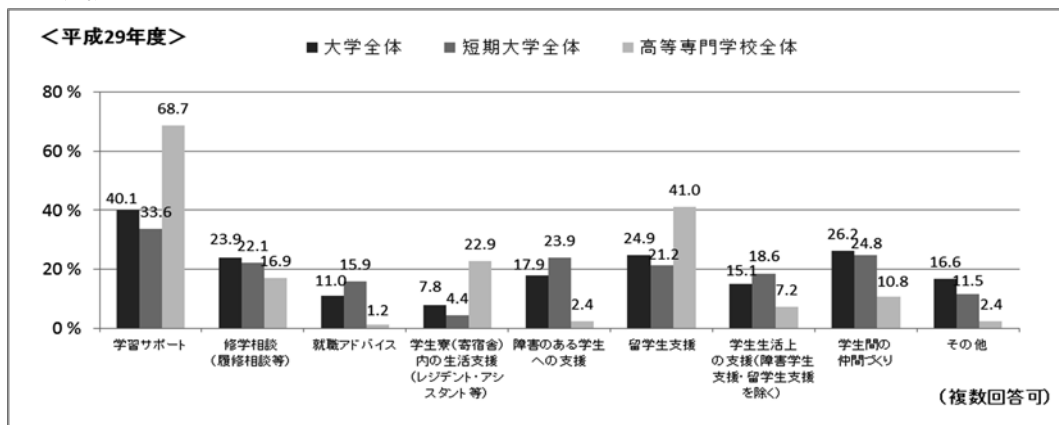
<報酬額(1時間あたり)> ※プログラム単位で算出

(単位:円)

学校種別	平成29年度
大学全体	970
国立	980
公立	869
私立	976
短期大学全体	1,020
高等専門学校全体	843

※有給に限定して集計 【表 18-③-3】

＜支援領域＞※プログラム単位で算出



【図 18-③-4】

		学習サポート	修学相談(履修相談等)	就職アドバイス	学生寮(寄宿舎)内の生活支援(レジデント・アシスタント等)	障害のある学生への支援	留学生支援 〔外国人留学生への支援、日本人学生の海外留学への支援〕	学生生活上の支援(障害学生支援・留学生支援を除く)	学生間の仲間づくり	その他
平成29年度	大学 全体	40.1	23.9	11.0	7.8	17.9	24.9	15.1	26.2	16.6
	国立	39.5	28.0	9.6	11.8	15.1	30.6	14.4	20.3	15.9
	公立	34.1	30.8	5.5	8.8	13.2	29.7	12.1	31.9	11.0
	私立	41.1	21.4	12.4	6.1	19.6	21.9	15.8	27.8	17.6
	短期大学 全体	33.6	22.1	15.9	4.4	23.9	21.2	18.6	24.8	11.5
	高等専門学校 全体	68.7	16.9	1.2	22.9	2.4	41.0	7.2	10.8	2.4

(単位:%)

＜参考＞

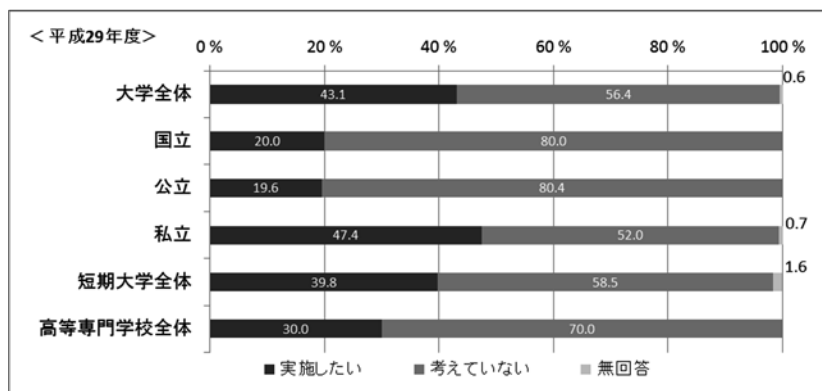
		学習サポート	修学相談(履修相談等)	就職アドバイス	学生寮(寄宿舎)内の生活支援(レジデント・アシスタント等)	障害のある学生への支援	留学生支援 〔外国人留学生への支援、日本人学生の海外留学への支援〕	学生生活上の支援(障害学生支援・留学生支援を除く)	学生間の仲間づくり	その他
平成27年度	大学 全体	38.2	25.8	12.7	6.6	16.5	22.5	19.7	28.2	—
	国立	35.6	29.2	13.9	10.6	13.4	28.2	18.1	22.7	—
	公立	31.7	31.7	6.7	5.0	5.0	25.0	16.7	30.0	—
	私立	39.7	24.1	12.8	5.4	18.6	20.4	20.5	29.9	—
	短期大学 全体	37.9	28.2	17.5	3.9	20.4	16.5	22.3	34.0	—
	高等専門学校 全体	67.1	14.3	1.4	30.0	1.4	37.1	10.0	11.4	—

【表 18-③-4】

18-④ ピア・サポート等、学生同士で支援する制度（今後の実施）

※18-①で「実施していない」と回答した学校が対象

ピア・サポートを実施していない学校のうち、今後「実施したい」と回答した割合は、各学校種ともに3～4割となっており、前回調査と比べると、短期大学全体で 8.0 ポイント、大学全体で 2.5 ポイント増加しているものの、高等専門学校全体では 1.8 ポイント減少となっている。



【表 18-④】

(単位:%)

		実施したい	考えていない	無回答
平成29年度	大学 全体	43.1	56.4	0.6
	国立	20.0	80.0	0.0
	公立	19.6	80.4	0.0
	私立	47.4	52.0	0.7
	短期大学 全体	39.8	58.5	1.6
	高等専門学校 全体	30.0	70.0	0.0

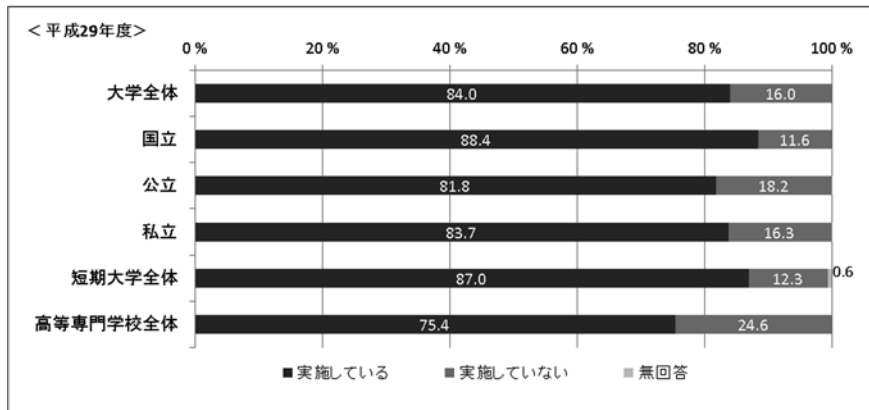
＜参考＞

		実施したい	考えていない	無回答
平成27年度	大学 全体	40.6	50.3	9.1
	国立	58.3	41.7	0.0
	公立	24.1	64.8	11.1
	私立	42.9	48.1	9.1
	短期大学 全体	31.8	62.0	6.1
	高等専門学校 全体	31.8	63.6	4.5

【表 18-④】

19-① 学生のボランティア活動に対する支援の実施状況

学生のボランティア活動に対する支援の実施状況については、各学校種ともに「実施している」が7～8割となっている。前回調査と比べると、各学校種ともに「実施している」の割合が増加しており、特に、高等専門学校全体では9.9ポイント増加している。



【図 19-①】

(単位:%)

年度	学校種	実施している (%)	実施していない (%)	無回答 (%)
平成29年度	大学全体	84.0	16.0	0.0
	国立	88.4	11.6	0.0
	公立	81.8	18.2	0.0
	私立	83.7	16.3	0.0
	短期大学全体	87.0	12.3	0.6
	高等専門学校全体	75.4	24.6	0.0

<参考>

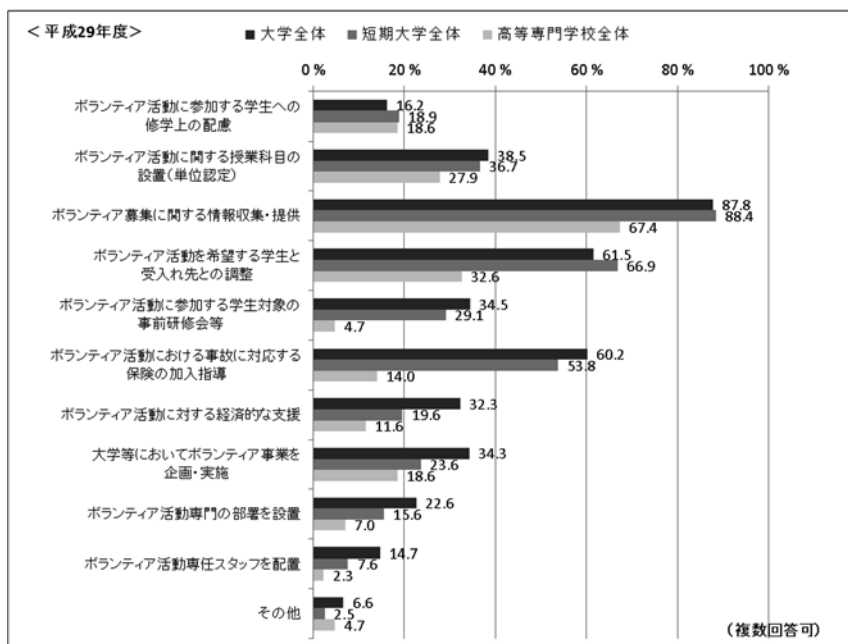
年度	学校種	実施している (%)	実施していない (%)	無回答 (%)
平成27年度	大学全体	80.4	18.3	1.3
	国立	88.2	11.8	0.0
	公立	77.1	19.3	3.6
	私立	79.7	19.1	1.2
	短期大学全体	83.2	15.8	0.9
	高等専門学校全体	65.5	32.7	1.8

【表 19-①】

19-② 学生のボランティア活動に対する具体的な支援内容

※19-①で「実施している」と回答した学校が対象

学生のボランティア活動に対する具体的な支援内容については、各学校種ともに「ボランティア募集に関する情報収集・提供」(大学全体87.8%、短期大学全体88.4%、高等専門学校全体67.4%)が最も高くなっている。前回調査と比べると、全体的には大きな変化はない。



【図 19-②】

(単位:%)

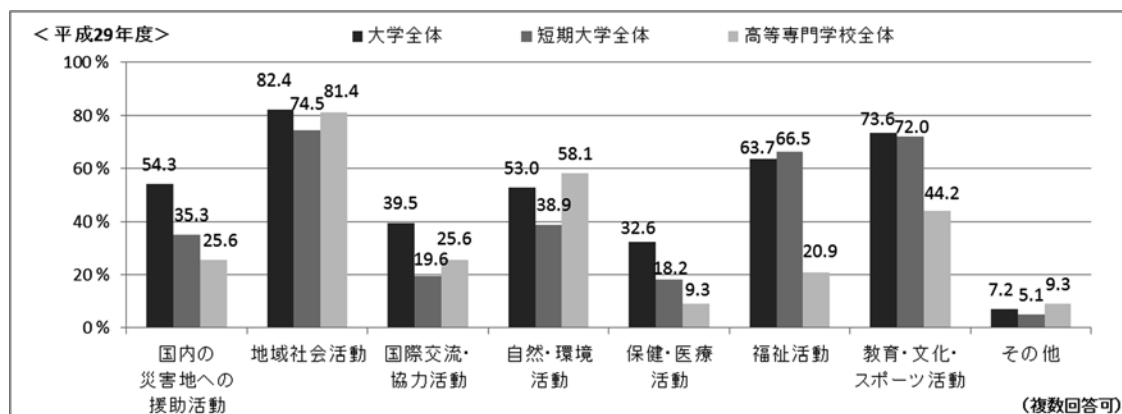
	ボランティア活動に参加する学生への修学上の配慮	ボランティア活動に関する授業科目の設置(単位認定)	ボランティア活動の「単位認定」	ボランティア活動に関する授業科目の設置	ボランティア募集に関する情報収集・提供	ボランティア活動希望する学生と受入れ先との調整	ボランティア活動に参加する学生対象の事前研修会等	ボランティア活動における事故に対する保険の加入指導	ボランティア活動に対する経済的な支援	大学等においてボランティア事業を企画・実施	ボランティア活動専門の部署を設置	ボランティア活動専任スタッフを配置	その他	
平成29年度	大学 全体	16.2	38.5			87.8	61.5	34.5	60.2	32.3	34.3	22.6	14.7	6.6
	国立	18.4	38.2			92.1	48.7	36.8	69.7	34.2	30.3	18.4	18.4	9.2
	公立	2.8	30.6			86.1	47.2	19.4	44.4	25.0	22.2	15.3	9.7	6.9
	私立	17.8	39.8			87.4	65.5	36.3	61.1	33.1	36.7	24.3	14.8	6.1
	短期大学 全体	18.9	36.7			88.4	66.9	29.1	53.8	19.6	23.6	15.6	7.6	2.5
高等専門学校 全体	18.6	27.9			67.4	32.6	4.7	14.0	11.6	18.6	7.0	2.3	4.7	
<参考>														
平成27年度	大学 全体	14.9		30.5	38.9	88.6	60.7	34.0	57.1	31.0	34.5	22.4	13.9	6.6
	国立	18.7		28.0	32.0	93.3	56.0	41.3	69.3	36.0	24.0	26.7	21.3	8.0
	公立	1.6		20.3	25.0	90.6	43.8	18.8	45.3	20.3	21.9	14.1	9.4	4.7
	私立	16.1		32.3	42.0	87.6	63.8	34.9	56.7	31.7	37.9	22.9	13.3	6.6
	短期大学 全体	17.9		29.9	33.2	85.8	66.0	27.6	53.0	19.4	24.6	17.9	9.0	5.2
高等専門学校 全体	11.1		36.1	5.6	75.0	33.3	11.1	11.1	8.3	25.0	5.6	0.0	5.6	

【表 19-②】

19-③ 学生のボランティア活動の具体的な支援の実施分野

※19-①で「実施している」と回答した学校が対象

学生のボランティア活動の具体的な支援の実施分野については、各学校種ともに「地域社会活動」と回答した割合が最も高くなっている。前回調査と比べると、全体的な大きな変化はないものの、高等専門学校全体で「国内の災害地への援助活動」が8.9ポイント、「国際交流・協力活動」が11.7ポイント増加している。大学全体を設置者別でみると、国立大学で「国内の災害地への援助活動」「保健・医療活動」、公立大学で「国際交流・協力活動」が、それぞれ10ポイント程度増加している。



【図 19-③】

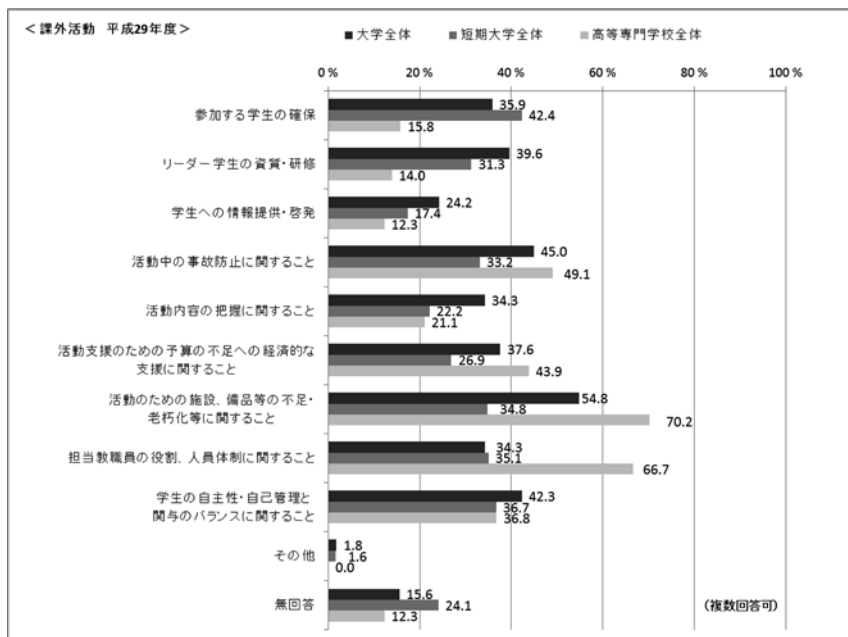
(単位:%)

	国内の災害地への援助活動 (災害地への物資援助などの救助活動、募金活動等)	地域社会活動 (自治体の手伝い、消防・防災・交通安全などの活動、村・町おこし)	国際交流・協力活動 (外国人留学生や外国人の相談相手、通訳、ホームステイなど)	自然・環境活動 (生物・植物の保護、掃除などの環境整備、リサイクル活動など)	保健・医療活動 (病気の人の手助け、健康を守る活動など)	福祉活動 (お年寄りや障害のある人などを助ける活動など)	教育・文化・スポーツ活動 (子どもの学習の面倒を見る、生涯学習活動、伝統文化の継承、博物館美術館などで作品説明、史跡など観光施設の説明、スポーツ教室)	その他	
平成29年度	大学 全体	54.3	82.4	39.5	53.0	32.6	63.7	73.6	7.2
	国立	73.7	73.7	47.4	52.6	36.8	60.5	73.7	9.2
	公立	47.2	81.9	48.6	62.5	48.6	69.4	72.2	8.3
	私立	52.3	83.8	36.9	51.7	29.6	63.3	73.8	6.7
	短期大学 全体	35.3	74.5	19.6	38.9	18.2	66.5	72.0	5.1
高等専門学校 全体	25.6	81.4	25.6	58.1	9.3	20.9	44.2	9.3	
<参考>									
平成27年度	大学 全体	55.0	81.2	35.3	54.5	28.5	64.7	70.0	6.3
	国立	60.0	73.3	44.0	57.3	26.7	53.3	69.3	12.0
	公立	43.8	84.4	39.1	59.4	48.4	71.9	70.3	7.8
	私立	55.7	82.0	33.4	53.3	26.1	65.5	70.0	5.1
	短期大学 全体	37.3	77.2	20.5	43.7	22.8	63.1	68.7	4.5
高等専門学校 全体	16.7	77.8	13.9	61.1	5.6	36.1	47.2	8.3	

【表 19-③】

20 課外活動／ピア・サポート／ボランティア活動に関する課題

課外活動に関する課題については、大学全体及び高等専門学校全体では「活動のための施設、備品等の不足・老朽化等に関すること」、短期大学全体では「参加する学生の確保」の割合が最も高くなっている。その他、高等専門学校全体では「担当教職員の役割、人員体制に関すること」(66.7%)も高い割合になっている。

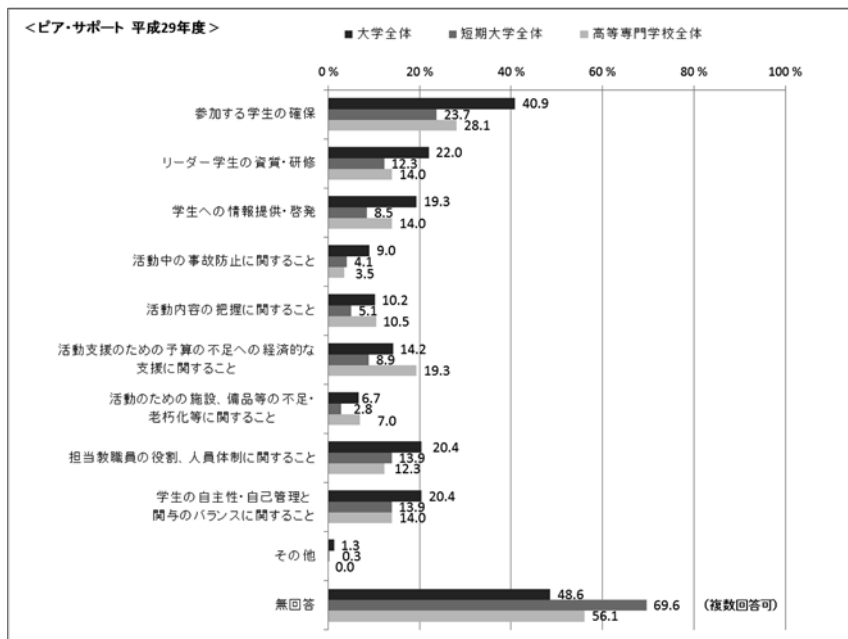


【図 20-1】

年度	学校種別	参加する学生の確保	リーダー学生の資質・研修	学生への情報提供・啓発	活動中の事故防止に関すること	活動内容の把握に関すること	活動支援のための予算の不足への経済的な支援に関すること	活動のための施設、備品等の不足・老朽化等に関すること	担当教職員の役割、人員体制に関すること	学生の自主性・自己管理と関与のバランスに関すること	その他	無回答
平成29年度	大学全体	35.9	39.6	24.2	45.0	34.3	37.6	54.8	34.3	42.3	1.8	15.6
	国立	12.8	38.4	26.7	58.1	36.0	59.3	84.9	38.4	36.0	4.7	9.3
	公立	10.2	19.3	10.2	37.5	29.5	20.5	36.4	30.7	30.7	1.1	23.9
	私立	43.1	42.8	26.0	44.1	34.8	37.0	53.1	34.3	45.0	1.5	15.3
	短期大学全体	42.4	31.3	17.4	33.2	22.2	26.9	34.8	35.1	36.7	1.6	24.1
	高等専門学校全体	15.8	14.0	12.3	49.1	21.1	43.9	70.2	66.7	36.8	0.0	12.3

【表 20-1】

ピア・サポートに関する課題については、各学校種ともに「参加する学生の確保」(大学全体 40.9%、短期大学全体 23.7%、高等専門学校全体 28.1%)の割合が最も高くなっている。大学全体を設置者別でみると、国立大学において「参加する学生の確保」(61.6%)が、他の設置者に比べて高い割合になっている。



【図 20-2】

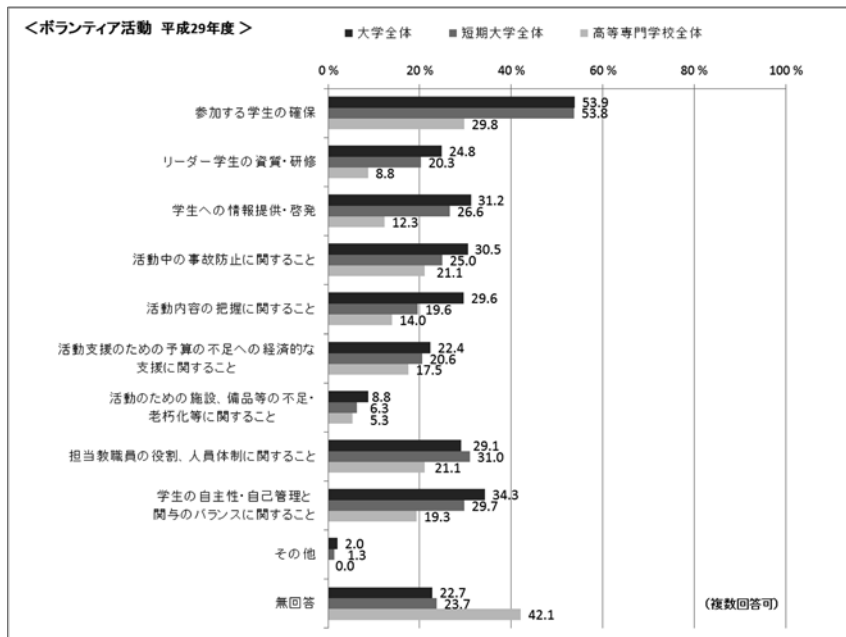
<ピア・サポート>

(単位:%)

		参加する学生 の確保	リーダー学 生の資質・ 研修	学生への 情報提供・ 啓発	活動中の 事故防止に 関すること	活動内容 の把握に関 すること	活動支援 のための予 算の不足 への経済 的な支援に 関すること	活動のため の施設、備 品等の不 足・老朽化 等に関する こと	担当教職 員の役割、 人員体制に 関すること	学生の自 主性・自己 管理と関与 のバランス に関するこ と	その他	無回答	
平成 29 年度	大学 全体	40.9	22.0	19.3	9.0	10.2	14.2	6.7	20.4	20.4	1.3	48.6	
		国立	61.6	33.7	29.1	14.0	17.4	34.9	14.0	32.6	19.8	2.3	24.4
		公立	28.4	10.2	14.8	10.2	6.8	6.8	4.5	15.9	17.0	0.0	60.2
		私立	39.7	22.1	18.5	8.1	9.7	12.2	5.9	19.4	21.1	1.4	50.4
	短期大学 全体	23.7	12.3	8.5	4.1	5.1	8.9	2.8	13.9	13.9	0.3	69.6	
高等専門学校 全体	28.1	14.0	14.0	3.5	10.5	19.3	7.0	12.3	14.0	0.0	56.1		

【表 20-2】

ボランティア活動に関する課題については、各学校種ともに「参加する学生の確保」(大学全体 53.9%、短期大学全体 53.8%、高等専門学校全体 29.8%)の割合が最も高くなっている。大学全体を設置者別でみると、私立大学において「参加する学生の確保」(57.4%)が、他の設置者に比べて高い割合になっている。



【図 20-3】

<ボランティア活動>

(単位:%)

		参加する学生 の確保	リーダー学 生の資質・ 研修	学生への 情報提供・ 啓発	活動中の 事故防止に 関すること	活動内容 の把握に関 すること	活動支援 のための予 算の不足 への経済 的な支援に 関すること	活動のため の施設、備 品等の不 足・老朽化 等に関する こと	担当教職 員の役割、 人員体制に 関すること	学生の自 主性・自己 管理と関与 のバランス に関するこ と	その他	無回答	
平成 29 年度	大学 全体	53.9	24.8	31.2	30.5	29.6	22.4	8.8	29.1	34.3	2.0	22.7	
		国立	43.0	17.4	24.4	36.0	36.0	25.6	8.1	23.3	23.3	3.5	25.6
		公立	40.9	10.2	30.7	27.3	23.9	20.5	5.7	31.8	30.7	1.1	25.0
		私立	57.4	28.0	32.3	30.2	29.5	22.2	9.3	29.5	36.5	1.9	21.9
	短期大学 全体	53.8	20.3	26.6	25.0	19.6	20.6	6.3	31.0	29.7	1.3	23.7	
高等専門学校 全体	29.8	8.8	12.3	21.1	14.0	17.5	5.3	21.1	19.3	0.0	42.1		

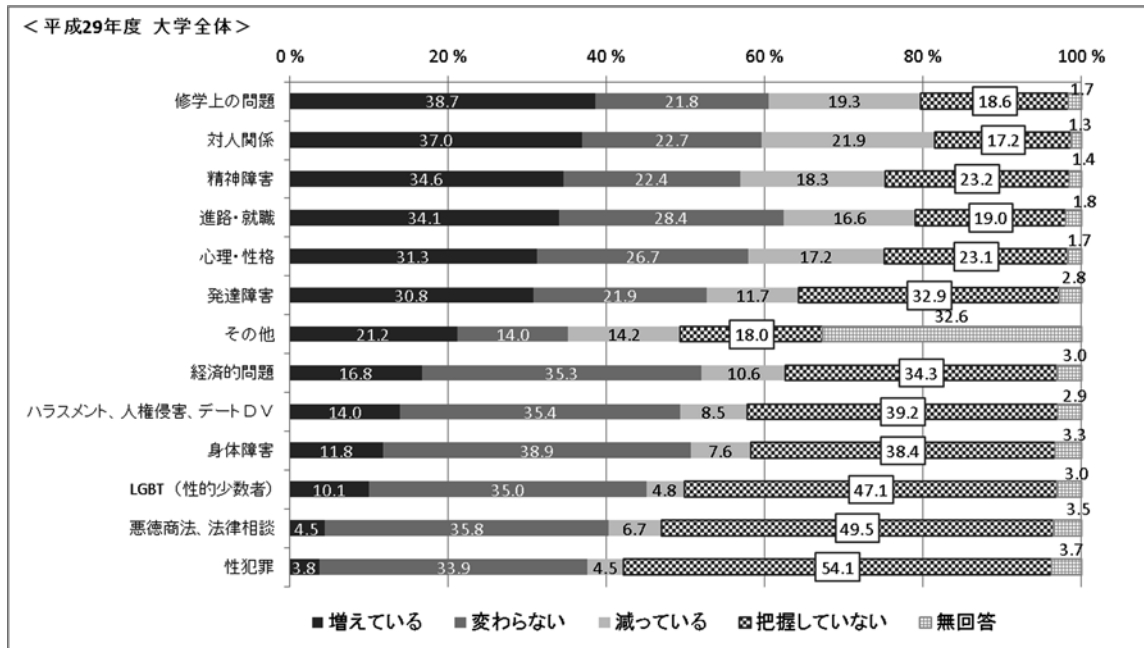
【表 20-3】

VI 学生相談

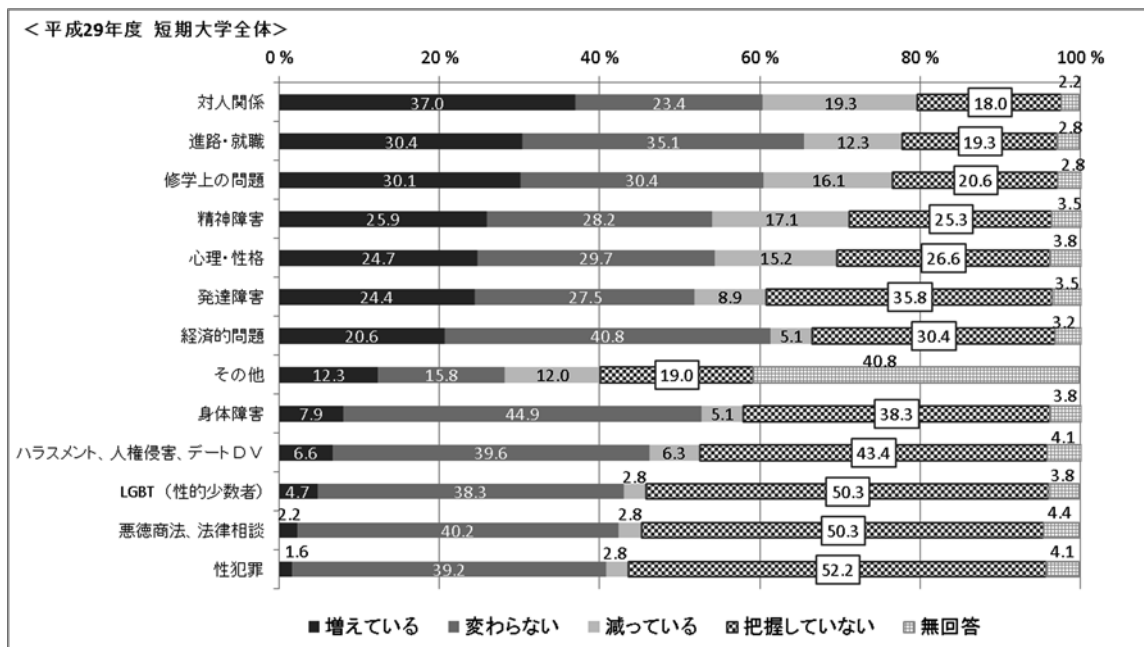
21-① 学生の悩み等について前回調査時（平成27年度）と比較して件数が増えている項目

学生の悩み等について前回調査時（平成27年度）と比較して件数が増えている項目について、最も割合が高いものは、大学全体では「修学上の問題」（38.7%）、短期大学全体では「対人関係」（37.0%）、高等専門学校全体では「修学上の問題」（50.9%）となっている。

なお、今回調査（平成29年度）から設問の形態を変更しているため、平成27年度との単純な比較はできない。

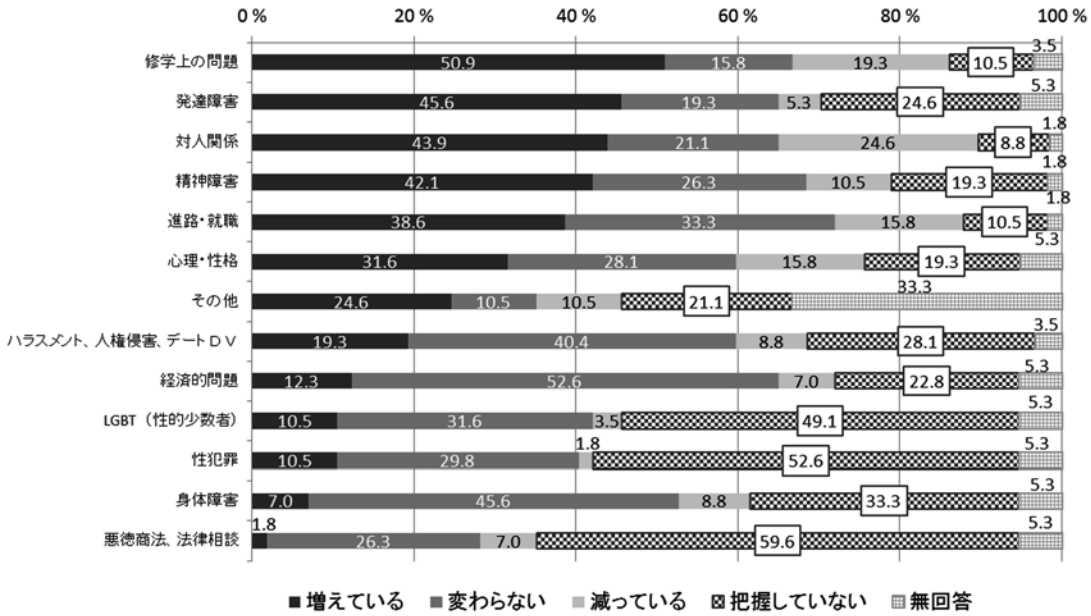


【図21-①-1】



【図21-①-2】

<平成29年度 高等専門学校全体>



【図21-①-3】

<単位:%>

		平成29年度				
		増えている	変わらない	減っている	把握していない	無回答
対人関係 (家族、友人、知人、異性関係)	大学 全体	37.0	22.7	21.9	17.2	1.3
	国立	43.0	22.1	20.9	12.8	1.2
	公立	30.7	18.2	23.9	26.1	1.1
	私立	37.0	23.4	21.7	16.5	1.4
	短期大学 全体	37.0	23.4	19.3	18.0	2.2
精神障害 (気分障害、不安障害、統合失調症等)	高等専門学校 全体	43.9	21.1	24.6	8.8	1.8
	大学 全体	34.6	22.4	18.3	23.2	1.4
	国立	39.5	24.4	16.3	18.6	1.2
	公立	31.8	17.0	19.3	29.5	2.3
	私立	34.3	22.9	18.5	22.9	1.4
心理・性格 (アイデンティティ、セルフコントロール等)	短期大学 全体	25.9	28.2	17.1	25.3	3.5
	高等専門学校 全体	42.1	26.3	10.5	19.3	1.8
	大学 全体	31.3	26.7	17.2	23.1	1.7
	国立	36.0	22.1	17.4	23.3	1.2
	公立	33.0	20.5	14.8	29.5	2.3
発達障害 (アスペルガー障害、ADHD(注意欠陥多動性障害)、LD(学習障害)等)	私立	30.4	28.4	17.5	22.1	1.7
	短期大学 全体	24.7	29.7	15.2	26.6	3.8
	高等専門学校 全体	31.6	28.1	15.8	19.3	5.3
	大学 全体	30.8	21.9	11.7	32.9	2.8
	国立	43.0	19.8	11.6	23.3	2.3
LGBT (性的少数者)	公立	31.8	17.0	5.7	39.8	5.7
	私立	28.9	22.9	12.6	33.3	2.4
	短期大学 全体	24.4	27.5	8.9	35.8	3.5
	高等専門学校 全体	45.6	19.3	5.3	24.6	5.3
	大学 全体	10.1	35.0	4.8	47.1	3.0
身体障害	国立	15.1	33.7	5.8	43.0	2.3
	公立	11.4	26.1	6.8	51.1	4.5
	私立	9.2	36.5	4.4	47.0	2.9
	短期大学 全体	4.7	38.3	2.8	50.3	3.8
	高等専門学校 全体	10.5	31.6	3.5	49.1	5.3
修学上の問題	大学 全体	11.8	38.9	7.6	38.4	3.3
	国立	22.1	33.7	7.0	34.9	2.3
	公立	13.6	29.5	8.0	43.2	5.7
	私立	10.0	41.1	7.6	38.2	3.1
	短期大学 全体	7.9	44.9	5.1	38.3	3.8
経済的問題	高等専門学校 全体	7.0	45.6	8.8	33.3	5.3
	大学 全体	38.7	21.8	19.3	18.6	1.7
	国立	48.8	16.3	14.0	18.6	2.3
	公立	36.4	15.9	17.0	28.4	2.3
	私立	37.5	23.4	20.4	17.1	1.5
修学上の問題	短期大学 全体	30.1	30.4	16.1	20.6	2.8
	高等専門学校 全体	50.9	15.8	19.3	10.5	3.5
	大学 全体	16.8	35.3	10.6	34.3	3.0
	国立	20.9	34.9	10.5	32.6	1.2
	公立	8.0	30.7	17.0	40.9	3.4
経済的問題	私立	17.5	36.0	9.7	33.6	3.2
	短期大学 全体	20.6	40.8	5.1	30.4	3.2
	高等専門学校 全体	12.3	52.6	7.0	22.8	5.3

		平成29年度					
		増えている	変わらない	減っている	把握していない	無回答	
進路・就職	大学 全体	34.1	28.4	16.6	19.0	1.8	
		国立	39.5	20.9	18.6	18.6	2.3
		公立	33.0	29.5	10.2	25.0	2.3
		私立	33.4	29.4	17.3	18.2	1.7
		短期大学 全体	30.4	35.1	12.3	19.3	2.8
ハラスメント、人権侵害、デートDV (※)	大学 全体	14.0	35.4	8.5	39.2	2.9	
		国立	19.8	27.9	14.0	36.0	2.3
		公立	11.4	23.9	8.0	52.3	4.5
		私立	13.6	38.2	7.8	37.7	2.7
		短期大学 全体	6.6	39.6	6.3	43.4	4.1
性犯罪	大学 全体	19.3	40.4	8.8	28.1	3.5	
		国立	3.8	33.9	4.5	54.1	3.7
		公立	10.5	27.9	7.0	52.3	2.3
		私立	4.5	28.4	3.4	59.1	4.5
		短期大学 全体	2.7	35.7	4.2	53.7	3.7
悪徳商法、法律相談	大学 全体	1.6	39.2	2.8	52.2	4.1	
		国立	10.5	29.8	1.8	52.6	5.3
		公立	4.5	35.8	6.7	49.5	3.5
		私立	4.7	33.7	11.6	47.7	2.3
		短期大学 全体	2.3	28.4	3.4	61.4	4.5
その他	大学 全体	4.8	37.2	6.5	48.0	3.6	
		国立	2.2	40.2	2.8	50.3	4.4
		公立	1.8	26.3	7.0	59.6	5.3
		私立	21.2	14.0	14.2	18.0	32.6
		短期大学 全体	31.4	7.0	18.6	20.9	22.1
その他	大学 全体	21.6	13.6	18.2	10.2	36.4	
		国立	19.7	15.1	12.9	18.7	33.6
		公立	12.3	15.8	12.0	19.0	40.8
		私立	24.6	10.5	10.5	21.1	33.3
		短期大学 全体					
	短期大学 全体						
	短期大学 全体						
	短期大学 全体						
	短期大学 全体						

※ 平成27年度：ハラスメント、人権侵害

【表 21-①】

21-② 過去2年の学生相談件数

過去2年(平成 27・28 年度)の学生相談件数(合計)について、学校あたりの平均件数を算出したところ、各学校種ともに、平成 27 年度に比べて平成 28 年度は増加している。

学校種ごとに、平成 27 年度の平均件数を基準(1.00)として平成 28 年度の比率を算出したところ、大学全体が最も多く 1.07、次に高等専門学校全体で 1.03、短期大学全体で 1.02 となっている。また、大学全体を設置者別でみると、公立大学が最も多く 1.16、次に国立大学 1.11、私立大学 1.04 の順となっている。

		年度	平均件数/校	比率	合計件数(※)	回答校数
大学 全体		平成27年度	934	1.00	563,000	603
		平成28年度	998	1.07	616,000	617
	国立	平成27年度	2,090	1.00	163,000	78
		平成28年度	2,325	1.11	186,000	80
	公立	平成27年度	708	1.00	46,000	65
		平成28年度	824	1.16	56,000	68
	私立	平成27年度	767	1.00	353,000	460
		平成28年度	797	1.04	374,000	469
短期大学 全体		平成27年度	191	1.00	41,000	215
		平成28年度	194	1.02	43,000	222
高等専門学校 全体		平成27年度	565	1.00	26,000	46
		平成28年度	583	1.03	28,000	48

※合計件数は、1,000件単位に四捨五入。

合計件数には、実件数と延件数が含まれている場合がある。

【表 21-②】

21-③ LGBT（性的少数者）について、学生からの相談への対応例

「LGBT(性的少数者)」について、学生からの相談へ対応した具体例を依頼したところ、多くの学校から回答をいただいた。ここに主なものを掲載しているが、多くみられたのは、「学生自身が複数の悩みを抱えていたため(友人関係、親子関係、カミングアウトについて、将来への不安等)、カウンセリング等を行った」ことであった。

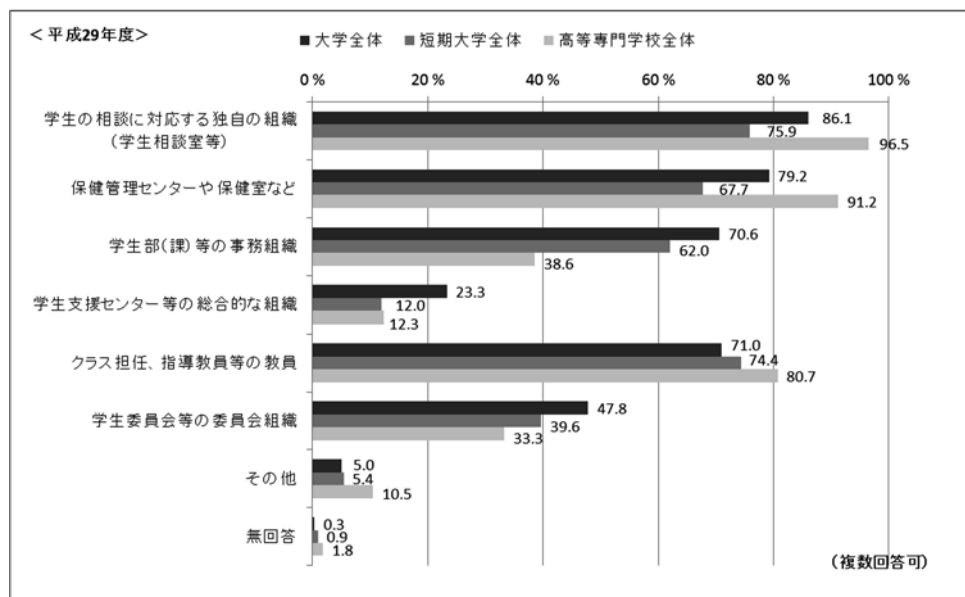
また、対応にあたっては「LGBT(性的少数者)の学生との話し合いにより、本人の希望に沿って行った」旨の記載も多くみられた。

LGBT(性的少数者)の対応例	
全般的な事項	名前を呼ぶ際に、性別を意識する呼び方(「～君」など)にならないよう、「～さん」で統一した
	できる限り、性別を表示しない(求めない)ようにした
	通称名の使用や、自認する性別の使用を許可した(学内規程に基づいて認定)
	旧名の使用を許可した(戸籍の氏名変更があった場合)
	学校で配慮できる可能性があることについて情報を提供した
	(進級後の)学科による研修旅行や合宿等の有無について情報を提供した
	LGBTについての知識・資料等を掲示した
授業	体育(水泳等)の授業について配慮を行った
	更衣室の配慮を行った(保健室等の利用を許可する、パーテーションを設けるなど)
	実習先でのトイレ、更衣室、宿泊場所について配慮を行った
	ゼミ合宿時の部屋割り、入浴等について配慮を行った
	実着等の採寸に際し、別時間を設定した
	本人了解のもと、授業担当教員および関係部署との情報共有を行った
学生生活	多目的用のトイレの増設、自認する性のトイレを利用することを許可した
	健康診断時の内科診察やレントゲン撮影について、性別混合の時間帯や個別対応の時間を設定した
	宿舍の配慮を行った
	就職活動時のリクルートスーツや、履歴書の性別、企業(制服の有無等)についてのアドバイスをを行った
	学内外のLGBTグループ(コミュニティ)を紹介した
	専門機関(医療機関)を紹介した
	学生自身が複数の悩みを抱えていたため(友人関係、親子関係、カミングアウトについて、将来への不安等)、カウンセリング等を行った

【表 21-③】

22-① 学生相談に対応する組織・人

学生相談に対する組織・人については、各学校種ともに「学生の相談に対応する独自の組織(学生相談室等)」「保健管理センターや保健室など」「クラス担任、指導教員等の教員」の割合が高くなっている。前回調査と比べて、大学全体では全項目で割合が増加しているのに対し(「その他」以外)、短期大学全体及び高等専門学校全体では減少している項目が多くなっている。



【図 22-①】

		学生の相談に対応する独自の組織(学生相談室等)	保健管理センターや保健室など	学生部(課)等の事務組織	学生支援センター等の総合的な組織	クラス担任、指導教員等の教員	学生委員会等の委員会組織	その他	無回答	
平成29年度	大学 全体	86.1	79.2	70.6	23.3	71.0	47.8	5.0	0.3	
		国立	81.4	95.3	76.7	41.9	81.4	45.3	12.8	0.0
		公立	72.7	92.0	75.0	12.5	76.1	55.7	5.7	0.0
		私立	88.8	74.9	69.1	22.2	68.8	47.0	3.7	0.3
	短期大学 全体	75.9	67.7	62.0	12.0	74.4	39.6	5.4	0.9	
	高等専門学校 全体	96.5	91.2	38.6	12.3	80.7	33.3	10.5	1.8	
＜参考＞										
平成27年度	大学 全体	82.5	73.7	69.4	22.5	69.8	45.6	5.0	0.3	
		国立	75.3	92.9	71.8	35.3	75.3	44.7	9.4	0.0
		公立	73.5	85.5	74.7	10.8	75.9	44.6	3.6	0.0
		私立	84.8	69.3	68.3	22.4	68.1	45.9	4.6	0.3
	短期大学 全体	77.6	67.1	62.7	14.9	77.0	42.2	4.0	1.6	
	高等専門学校 全体	98.2	87.3	41.8	12.7	81.8	29.1	1.8	0.0	

【表 22-①】

22-② 学生相談に対応する組織の1週間当たりの開室時間

※22-①で「学生の相談に対応する独自の組織(学生相談室等)」または「保健管理センターや保健室など」に該当する学校が対象

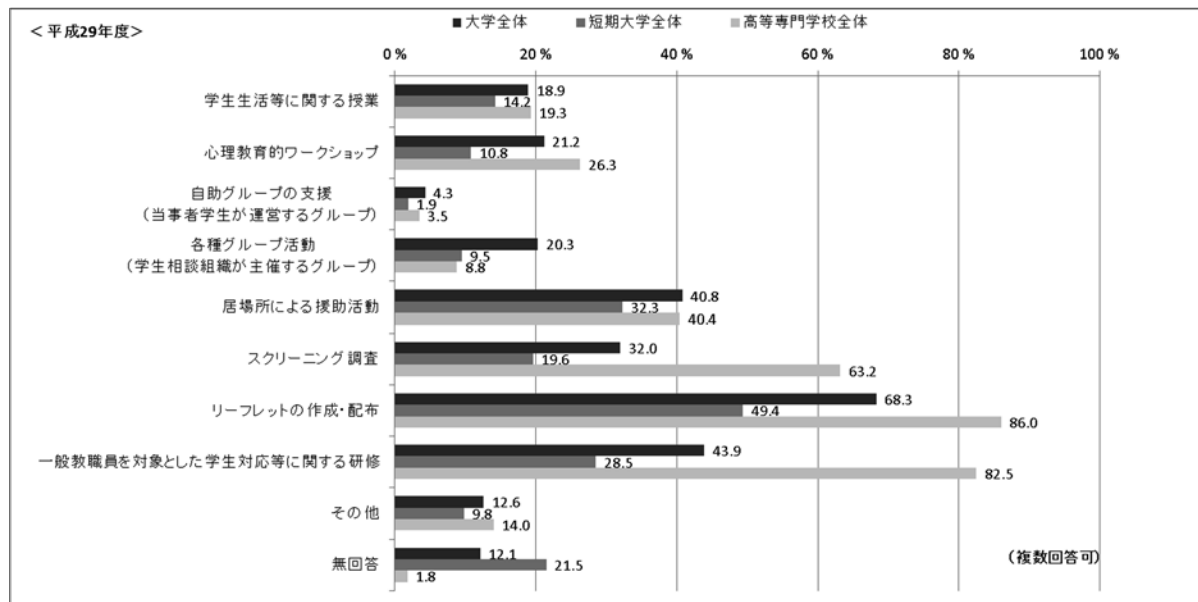
学生相談に対応する組織(「学生の相談に対応する独自の組織(学生相談室等)」または「保健管理センターや保健室など」)の1週間当たりの開室時間については、各学校種ともに、「保健管理センターや保健室など」が、「学生の相談に対応する独自の組織(学生相談室等)」よりも開室時間が長くなっている。前回調査と比べると、大学全体と短期大学全体では大きな変化はなかったが、高等専門学校全体では「学生の相談に対応する独自の組織(学生相談室等)」は2.8時間、「保健管理センターや保健室など」は4.9時間増加している。

		平成29年度		＜参考＞平成27年度	
		学生の相談に対応する独自の組織(学生相談室等)	保健管理センターや保健室など	学生の相談に対応する独自の組織(学生相談室等)	保健管理センターや保健室など
大学 全体		27.9	38.7	27.6	39.2
	国立	33.2	38.4	31.8	39.1
	公立	22.4	37.3	18.3	36.6
	私立	27.9	39.0	28.2	39.6
短期大学 全体		20.6	37.0	19.5	37.6
高等専門学校 全体		17.6	41.0	14.8	36.1

【表 22-②】

2 2 - ③ 学生相談に対応する組織の個別相談以外の活動状況

学生相談に対応する組織の個別相談以外の活動状況については、各学校種ともに「リーフレットの作成・配布」の割合が最も高くなっている。高等専門学校全体では「一般教職員を対象とした学生対応等に関する研修」(82.5%)、「スクリーニング調査」(63.2%)が、大学全体及び短期大学全体に比べ高くなっている。なお、前回調査と比べて、全体的な傾向は変わっていない。



【図 22-③】

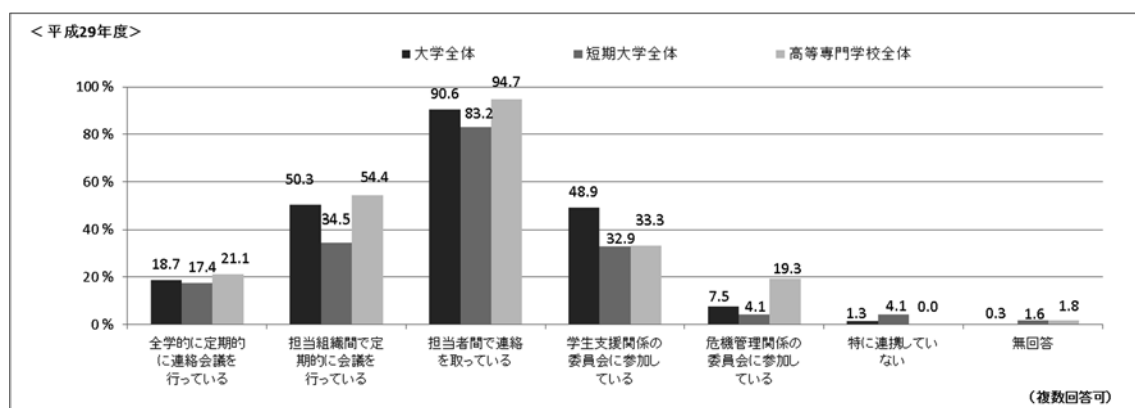
		学生生活等に関する授業	心理教育的ワークショップ	自助グループの支援 (当事者学生が運営するグループ。発達障害、LGBTなど)	各種グループ活動 (学生相談組織が主催するグループ活動)	居場所による援助活動(※)	スクリーニング調査	リーフレットの作成・配布	一般教職員を対象とした学生対応等に関する研修	その他	無回答
平成29年度	大学 全体	18.9	21.2	4.3	20.3	40.8	32.0	68.3	43.9	12.6	12.1
	国立	51.2	32.6	7.0	37.2	43.0	54.7	75.6	73.3	17.4	3.5
	公立	12.5	13.6	3.4	6.8	34.1	39.8	72.7	47.7	8.0	9.1
	私立	15.1	20.7	4.1	19.9	41.4	27.5	66.6	39.0	12.6	13.8
	短期大学 全体	14.2	10.8	1.9	9.5	32.3	19.6	49.4	28.5	9.8	21.5
高等専門学校 全体	19.3	26.3	3.5	8.8	40.4	63.2	86.0	82.5	14.0	1.8	
＜参考＞											
平成27年度	大学 全体	16.3	19.0		19.9	37.8	29.0	63.4	39.1	12.7	14.9
	国立	44.7	22.4		29.4	28.2	54.1	75.3	60.0	12.9	8.2
	公立	8.4	12.0		3.6	25.3	28.9	54.2	32.5	8.4	20.5
	私立	13.3	19.5		20.8	41.0	25.4	63.0	37.0	13.3	15.0
	短期大学 全体	10.2	11.5		9.3	29.8	17.4	44.7	30.7	7.8	26.7
高等専門学校 全体	12.7	25.5		1.8	38.2	72.7	87.3	76.4	12.7	1.8	

※談話室や懇談室等の名称で学内適応や活動の拠点として学生に居場所と交流の機会を提供するものを指します。

【表 22-③】

2 2 - ④ 学生相談に対応する組織と学内の他組織との連携状況

学生相談に対応する組織と学内の他組織との連携状況については、各学校種ともに、「担当者間で連絡を取っている」の割合が最も高くなっている。前回調査と比べると、「担当組織間で定期的に会議を行っている」の割合が増加しており、高等専門学校全体で 12.6 ポイント、大学全体で 6.4 ポイント増加している。



【図 22-④】

(単位:%)

		全学的に定期的 に連絡会議を 行っている	担当組織間で定 期的に会議を 行っている	担当者間で連絡 を取っている	学生支援関係の 委員会に参加し ている	危機管理関係の 委員会に参加し ている	特に連携してい ない	無回答	
平成 29 年度	大学 全体	18.7	50.3	90.6	48.9	7.5	1.3	0.3	
		国立	37.2	62.8	95.3	74.4	23.3	1.2	1.2
		公立	12.5	42.0	88.6	48.9	9.1	3.4	0.0
		私立	17.0	49.7	90.2	45.2	4.9	1.0	0.2
	短期大学 全体	17.4	34.5	83.2	32.9	4.1	4.1	1.6	
高等専門学校 全体	21.1	54.4	94.7	33.3	19.3	0.0	1.8		

<参考>

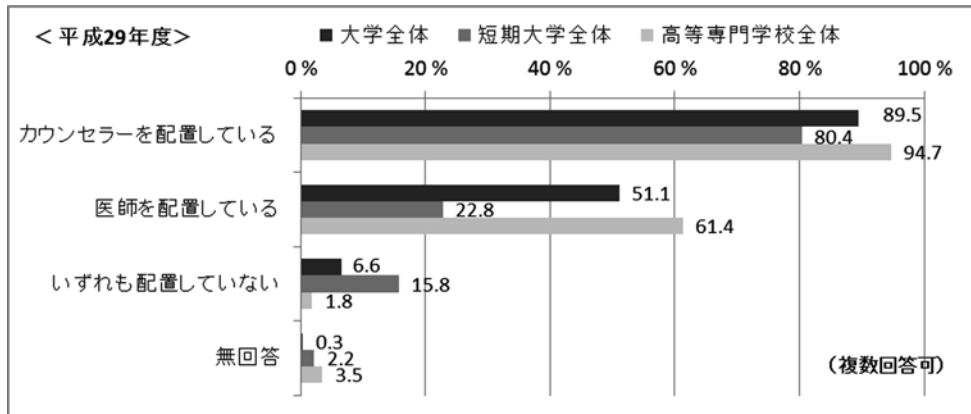
平成 27 年度	大学 全体	16.3	43.9	87.1	45.5	6.0	2.7	1.1	
		国立	32.9	51.8	89.4	67.1	24.7	4.7	0.0
		公立	14.5	39.8	81.9	38.6	2.4	2.4	1.2
		私立	14.2	43.3	87.5	43.3	3.8	2.4	1.2
	短期大学 全体	15.5	33.5	79.8	31.7	3.7	2.8	3.1	
高等専門学校 全体	21.8	41.8	96.4	25.5	20.0	0.0	0.0		

【表 22-④】

22-⑤ カウンセラー（※）及び医師の配置状況

※ここでの「カウンセラー」とは、「臨床心理士」ないしは「大学カウンセラー」（「日本学生相談学会」認定）の資格を持つものとします。

カウンセラーの配置状況については、各学校種ともに「配置している」と回答した割合が8割を超えている。また、医師の配置状況については、学校種によって差が大きくなっている。カウンセラー、医師の配置平均人数（常勤・非常勤別）については、各学校種ともに、それぞれ「非常勤」の人数が多くなっている。



【図 22-⑤】

(単位:%)

		カウンセラーを 配置している	医師を配置して いる	いずれも配置し ていない	無回答	
平成 29 年度	大学 全体	89.5	51.1	6.6	0.3	
		国立	95.3	95.3	0.0	0.0
		公立	88.6	40.9	6.8	1.1
		私立	88.8	46.2	7.5	0.2
	短期大学 全体	80.4	22.8	15.8	2.2	
高等専門学校 全体	94.7	61.4	1.8	3.5		

<参考>

平成 27 年度	大学 全体	81.3	45.4	6.8	9.3	
		国立	88.2	83.5	0.0	9.4
		公立	84.3	39.8	4.8	9.6
		私立	79.9	40.6	8.0	9.2
	短期大学 全体	74.5	23.6	14.6	9.3	
高等専門学校 全体	92.7	56.4	0.0	7.3		

【表 22-⑤-1】

カウンセラー配置平均人数

(単位:人)

		平成29年度	<参考> 平成27年度	
大学 全体	常勤カウンセラー	1.5	1.5	
	非常勤カウンセラー	3.0	3.0	
	国立	常勤カウンセラー	2.3	2.0
		非常勤カウンセラー	3.5	3.5
	公立	常勤カウンセラー	0.8	0.9
		非常勤カウンセラー	1.9	2.0
	私立	常勤カウンセラー	1.4	1.5
		非常勤カウンセラー	3.1	3.1
短期大学 全体	常勤カウンセラー	1.1	1.1	
	非常勤カウンセラー	1.8	1.8	
高等専門学校 全体	常勤カウンセラー	0.3	1.1	
	非常勤カウンセラー	2.3	2.2	

※カウンセラーを配置していると回答した学校を対象

【表 22-⑤-2】

医師配置平均人数

(単位:人)

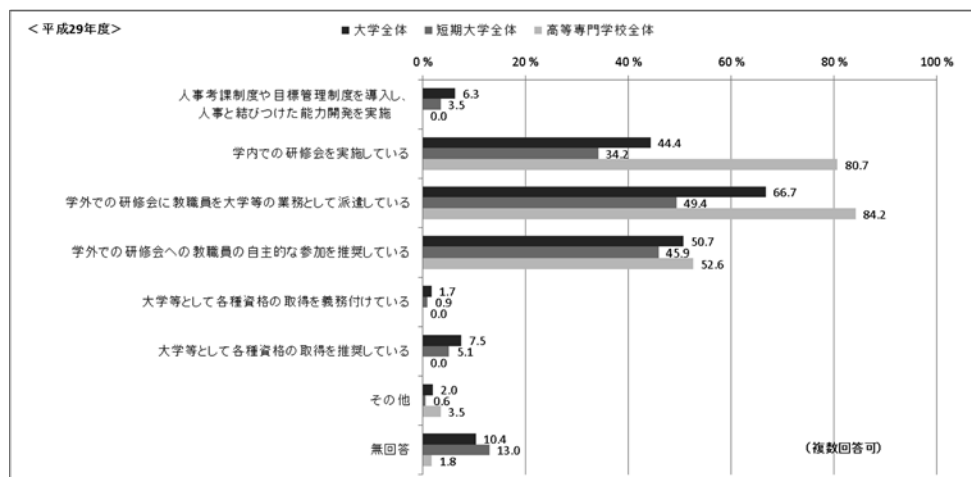
		平成29年度	<参考> 平成27年度	
大学 全体	常勤医師	1.4	1.6	
	非常勤医師	1.8	1.9	
	国立	常勤医師	1.9	2.0
		非常勤医師	2.4	2.2
	公立	常勤医師	0.5	1.1
		非常勤医師	1.7	1.5
	私立	常勤医師	1.3	1.4
		非常勤医師	1.7	1.9
短期大学 全体	常勤医師	0.8	0.8	
	非常勤医師	1.3	1.5	
高等専門学校 全体	常勤医師	0.0	0.2	
	非常勤医師	1.1	1.2	

※医師を配置していると回答した学校を対象

【表 22-⑤-3】

2 3 学生相談にかかわる教職員等の知識・技術の向上のための取組

学生相談にかかわる教職員等の知識・技能の向上のための取組については、各学校種ともに、「学外での研修会に教職員を大学等の業務として派遣している」の割合が最も高くなっている。また、高等専門学校全体では、「学内での研修会を実施している」(80.7%)の割合も高くなっている。



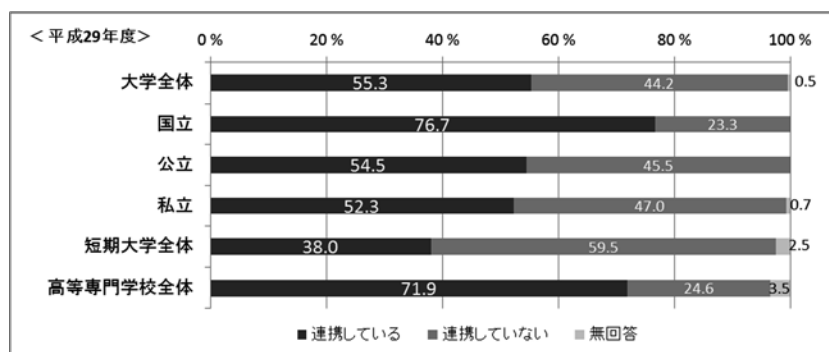
【図 23】

		人事考課制度や目標管理制度を導入し、人事と結びつけた能力開発を実施している	学内での研修会を実施している	学外での研修会に教職員を大学等の業務として派遣している	学外での研修会への教職員の自主的な参加を推奨している	大学等として各種資格の取得を義務付けている	大学等として各種資格の取得を推奨している	その他	無回答
平成29年度	大学全体	6.3	44.4	66.7	50.7	1.7	7.5	2.0	10.4
	国立	4.7	65.1	84.9	61.6	1.2	15.1	5.8	1.2
	公立	6.8	42.0	65.9	42.0	0.0	3.4	4.5	9.1
	私立	6.5	41.8	64.2	50.4	2.0	7.0	1.0	11.9
	短期大学全体	3.5	34.2	49.4	45.9	0.9	5.1	0.6	13.0
	高等専門学校全体	0.0	80.7	84.2	52.6	0.0	0.0	3.5	1.8

【表 23】

2 4 - ① 学生相談に関する学外機関との連携状況

学生相談に関する学外機関との連携状況については、「連携している」と回答した割合が、高等専門学校全体で71.9%、大学全体で55.3%、短期大学全体で38.0%となっており、学校種により差が大きくなっている。前回調査と比べると、各学校種ともに「連携している」と回答した割合が減少している(大学全体8.1ポイント減少、短期大学全体12.6ポイント減少、高等専門学校全体8.1ポイント減少)。



【図 24-①】

		連携している	連携していない	無回答
平成29年度	大学全体	55.3	44.2	0.5
	国立	76.7	23.3	0.0
	公立	54.5	45.5	0.0
	私立	52.3	47.0	0.7
	短期大学全体	38.0	59.5	2.5
	高等専門学校全体	71.9	24.6	3.5

<参考>

		連携している	連携していない	無回答
平成27年度	大学全体	63.4	36.3	0.3
	国立	76.5	23.5	0.0
	公立	54.2	45.8	0.0
	私立	62.8	36.9	0.3
	短期大学全体	50.6	48.1	1.2
	高等専門学校全体	80.0	20.0	0.0

【表 24-①】

24-② 学生相談について連携している学外機関

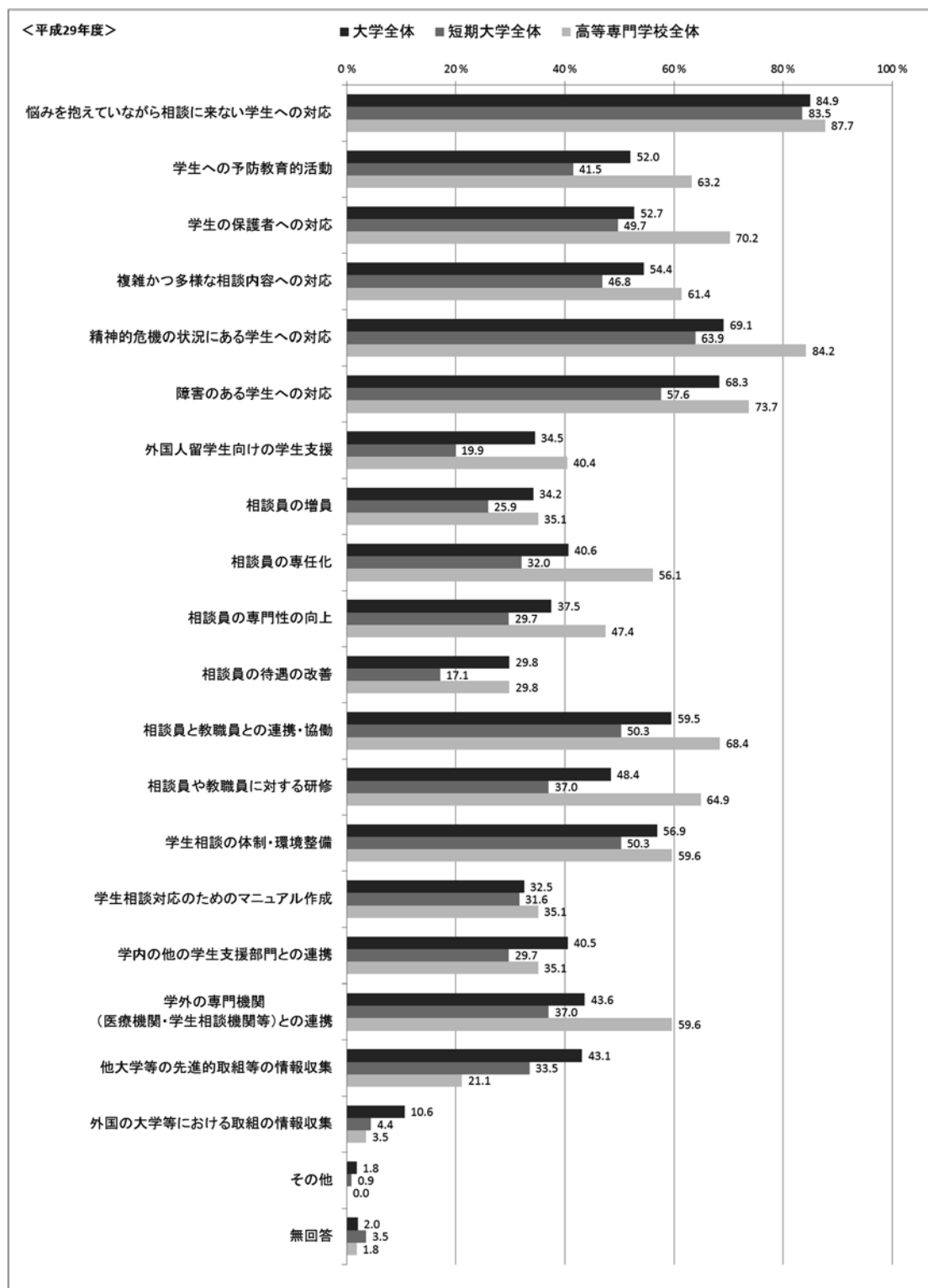
学生相談について連携している学外機関(機関名)については、各学校種ともに、多くの項目で「医療機関」の回答が多くみられた。また、国・都道府県・市区町村等による各種支援施設(窓口)や、NPO、警察、弁護士等の回答も多くみられた。

項目	連携している学外機関名
対人関係 (家族、友人、知人、異性関係)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関 ・カウンセリング機関 ・地域の青少年センター、青少年相談室 ・学生のかかりつけ医
精神障害 (気分障害、不安障害、統合失調症等)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関 ・カウンセリング機関 ・地域の精神保健福祉センター ・地域の保健所 ・学生のかかりつけ医
心理・性格 (アイデンティティ、セルフコントロール等)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関 ・カウンセリング機関 ・地域の精神保健福祉センター ・地域のひきこもり支援センター ・地域若者サポートステーション
発達障害 (自閉症スペクトラム障害、ADHD (注意欠陥多動性障害)、LD(学習障害)等)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関 ・地域の発達障害者支援センター ・地域の障害者就業・生活支援センター ・学生のかかりつけ医 ・学生出身校 ・ハローワーク ・地域若者サポートステーション ・地域の障害者職業センター ・障害者就労移行支援事業所 ・NPO法人(障害者就労支援)
LGBT (性的少数者)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関 ・カウンセリング機関 ・NPO法人(LGBT支援団体) ・自助グループ ・地域の男女共同参画センター
身体障害	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関 ・地域の障害者就業・生活支援センター ・自治体の障害者支援担当部署 ・障害者リハビリテーションセンター ・学生出身校 ・ハローワーク
修学上の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関 ・カウンセリング機関 ・学生出身校 ・学生のかかりつけ医 ・地域の教育相談センター
経済的問題	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体の福祉等担当部署 ・日本政策金融公庫 ・JASSO(奨学金) ・金融機関、信販会社 ・弁護士
進路・就職	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク(ヤングハローワーク) ・ジョブカフェ ・地域若者サポートステーション ・地域の(若者)雇用就業支援センター ・同窓会組織 ・就職支援関連企業 ・障害者就労移行支援事業所 ・地域の障害者職業センター ・地域の障害者就労支援センター ・地域の障害者就業・生活支援センター
ハラスメント、人権侵害、デートDV	<ul style="list-style-type: none"> ・警察の相談窓口(DV相談等) ・自治体等の相談窓口(人権相談、女性相談、DV相談等) ・地域の犯罪被害者支援センター ・男女共同参画社会団体 ・NPO法人(被害者支援等) ・医療機関
性犯罪	<ul style="list-style-type: none"> ・警察 ・地域の(性)犯罪被害者支援センター(相談窓口) ・弁護士 ・医療機関 ・カウンセリング機関 ・NPO法人(性犯罪被害者支援)
悪徳商法、法律相談	<ul style="list-style-type: none"> ・警察 ・弁護士 ・地域の消費生活センター ・国民生活センター ・法テラス

【表 24-②】

25-① 学生相談に関する今後の課題として特に必要性が高いと思われる事項

自学における学生相談に関する今後の課題として、特に必要性が高いと思われる事項については、各学校種ともに上位3項目が同じ順序になっており、割合の高い順に、「悩みを抱えていながら相談に来ない学生への対応」、「精神的危機の状況にある学生への対応」「障害のある学生への対応」となっている。また、「相談員と教職員との連携・協働」「学生相談の体制・環境整備」についても割合が高くなっており、各学校種で5割を超えている。前回調査と比べると「障害のある学生への対応」の割合が増加しており、大学全体で 5.8 ポイント、短期大学全体で 6.7 ポイント、高等専門学校全体で 11.9 ポイント増加している。



【図 25-①】

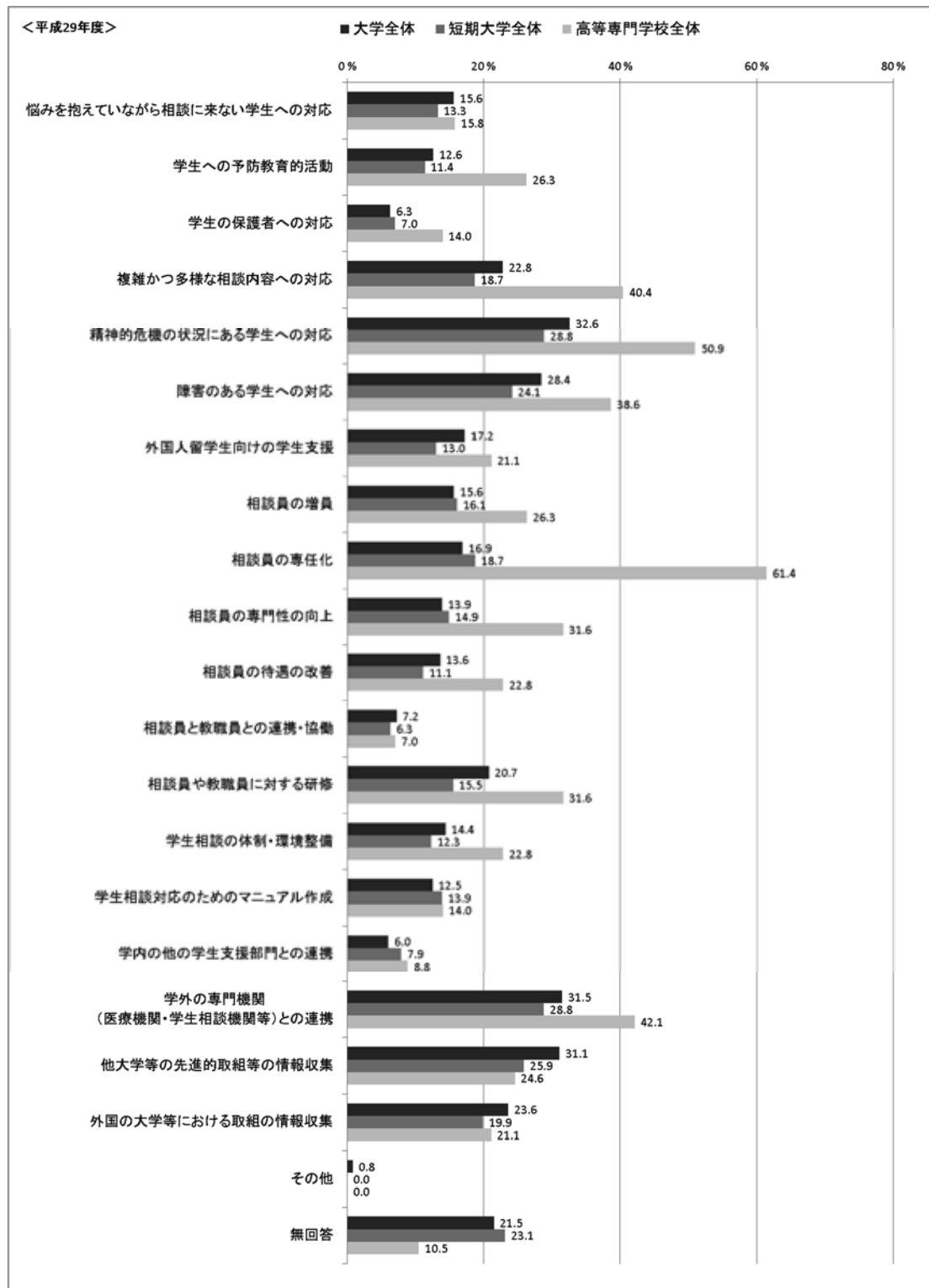
(単位:%)

		平成29年度	<参考> 平成27年度			平成29年度	<参考> 平成27年度	
悩みを抱えていながら相談に来ない学生への対応	大学 全体	84.9	86.6	相談員と教職員との連携・協働	大学 全体	59.5	64.9	
	国立	94.2	90.6		国立	76.7	74.1	
		公立	80.7		84.3	公立	52.3	61.4
		私立	84.2		86.3	私立	58.1	64.0
	短期大学 全体	83.5	81.7		短期大学 全体	50.3	54.7	
高等専門学校 全体	87.7	89.1	高等専門学校 全体	68.4	76.4			
学生への予防教育的活動	大学 全体	52.0	54.9	相談員や教職員に対する研修	大学 全体	48.4	50.7	
	国立	72.1	72.9		国立	68.6	67.1	
		公立	43.2		38.6	公立	43.2	41.0
		私立	50.4		54.6	私立	46.2	49.7
	短期大学 全体	41.5	44.4		短期大学 全体	37.0	44.7	
高等専門学校 全体	63.2	60.0	高等専門学校 全体	64.9	63.6			
学生の保護者への対応	大学 全体	52.7	56.2	学生相談の体制・環境整備	大学 全体	56.9	59.7	
	国立	66.3	68.2		国立	72.1	74.1	
		公立	45.5		42.2	公立	59.1	54.2
		私立	51.8		56.5	私立	54.3	58.4
	短期大学 全体	49.7	52.8		短期大学 全体	50.3	50.3	
高等専門学校 全体	70.2	70.9	高等専門学校 全体	59.6	58.2			
複雑かつ多様な相談内容への対応	大学 全体	54.4	65.8	学生相談対応のためのマニュアル作成	大学 全体	32.5	35.7	
	国立	72.1	75.3		国立	40.7	48.2	
		公立	58.0		61.4	公立	28.4	32.5
		私立	51.3		65.0	私立	31.9	34.3
	短期大学 全体	46.8	58.1		短期大学 全体	31.6	33.2	
高等専門学校 全体	61.4	60.0	高等専門学校 全体	35.1	38.2			
精神的危機の状況にある学生への対応	大学 全体	69.1	69.9	学内の他の学生支援部門との連携	大学 全体	40.5	47.6	
	国立	83.7	83.5		国立	54.7	70.6	
		公立	72.7		73.5	公立	28.4	30.1
		私立	66.4		67.4	私立	40.2	46.8
	短期大学 全体	63.9	60.9		短期大学 全体	29.7	31.4	
高等専門学校 全体	84.2	70.9	高等専門学校 全体	35.1	38.2			
障害のある学生への対応	大学 全体	68.3	62.5	学外の専門機関との連携	大学 全体	43.6	48.4	
	国立	83.7	80.0		国立	57.0	63.5	
		公立	68.2		55.4	公立	39.8	30.1
		私立	66.0		60.9	私立	42.3	48.8
	短期大学 全体	57.6	50.9		短期大学 全体	37.0	45.7	
高等専門学校 全体	73.7	61.8	高等専門学校 全体	59.6	61.8			
外国人留学生向けの学生支援(※1)	大学 全体	34.5	32.5	他大学等の先進的取組等の情報収集	大学 全体	43.1	41.9	
	国立	59.3	57.6		国立	61.6	64.7	
		公立	30.7		20.5	公立	36.4	33.7
		私立	31.4		30.5	私立	41.4	39.8
	短期大学 全体	19.9	16.5		短期大学 全体	33.5	28.6	
高等専門学校 全体	40.4	29.1	高等専門学校 全体	21.1	16.4			
相談員の増員	大学 全体	34.2	37.4	外国の大学等における取組の情報収集	大学 全体	10.6	10.1	
	国立	58.1	62.4		国立	26.7	23.5	
		公立	28.4		30.1	公立	6.8	6.0
		私立	31.6		34.8	私立	8.8	8.7
	短期大学 全体	25.9	28.0		短期大学 全体	4.4	4.7	
高等専門学校 全体	35.1	32.7	高等専門学校 全体	3.5	7.3			
相談員の専任化	大学 全体	40.6	40.1	その他	大学 全体	1.8	1.2	
	国立	61.6	56.5		国立	2.3	3.5	
		公立	34.1		31.3	公立	2.3	1.2
		私立	38.5		38.9	私立	1.7	0.9
	短期大学 全体	32.0	29.8		短期大学 全体	0.9	0.0	
高等専門学校 全体	56.1	47.3	高等専門学校 全体	0.0	1.8			
相談員の専門性の向上	大学 全体	37.5	38.6	無回答	大学 全体	2.0	1.3	
	国立	55.8	54.1		国立	0.0	0.0	
		公立	29.5		28.9	公立	2.3	1.2
		私立	36.0		37.7	私立	2.2	1.5
	短期大学 全体	29.7	27.0		短期大学 全体	3.5	3.1	
高等専門学校 全体	47.4	43.6	高等専門学校 全体	1.8	0.0			
相談員の待遇の改善	大学 全体	29.8	27.5	※1 平成27年度: 留学生向けの学生支援に関すること	大学 全体	29.8	27.5	
	国立	48.8	44.7		国立	48.8	44.7	
		公立	27.3		20.5	公立	27.3	20.5
		私立	27.3		25.9	私立	27.3	25.9
	短期大学 全体	17.1	15.5		短期大学 全体	17.1	15.5	
高等専門学校 全体	29.8	30.9	高等専門学校 全体	29.8	30.9			

【表25-①】

25-② 今後、学生相談に関する取組を充実するうえで学校単独では実施困難な事項

今後、学生相談に関する取組を充実するうえで学校単独では実施困難な事項については、各学校種ともに「精神的危機の状況にある学生への対応」「学外の専門機関（医療機関・学生相談機関等）との連携」の割合が高くなっている。また、高等専門学校全体では「相談員の専任化」(61.4%)が他に比べて高い割合になっており、前回調査と比べて17.8ポイント増加している。なお、全体的には、前回調査と比べて大きな変化はない。



【図 25-②】

(単位: %)

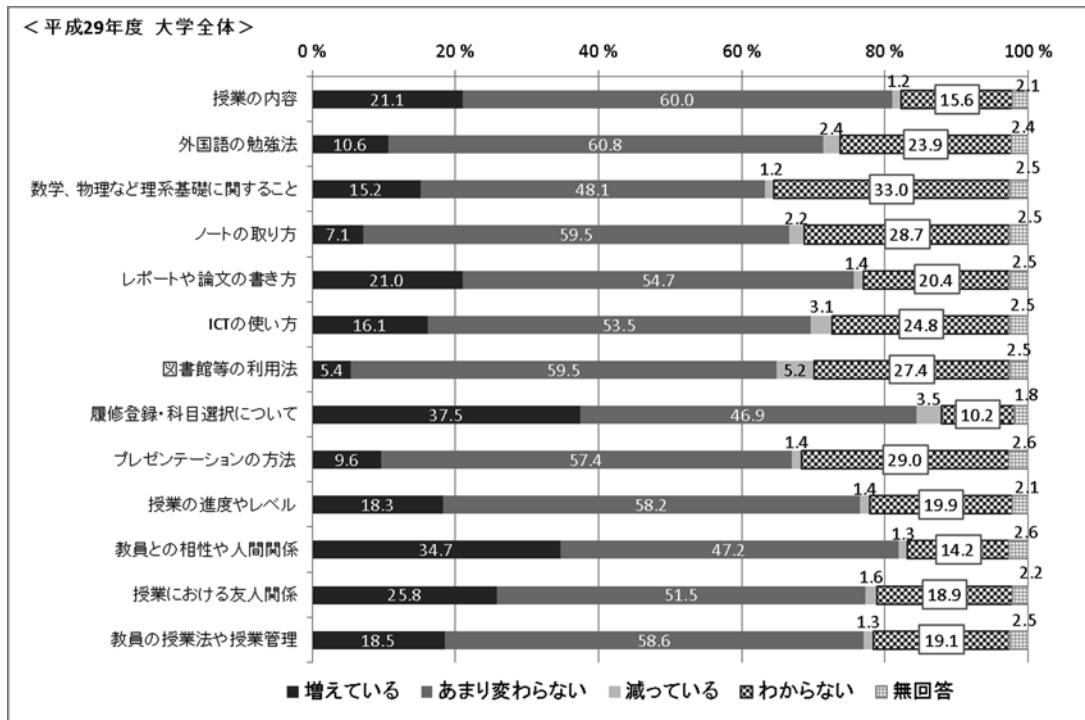
		平成29年度	<参考> 平成27年度			平成29年度	<参考> 平成27年度
悩みを抱えていながら 相談に来ない学生への 対応	大学 全体	15.6	15.1	相談員と教職員との連 携・協働	大学 全体	7.2	6.1
	国立	29.1	25.9		国立	8.1	7.1
	公立	11.4	12.0		公立	2.3	2.4
	私立	14.3	14.0		私立	7.8	6.5
	短期大学 全体	13.3	12.4		短期大学 全体	6.3	4.0
	高等専門学校 全体	15.8	14.5		高等専門学校 全体	7.0	10.9
学生への予防教育的 活動	大学 全体	12.6	12.6	相談員や教職員に対す る研修	大学 全体	20.7	19.9
	国立	12.8	16.5		国立	27.9	23.5
	公立	9.1	7.2		公立	20.5	16.9
	私立	13.1	12.8		私立	19.7	19.8
	短期大学 全体	11.4	10.6		短期大学 全体	15.5	15.8
	高等専門学校 全体	26.3	18.2		高等専門学校 全体	31.6	27.3
学生の保護者への対 応	大学 全体	6.3	4.6	学生相談の体制・環境 整備	大学 全体	14.4	11.0
	国立	7.0	5.9		国立	18.6	16.5
	公立	6.8	4.8		公立	15.9	9.6
	私立	6.1	4.4		私立	13.6	10.4
	短期大学 全体	7.0	5.0		短期大学 全体	12.3	7.1
	高等専門学校 全体	14.0	10.9		高等専門学校 全体	22.8	18.2
複雑かつ多様な相談内 容への対応	大学 全体	22.8	21.1	学生相談対応のための マニュアル作成	大学 全体	12.5	11.9
	国立	29.1	22.4		国立	17.4	16.5
	公立	26.1	30.1		公立	14.8	12.0
	私立	21.4	19.6		私立	11.4	11.3
	短期大学 全体	18.7	19.3		短期大学 全体	13.9	13.4
	高等専門学校 全体	40.4	30.9		高等専門学校 全体	14.0	7.3
精神的危機の状況にあ る学生への対応	大学 全体	32.6	28.9	学内の他の学生支援 部門との連携	大学 全体	6.0	5.2
	国立	40.7	24.7		国立	7.0	5.9
	公立	37.5	28.9		公立	5.7	3.6
	私立	30.7	29.5		私立	5.9	5.3
	短期大学 全体	28.8	30.1		短期大学 全体	7.9	3.7
	高等専門学校 全体	50.9	40.0		高等専門学校 全体	8.8	7.3
障害のある学生への対 応	大学 全体	28.4	27.1	学外の専門機関との連 携	大学 全体	31.5	29.0
	国立	31.4	32.9		国立	39.5	32.9
	公立	27.3	30.1		公立	33.0	31.3
	私立	28.2	25.8		私立	30.1	28.2
	短期大学 全体	24.1	20.8		短期大学 全体	28.8	28.0
	高等専門学校 全体	38.6	29.1		高等専門学校 全体	42.1	40.0
外国人留学生向けの 学生支援(※1)	大学 全体	17.2	16.3	他大学等の先進的取 組等の情報収集	大学 全体	31.1	33.0
	国立	24.4	23.5		国立	40.7	45.9
	公立	15.9	12.0		公立	21.6	24.1
	私立	16.3	15.9		私立	31.1	32.4
	短期大学 全体	13.0	11.5		短期大学 全体	25.9	25.5
	高等専門学校 全体	21.1	20.0		高等専門学校 全体	24.6	18.2
相談員の増員	大学 全体	15.6	13.7	外国の大学等における 取組の情報収集	大学 全体	23.6	26.5
	国立	19.8	21.2		国立	30.2	38.8
	公立	19.3	16.9		公立	20.5	19.3
	私立	14.4	12.1		私立	23.1	25.8
	短期大学 全体	16.1	16.5		短期大学 全体	19.9	20.2
	高等専門学校 全体	26.3	18.2		高等専門学校 全体	21.1	16.4
相談員の専任化	大学 全体	16.9	13.1	その他	大学 全体	0.8	0.7
	国立	25.6	21.2		国立	2.3	3.5
	公立	17.0	15.7		公立	1.1	0.0
	私立	15.6	11.6		私立	0.5	0.3
	短期大学 全体	18.7	15.2		短期大学 全体	0.0	0.0
	高等専門学校 全体	61.4	43.6		高等専門学校 全体	0.0	1.8
相談員の専門性の向 上	大学 全体	13.9	11.8	無回答	大学 全体	21.5	21.0
	国立	23.3	18.8		国立	12.8	12.9
	公立	13.6	9.6		公立	26.1	24.1
	私立	12.6	11.1		私立	22.1	21.7
	短期大学 全体	14.9	10.6		短期大学 全体	23.1	23.6
	高等専門学校 全体	31.6	32.7		高等専門学校 全体	10.5	12.7
相談員の待遇の改善	大学 全体	13.6	12.2	※1 平成27年度: 留学生向けの学生支援に関すること			
	国立	22.1	21.2				
	公立	12.5	8.4				
	私立	12.6	11.4				
	短期大学 全体	11.1	10.9				
	高等専門学校 全体	22.8	21.8				

【表25-②】

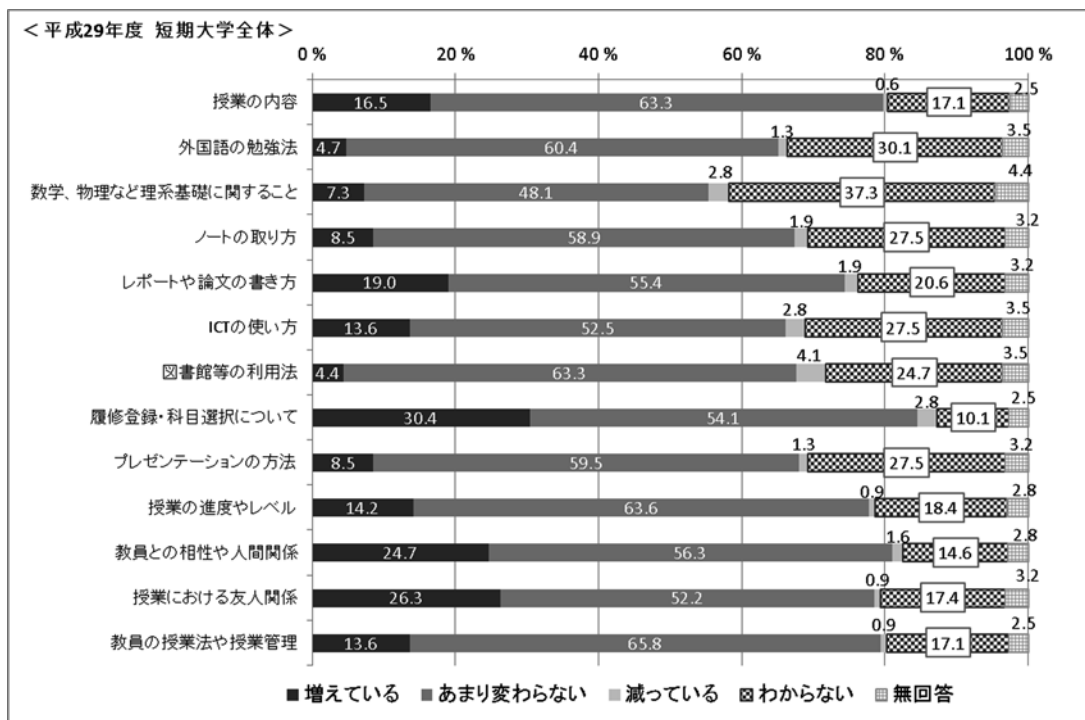
Ⅶ 成績不振学生・不登校学生等

26 修学に関する相談の傾向

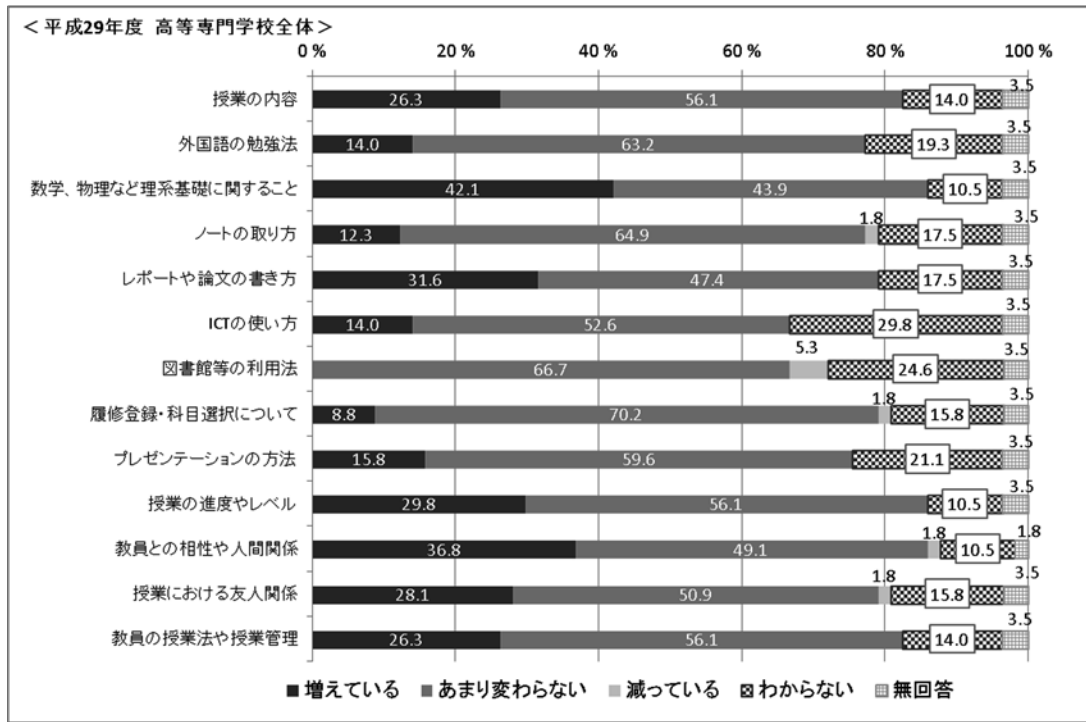
修学に関する相談の最近2年程度の傾向について、「増えている」と回答した割合が最も高いのは、大学全体及び短期大学全体では「履修登録・科目選択について」(大学全体37.5%、短期大学全体30.4%)、高等専門学校全体では「数学、物理など理系基礎に関すること」(42.1%)となっている。なお、大学全体において「増えている」の割合が高い項目は、「履修登録・科目選択について」「教員との相性や人間関係」「授業における友人関係」との順となっており、前回調査と同様の傾向になっている。



【図 26-1】



【図 26-2】



【図 26-3】

(単位: %)

		平成29年度					<参考>平成27年度				
		増えている	あまり変わらない	減っている	わからない	無回答	増えている	あまりかわらない	減っている	わからない	無回答
授業の内容	大学 全体	21.1	60.0	1.2	15.6	2.1	21.2	63.9	0.9	11.8	2.1
	国立	20.9	62.8	0.0	16.3	0.0	20.0	62.4	0.0	17.6	0.0
	公立	17.0	51.1	1.1	28.4	2.3	10.8	60.2	0.0	26.5	2.4
	私立	21.7	61.0	1.4	13.6	2.4	22.9	64.7	1.2	8.9	2.4
	短期大学 全体	16.5	63.3	0.6	17.1	2.5	20.8	64.0	1.6	10.9	2.8
高等専門学校 全体	26.3	56.1	0.0	14.0	3.5	30.9	58.2	1.8	9.1	0.0	
外国語の勉強法	大学 全体	10.6	60.8	2.4	23.9	2.4	15.3	60.3	1.9	20.2	2.4
	国立	17.4	55.8	1.2	25.6	0.0	30.6	44.7	0.0	24.7	0.0
	公立	6.8	55.7	1.1	34.1	2.3	8.4	57.8	1.2	30.1	2.4
	私立	10.2	62.3	2.7	22.1	2.7	14.0	63.0	2.2	18.1	2.7
	短期大学 全体	4.7	60.4	1.3	30.1	3.5	9.3	62.1	3.4	21.1	4.0
高等専門学校 全体	14.0	63.2	0.0	19.3	3.5	27.3	56.4	0.0	14.5	1.8	
数学、物理など理系基礎に関すること	大学 全体	15.2	48.1	1.2	33.0	2.5	18.0	50.3	1.1	27.7	2.9
	国立	26.7	47.7	0.0	25.6	0.0	28.2	49.4	1.2	21.2	0.0
	公立	9.1	46.6	0.0	42.0	2.3	7.2	50.6	1.2	37.3	3.6
	私立	14.4	48.4	1.5	32.8	2.9	18.1	50.3	1.0	27.3	3.2
	短期大学 全体	7.3	48.1	2.8	37.3	4.4	11.2	50.9	1.9	31.1	5.0
高等専門学校 全体	42.1	43.9	0.0	10.5	3.5	38.2	52.7	3.6	3.6	1.8	
ノートの取り方	大学 全体	7.1	59.5	2.2	28.7	2.5	8.2	65.5	2.5	21.5	2.3
	国立	3.5	58.1	2.3	36.0	0.0	5.9	62.4	0.0	31.8	0.0
	公立	8.0	50.0	0.0	39.8	2.3	3.6	57.8	1.2	34.9	2.4
	私立	7.5	61.1	2.5	26.0	2.9	9.2	67.1	3.1	18.1	2.6
	短期大学 全体	8.5	58.9	1.9	27.5	3.2	11.2	60.6	3.4	20.8	4.0
高等専門学校 全体	12.3	64.9	1.8	17.5	3.5	16.4	69.1	3.6	10.9	0.0	
レポートや論文の書き方	大学 全体	21.0	54.7	1.4	20.4	2.5	22.8	57.2	1.9	15.9	2.3
	国立	27.9	50.0	0.0	22.1	0.0	28.2	50.6	0.0	21.2	0.0
	公立	17.0	51.1	0.0	29.5	2.3	7.2	56.6	0.0	33.7	2.4
	私立	20.5	55.9	1.9	18.8	2.9	24.2	58.2	2.4	12.6	2.6
	短期大学 全体	19.0	55.4	1.9	20.6	3.2	29.5	49.4	2.5	14.9	3.7
高等専門学校 全体	31.6	47.4	0.0	17.5	3.5	29.1	58.2	1.8	10.9	0.0	
ICTの使い方	大学 全体	16.1	53.5	3.1	24.8	2.5	17.2	53.4	4.8	22.1	2.4
	国立	18.6	53.5	3.5	24.4	0.0	12.9	52.9	7.1	27.1	0.0
	公立	5.7	48.9	2.3	40.9	2.3	6.0	59.0	2.4	30.1	2.4
	私立	17.3	54.2	3.2	22.4	2.9	19.5	52.7	4.8	20.3	2.7
	短期大学 全体	13.6	52.5	2.8	27.5	3.5	12.7	57.5	4.3	20.8	4.7
高等専門学校 全体	14.0	52.6	0.0	29.8	3.5	9.1	67.3	0.0	20.0	3.6	
図書館等の利用法	大学 全体	5.4	59.5	5.2	27.4	2.5	8.9	63.3	5.3	19.9	2.7
	国立	4.7	62.8	3.5	29.1	0.0	8.2	58.8	3.5	28.2	1.2
	公立	4.5	51.1	3.4	38.6	2.3	2.4	61.4	3.6	30.1	2.4
	私立	5.6	60.3	5.8	25.5	2.9	9.9	64.2	5.8	17.2	2.9
	短期大学 全体	4.4	63.3	4.1	24.7	3.5	4.3	67.4	5.6	18.6	4.0
高等専門学校 全体	0.0	66.7	5.3	24.6	3.5	0.0	72.7	7.3	18.2	1.8	

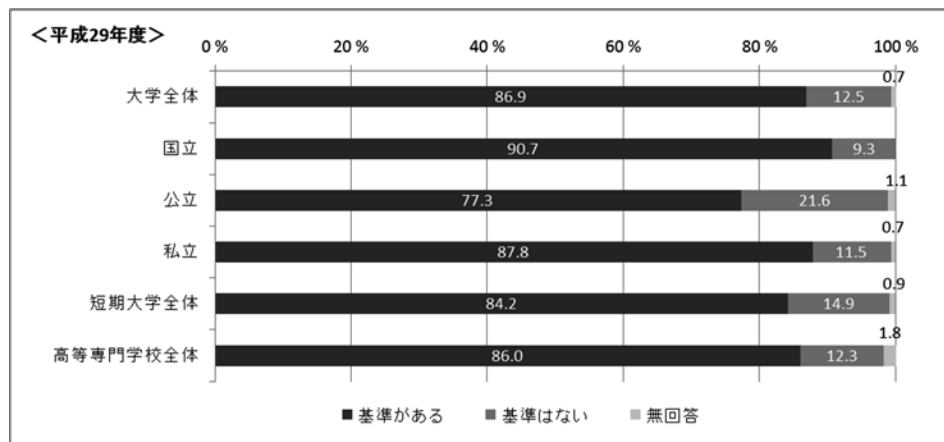
(単位:%)

		平成29年度					<参考>平成27年度					
		増えている	あまり変わらない	減っている	わからない	無回答	増えている	あまりかわらない	減っている	わからない	無回答	
履修登録・科目選択について	大学 全体	37.5	46.9	3.5	10.2	1.8	43.2	44.3	5.0	5.7	1.7	
		国立	51.2	33.7	3.5	11.6	0.0	51.8	35.3	5.9	7.1	0.0
		公立	25.0	51.1	3.4	18.2	2.3	27.7	48.2	7.2	14.5	2.4
		私立	37.4	48.2	3.6	8.8	2.0	44.2	45.1	4.6	4.3	1.9
		短期大学 全体	30.4	54.1	2.8	10.1	2.5	35.4	51.2	2.8	7.5	3.1
	高等専門学校 全体	8.8	70.2	1.8	15.8	3.5	12.7	70.9	1.8	12.7	1.8	
プレゼンテーションの方法	大学 全体	9.6	57.4	1.4	29.0	2.6	11.4	60.9	1.5	23.9	2.4	
		国立	11.6	53.5	2.3	32.6	0.0	11.8	52.9	1.2	34.1	0.0
		公立	4.5	50.0	1.1	42.0	2.3	6.0	59.0	1.2	31.3	2.4
		私立	10.0	59.1	1.4	26.5	3.1	12.1	62.3	1.5	21.3	2.7
		短期大学 全体	8.5	59.5	1.3	27.5	3.2	12.4	58.1	1.6	23.9	4.0
	高等専門学校 全体	15.8	59.6	0.0	21.1	3.5	21.8	67.3	0.0	9.1	1.8	
授業の進捗やレベル	大学 全体	18.3	58.2	1.4	19.9	2.1	20.4	61.3	1.3	14.9	2.1	
		国立	16.3	61.6	1.2	20.9	0.0	18.8	61.2	1.2	18.8	0.0
		公立	12.5	50.0	0.0	35.2	2.3	9.6	60.2	0.0	27.7	2.4
		私立	19.5	58.9	1.7	17.5	2.4	22.2	61.4	1.5	12.5	2.4
		短期大学 全体	14.2	63.6	0.9	18.4	2.8	19.6	59.6	2.8	14.6	3.4
	高等専門学校 全体	29.8	56.1	0.0	10.5	3.5	32.7	61.8	0.0	3.6	1.8	
教員との相性や人間関係	大学 全体	34.7	47.2	1.3	14.2	2.6	36.9	47.3	1.7	12.3	1.7	
		国立	44.2	41.9	0.0	14.0	0.0	47.1	41.2	0.0	11.8	0.0
		公立	33.0	30.7	1.1	31.8	3.4	32.5	37.3	2.4	25.3	2.4
		私立	33.6	50.4	1.5	11.5	2.9	36.0	49.7	1.9	10.6	1.9
		短期大学 全体	24.7	56.3	1.6	14.6	2.8	26.1	54.7	2.8	13.4	3.1
	高等専門学校 全体	36.8	49.1	1.8	10.5	1.8	40.0	49.1	3.6	7.3	0.0	
授業における友人関係	大学 全体	25.8	51.5	1.6	18.9	2.2	29.7	51.1	1.6	15.8	1.9	
		国立	25.6	52.3	1.2	20.9	0.0	27.1	52.9	1.2	18.8	0.0
		公立	23.9	35.2	2.3	35.2	3.4	25.3	47.0	0.0	25.3	2.4
		私立	26.1	53.8	1.5	16.1	2.4	30.7	51.4	1.9	14.0	2.0
		短期大学 全体	26.3	52.2	0.9	17.4	3.2	28.6	53.1	1.2	13.4	3.7
	高等専門学校 全体	28.1	50.9	1.8	15.8	3.5	29.1	52.7	0.0	16.4	1.8	
教員の授業法や授業管理	大学 全体	18.5	58.6	1.3	19.1	2.5	19.9	59.8	1.9	16.3	2.1	
		国立	19.8	58.1	1.2	20.9	0.0	17.6	57.6	1.2	23.5	0.0
		公立	15.9	40.9	0.0	39.8	3.4	9.6	51.8	2.4	32.5	3.6
		私立	18.7	61.3	1.5	15.8	2.7	21.7	61.3	1.9	13.0	2.2
		短期大学 全体	13.6	65.8	0.9	17.1	2.5	16.8	62.7	2.2	14.9	3.4
	高等専門学校 全体	26.3	56.1	0.0	14.0	3.5	27.3	60.0	0.0	10.9	1.8	

【表 26】

27-①(1) 成績不振学生として対応している学生（判断基準の有無）

成績不振学生として対応している学生についての判断基準の有無については、各学校種ともに「基準がある」（大学全体 86.9%、短期大学全体 84.2%、高等専門学校全体 86.0%）の割合が高くなっている。大学全体を設置者別でみると、公立大学は「基準がある」（77.3%）の割合が、他の設置者に比べて低くなっている。



【図 27-①(1)】

(単位: %)

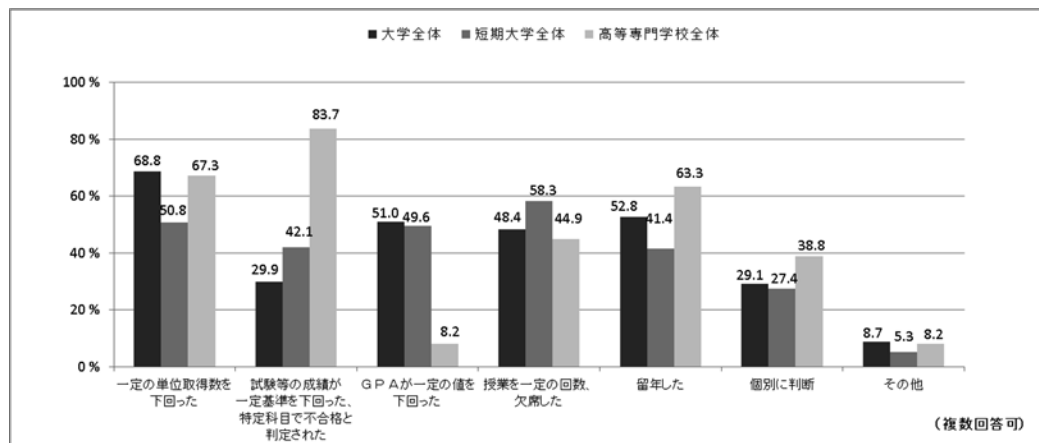
		基準がある	基準はない	無回答
大学 全体		86.9	12.5	0.7
	国立	90.7	9.3	0.0
	公立	77.3	21.6	1.1
	私立	87.8	11.5	0.7
短期大学 全体		84.2	14.9	0.9
高等専門学校 全体		86.0	12.3	1.8

【表 27-①(1)】

27-①(2) 成績不振学生として対応している学生（判断の目安としている基準）

※27-①(1)で「基準がある」と回答した学校が対象

成績不振学生として対応している学生について、判断の目安としている基準として最も高い割合は、大学全体では「一定単位取得数を下回った」（68.8%）、短期大学全体では「授業を一定の回数欠席した」（58.3%）、高等専門学校全体では「試験等の成績が一定基準を下回った、特定科目で不合格と判定された」（83.7%）となっている。



【図 27-①(2)】

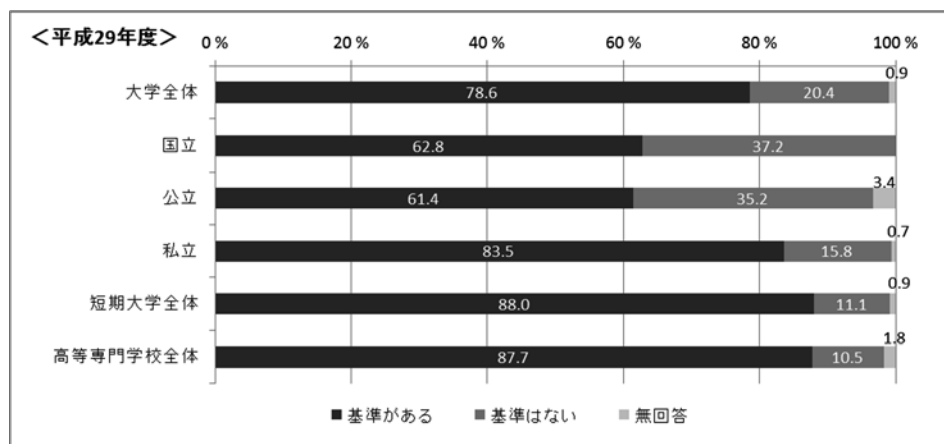
(単位: %)

		一定の単位取得数を下回った	試験等の成績が一定基準を下回った、特定科目で不合格と判定された	GPAが一定の値を下回った	授業を一定の回数欠席した	留年した	個別に判断	その他
大学 全体		68.8	29.9	51.0	48.4	52.8	29.1	8.7
	国立	88.5	29.5	64.1	42.3	66.7	34.6	23.1
	公立	54.4	22.1	39.7	30.9	38.2	29.4	14.7
	私立	67.7	30.9	50.5	51.6	52.6	28.2	5.8
短期大学 全体		50.8	42.1	49.6	58.3	41.4	27.4	5.3
高等専門学校 全体		67.3	83.7	8.2	44.9	63.3	38.8	8.2

【表 27-①(2)】

27-②(1) 出席状況が悪い学生として対応している学生（判断基準の有無）

出席状況が悪い学生として対応している学生についての判断基準の有無については、各学校種ともに「基準がある」（大学全体 78.6%、短期大学全体 88.0%、高等専門学校全体 87.7%）の割合が高くなっている。大学全体を設置者別でみると、私立大学は「基準がある」（83.5%）の割合が、他の設置者に比べて高くなっている。



【図 27-②(1)】

(単位: %)

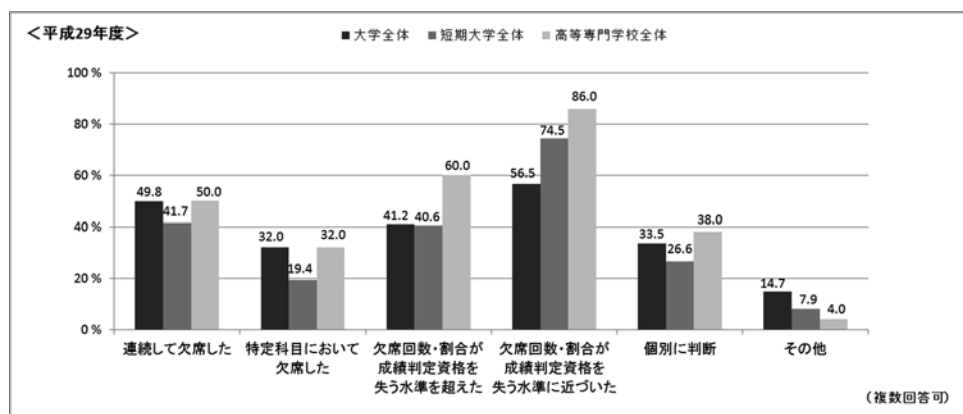
		基準がある	基準はない	無回答
大学 全体		78.6	20.4	0.9
	国立	62.8	37.2	0.0
	公立	61.4	35.2	3.4
	私立	83.5	15.8	0.7
短期大学 全体		88.0	11.1	0.9
高等専門学校 全体		87.7	10.5	1.8

【表 27-②(1)】

27-②(2) 出席状況が悪い学生として対応している学生（判断の目安としている基準）

※27-②(1)で「基準がある」と回答した学校が対象

出席状況が悪い学生として対応している学生について、判断の目安としている基準では、各学校種ともに「欠席回数・割合が成績判定資格を失う水準に近づいた」が最も高い割合となっている。他に、高等専門学校全体では「欠席回数・割合が成績判定資格を失う水準を超えた」（60.0%）が、他に比べて高い割合になっている。



【表 27-②(2)】

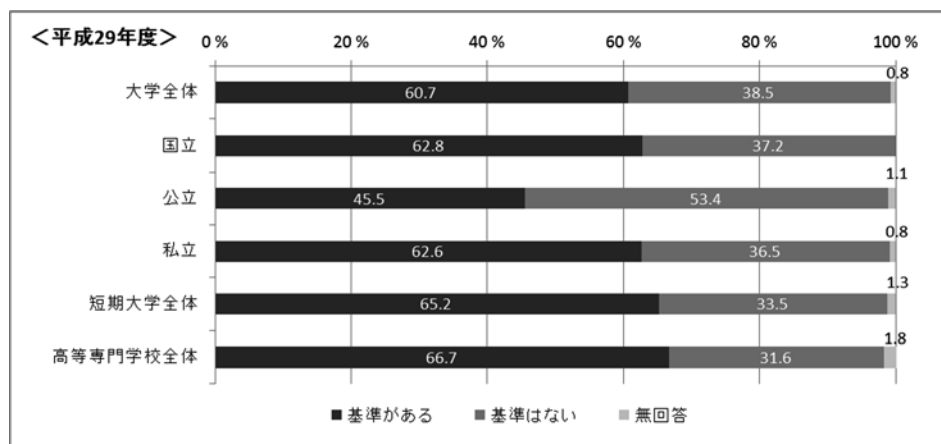
(単位: %)

		連続して欠席した	特定科目において欠席した	欠席回数・割合が成績判定資格を失う水準を超えた	欠席回数・割合が成績判定資格を失う水準に近づいた	個別に判断	その他
大学 全体		49.8	32.0	41.2	56.5	33.5	14.7
	国立	68.5	46.3	50.0	46.3	51.9	42.6
	公立	44.4	25.9	31.5	48.1	46.3	13.0
	私立	48.4	31.1	41.3	58.5	30.1	11.8
短期大学 全体		41.7	19.4	40.6	74.5	26.6	7.9
高等専門学校 全体		50.0	32.0	60.0	86.0	38.0	4.0

【図 27-②(2)】

27-③(1) 不登校の学生として対応している学生（判断基準の有無）

不登校の学生として対応している学生についての判断基準の有無については、各学校種ともに「基準がある」が6割程度となっている。大学全体を設置者別でみると、国立大学及び私立大学(共に約63%)に比べて、公立大学は45.5%と低くなっている。



【図 27-③(1)】

(単位:%)

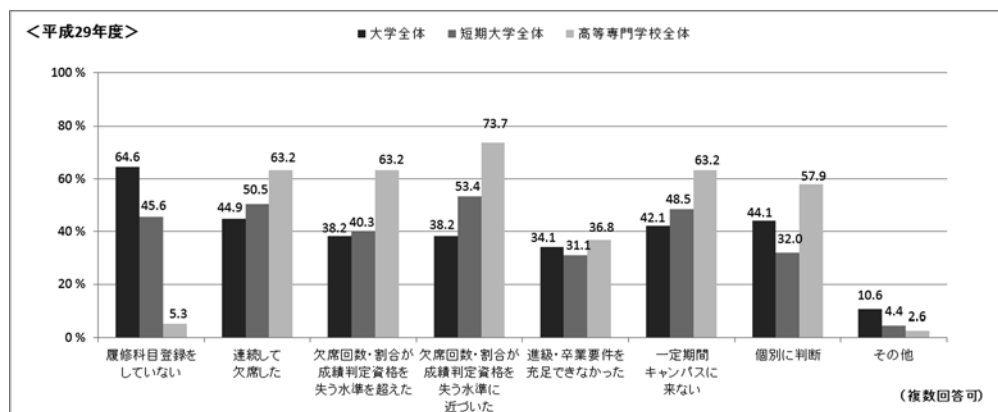
		基準がある	基準はない	無回答
大学 全体		60.7	38.5	0.8
	国立	62.8	37.2	0.0
	公立	45.5	53.4	1.1
	私立	62.6	36.5	0.8
短期大学 全体		65.2	33.5	1.3
高等専門学校 全体		66.7	31.6	1.8

【表 27-③(1)】

27-③(2) 不登校の学生として対応している学生（判断の目安としている基準）

※27-③(1)で「基準がある」と回答した学校が対象

不登校の学生として対応している学生について、判断の目安としている基準として最も高い割合は、大学全体では「履修科目登録をしていない」(64.6%)、短期大学全体及び高等専門学校全体では「欠席回数・割合が成績判定資格を失う水準に近づいた」(短期大学全体 53.4%、高等専門学校全体 73.7%)となっている。



【図 27-③(2)】

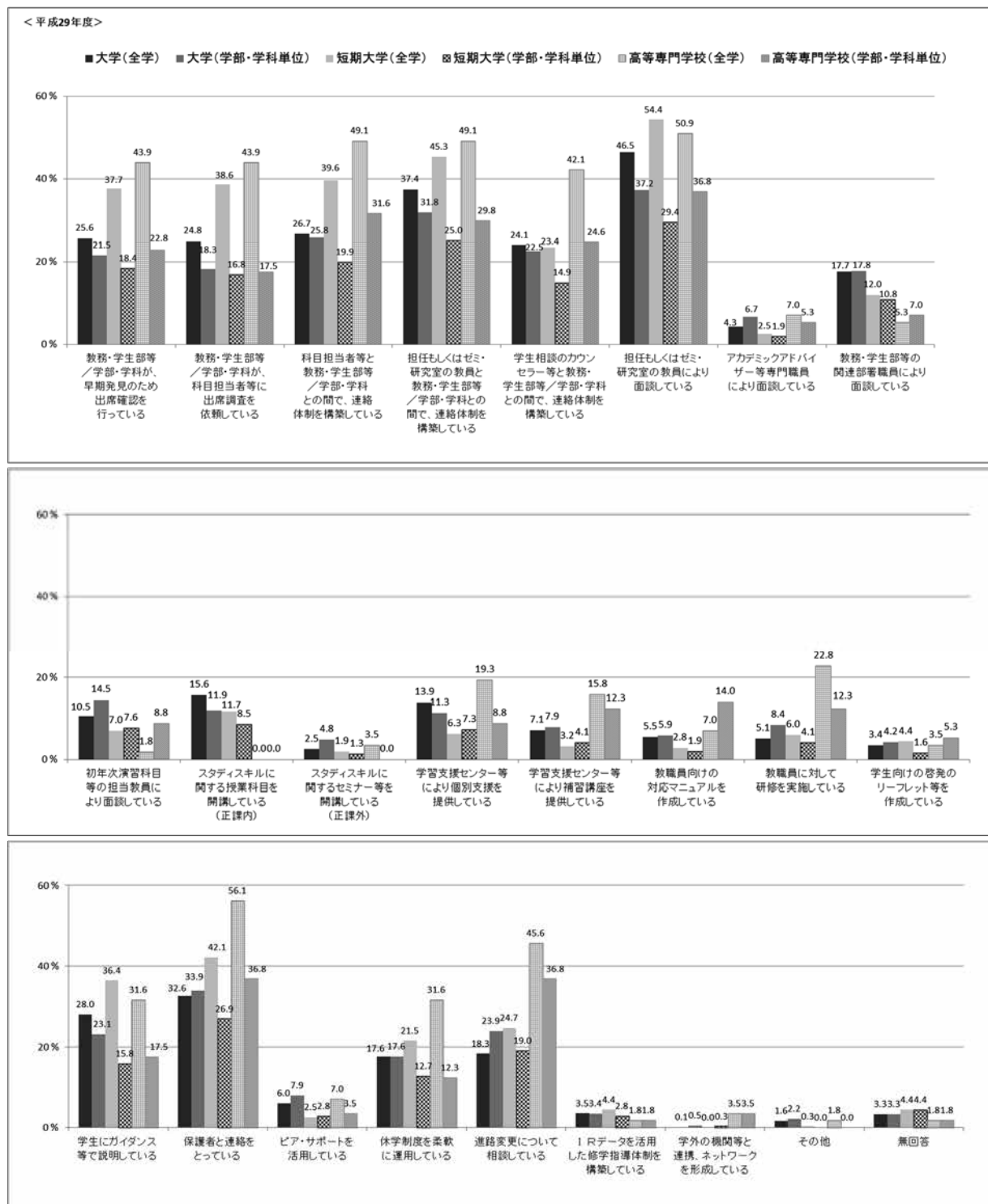
(単位:%)

		履修科目登録をしていない	連続して欠席した	欠席回数・割合が成績判定資格を失う水準を超えた	欠席回数・割合が成績判定資格を失う水準に近づいた	進級・卒業要件を充足できなかった	一定期間キャンパスに来ない	個別に判断	その他
大学 全体		64.6	44.9	38.2	38.2	34.1	42.1	44.1	10.6
	国立	64.8	51.9	40.7	29.6	38.9	42.6	63.0	25.9
	公立	45.0	40.0	32.5	32.5	27.5	35.0	55.0	12.5
	私立	66.7	44.4	38.5	40.1	34.1	42.8	40.1	8.1
短期大学 全体		45.6	50.5	40.3	53.4	31.1	48.5	32.0	4.4
高等専門学校 全体		5.3	63.2	63.2	73.7	36.8	63.2	57.9	2.6

【表 27-③(2)】

28-① 成績不振学生に対する取組

成績不振学生に対する取組としては、「全学で統一的に実施している(以下「全学」という。)」と回答した割合が、「学部あるいは学科単位で独自に実施している(以下「学部・学科単位」という。)」よりも、全体的に高い傾向になっている。具体的な取組について「全学」でみたところ、大学全体及び短期大学全体では「担任もしくはゼミ・研究室の教員により面談している」(大学全体46.5%、短期大学全体54.4%)、高等専門学校全体では「保護者と連絡をとっている」(高等専門学校全体56.1%)の割合が最も高くなっている。



【図28-①】

【成績不振学生】全学で統一的に実施

(単位:%)

平成29年度		教務・学生部等/学部・学科が、早期発見のため出席確認を行っている	教務・学生部等/学部・学科が、科目担当者等に出席調査を依頼している	科目担当者等と教務・学生部等/学部・学科との間で、連絡体制を構築している	担任もしくはゼミ・研究室の教員と教務・学生部等/学部・学科との間で、連絡体制を構築している	学生相談のカウンセラー等と教務・学生部等/学部・学科との間で、連絡体制を構築している	担任もしくはゼミ・研究室の教員により面談している	アカデミックアドバイザー等専門職員により面談している	教務・学生部等との関連部署職員により面談している	初年次演習科目等の担当教員により面談している	スタディスキルに関する授業科目を開講している(正課内)	スタディスキルに関するセミナーを開講している(正課外)	学習支援センター等により個別支援を提供している	学習支援センター等により補習講座を提供している	
	大学 全体	25.6	24.8	26.7	37.4	24.1	46.5	4.3	17.7	10.5	15.6	2.5	13.9	7.1	
		国立	8.1	3.5	11.6	27.9	22.1	34.9	8.1	10.5	3.5	11.6	1.2	10.5	5.8
		公立	10.2	6.8	21.6	28.4	17.0	37.5	3.4	17.0	4.5	9.1	2.3	5.7	4.5
		私立	30.4	30.6	29.7	40.1	25.5	49.6	3.9	18.8	12.4	17.1	2.7	15.6	7.6
	短期大学 全体	37.7	38.6	39.6	45.3	23.4	54.4	2.5	12.0	7.0	11.7	1.9	6.3	3.2	
	高等専門学校 全体	43.9	43.9	49.1	49.1	42.1	50.9	7.0	5.3	1.8	0.0	3.5	19.3	15.8	
		教職員向けの対応マニュアルを作成している	教職員に対して研修を実施している	学生向けの啓発のリーフレット等を作成している	学生にガイダンス等で説明している	保護者と連絡をとっている	ピア・サポートを活用している	休学制度を柔軟に運用している	進路変更について相談している	IRデータを活用した修学指導体制を構築している	学外の機関等と連携、ネットワークを形成している	その他	無回答		
	大学 全体	5.5	5.1	3.4	28.0	32.6	6.0	17.6	18.3	3.5	0.1	1.6	3.3		
		国立	9.3	4.7	4.7	15.1	19.8	8.1	10.5	9.3	2.3	0.0	1.2	1.2	
		公立	1.1	2.3	2.3	12.5	20.5	4.5	10.2	6.8	4.5	0.0	3.4	4.5	
		私立	5.6	5.6	3.4	32.3	36.3	5.9	19.7	21.4	3.6	0.2	1.4	3.4	
	短期大学 全体	2.8	6.0	4.4	36.4	42.1	2.5	21.5	24.7	4.4	0.0	0.3	4.4		
高等専門学校 全体	7.0	22.8	3.5	31.6	56.1	7.0	31.6	45.6	1.8	3.5	1.8	1.8			

【成績不振学生】学部あるいは学科単位で独自に実施

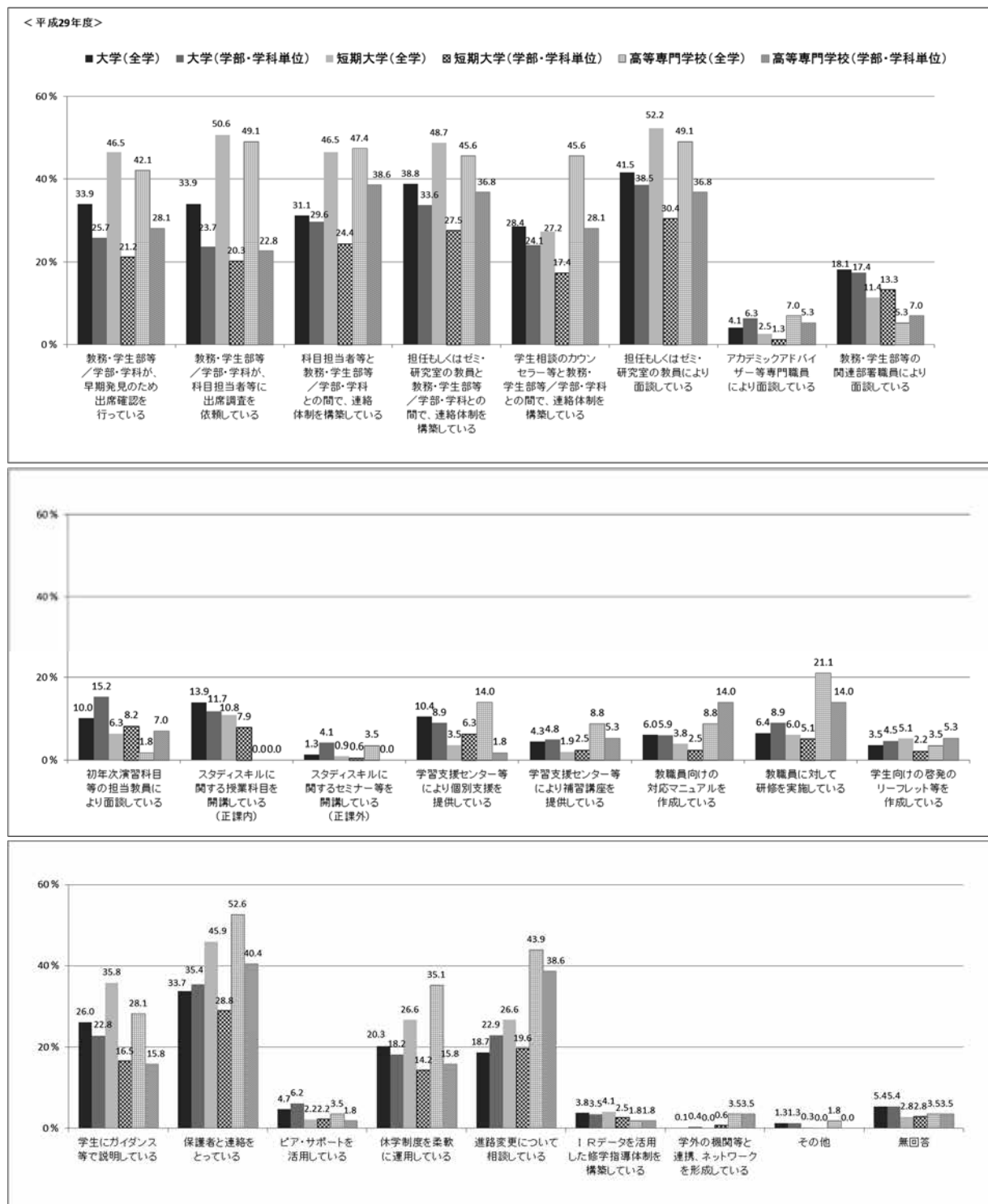
(単位:%)

平成29年度		教務・学生部等/学部・学科が、早期発見のため出席確認を行っている	教務・学生部等/学部・学科が、科目担当者等に出席調査を依頼している	科目担当者等と教務・学生部等/学部・学科との間で、連絡体制を構築している	担任もしくはゼミ・研究室の教員と教務・学生部等/学部・学科との間で、連絡体制を構築している	学生相談のカウンセラー等と教務・学生部等/学部・学科との間で、連絡体制を構築している	担任もしくはゼミ・研究室の教員により面談している	アカデミックアドバイザー等専門職員により面談している	教務・学生部等との関連部署職員により面談している	初年次演習科目等の担当教員により面談している	スタディスキルに関する授業科目を開講している(正課内)	スタディスキルに関するセミナーを開講している(正課外)	学習支援センター等により個別支援を提供している	学習支援センター等により補習講座を提供している	
	大学 全体	21.5	18.3	25.8	31.8	22.5	37.2	6.7	17.8	14.5	11.9	4.8	11.3	7.9	
		国立	27.9	31.4	41.9	54.7	38.4	55.8	17.4	34.9	23.3	22.1	7.0	19.8	11.6
		公立	20.5	14.8	29.5	36.4	25.0	40.9	1.1	22.7	11.4	10.2	2.3	1.1	2.3
		私立	20.7	17.0	22.9	27.8	19.9	34.0	5.9	14.6	13.8	10.7	4.9	11.5	8.1
	短期大学 全体	18.4	16.8	19.9	25.0	14.9	29.4	1.9	10.8	7.6	8.5	1.3	7.3	4.1	
	高等専門学校 全体	22.8	17.5	31.6	29.8	24.6	36.8	5.3	7.0	8.8	0.0	0.0	8.8	12.3	
		教職員向けの対応マニュアルを作成している	教職員に対して研修を実施している	学生向けの啓発のリーフレット等を作成している	学生にガイダンス等で説明している	保護者と連絡をとっている	ピア・サポートを活用している	休学制度を柔軟に運用している	進路変更について相談している	IRデータを活用した修学指導体制を構築している	学外の機関等と連携、ネットワークを形成している	その他	無回答		
	大学 全体	5.9	8.4	4.2	23.1	33.9	7.9	17.6	23.9	3.4	0.5	2.2	3.3		
		国立	18.6	20.9	10.5	47.7	55.8	22.1	36.0	47.7	5.8	0.0	11.6	1.2	
		公立	2.3	6.8	4.5	25.0	31.8	4.5	15.9	21.6	1.1	1.1	0.0	4.5	
		私立	4.6	6.8	3.2	19.2	31.1	6.3	15.1	20.7	3.4	0.5	1.2	3.4	
	短期大学 全体	1.9	4.1	1.6	15.8	26.9	2.8	12.7	19.0	2.8	0.3	0.0	4.4		
高等専門学校 全体	14.0	12.3	5.3	17.5	36.8	3.5	12.3	36.8	1.8	3.5	0.0	1.8			

【表 28-①】

28-② 出席状況が悪い学生や不登校の学生に対する取組

出席状況の悪い学生や不登校の学生に対する取組としては、成績不振学生に対する取組と同様に、「全学」の割合が、「学部・学科単位」よりも全体的に高い傾向になっている。具体的な取組について「全学」でみたところ、大学全体及び短期大学全体では「担任もしくはゼミ・研究室の教員により面談している」(大学全体 41.5%、短期大学全体 52.2%)、高等専門学校全体では「保護者と連絡をとっている」(高等専門学校全体 52.6%)の割合が最も高くなっている。



【図 28-②】

【出席状況が悪い学生・不登校の学生】全学で統一的に実施

(単位:%)

平成29年度		教務・学生部等/学部・学科が、早期発見のため出席確認を行っている	教務・学生部等/学部・学科が、科目担当者等に出席調査を依頼している	科目担当者等と教務・学生部等/学部・学科との間で、連絡体制を構築している	担任もしくはゼミ・研究室の教員と教務・学生部等/学部・学科との間で、連絡体制を構築している	学生相談のカウンセラー等と教務・学生部等/学部・学科との間で、連絡体制を構築している	担任もしくはゼミ・研究室の教員により面談している	アカデミックアドバイザー等専門職員により面談している	教務・学生部等との関連部署職員により面談している	初年次演習科目等の担当教員により面談している	スタディスキルに関する授業科目を開講している(正課内)	スタディスキルに関するセミナー等を開講している(正課外)	学習支援センター等により個別支援を提供している	学習支援センター等により補習講座を提供している	
	大学 全体	33.9	33.9	31.1	38.8	28.4	41.5	4.1	18.1	10.0	13.9	1.3	10.4	4.3	
		国立	14.0	7.0	11.6	23.3	27.9	24.4	7.0	12.8	4.7	8.1	0.0	9.3	1.2
		公立	14.8	13.6	26.1	31.8	26.1	31.8	2.3	18.2	4.5	8.0	0.0	4.5	3.4
		私立	39.7	40.9	34.6	42.1	28.9	45.5	3.9	18.8	11.5	15.6	1.7	11.4	4.9
	短期大学 全体	46.5	50.6	46.5	48.7	27.2	52.2	2.5	11.4	6.3	10.8	0.9	3.5	1.9	
	高等専門学校 全体	42.1	49.1	47.4	45.6	45.6	49.1	7.0	5.3	1.8	0.0	3.5	14.0	8.8	
		教職員向けの対応マニュアルを作成している	教職員に対して研修を実施している	学生向けの啓発のリーフレット等を作成している	学生にガイダンス等で説明している	保護者と連絡をとっている	ピア・サポートを活用している	休学制度を柔軟に運用している	進路変更について相談している	IRデータを活用した修学指導体制を構築している	学外の機関等と連携、ネットワークを形成している	その他	無回答		
	大学 全体	6.0	6.4	3.5	26.0	33.7	4.7	20.3	18.7	3.8	0.1	1.3	5.4		
		国立	14.0	7.0	7.0	17.4	18.6	8.1	10.5	7.0	3.5	0.0	1.2	3.5	
	公立	2.3	4.5	1.1	10.2	27.3	4.5	14.8	10.2	3.4	0.0	4.5	5.7		
	私立	5.4	6.6	3.4	29.5	36.8	4.2	22.6	21.7	3.9	0.2	0.8	5.6		
短期大学 全体	3.8	6.0	5.1	35.8	45.9	2.2	26.6	26.6	4.1	0.0	0.3	2.8			
高等専門学校 全体	8.8	21.1	3.5	28.1	52.6	3.5	35.1	43.9	1.8	3.5	1.8	3.5			

【出席状況が悪い学生・不登校の学生】学部あるいは学科単位で独自に実施

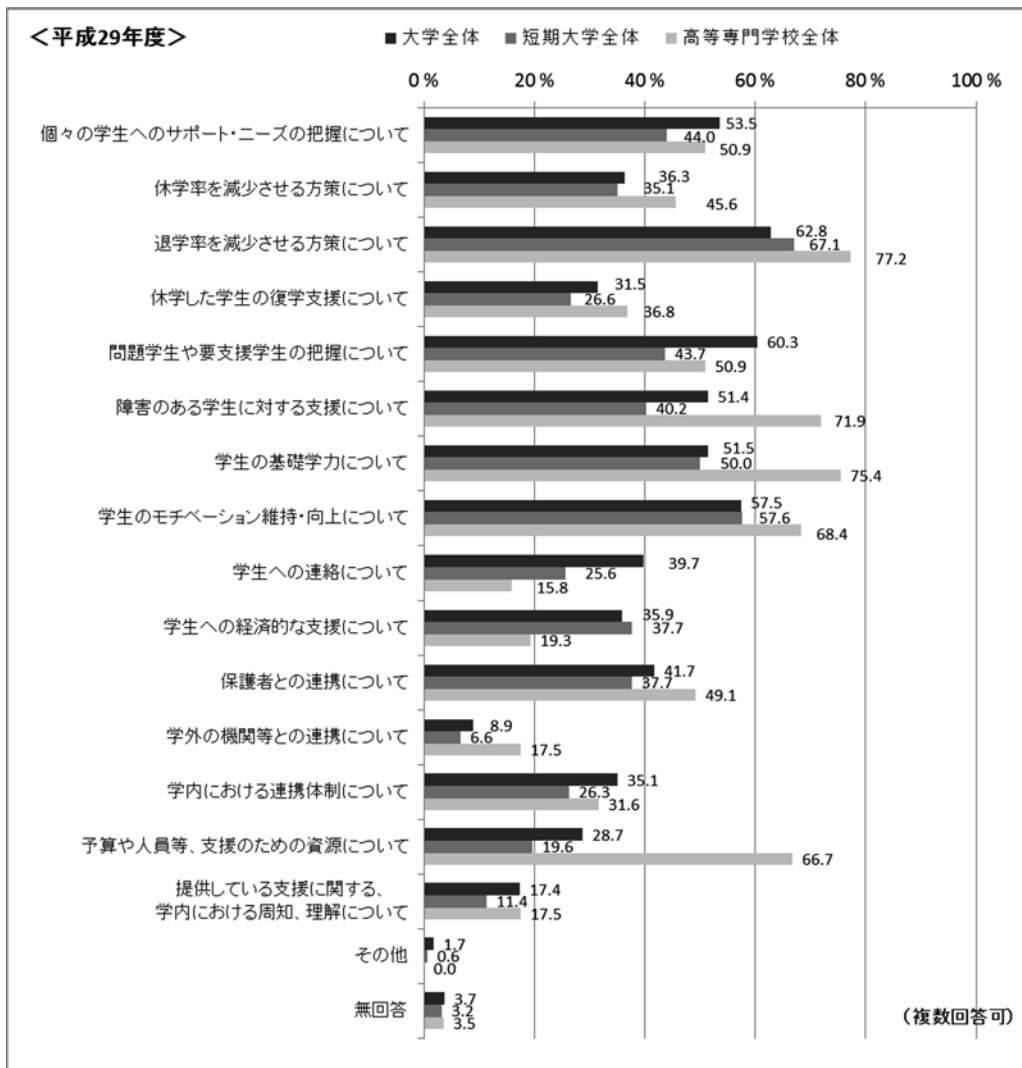
(単位:%)

平成29年度		教務・学生部等/学部・学科が、早期発見のため出席確認を行っている	教務・学生部等/学部・学科が、科目担当者等に出席調査を依頼している	科目担当者等と教務・学生部等/学部・学科との間で、連絡体制を構築している	担任もしくはゼミ・研究室の教員と教務・学生部等/学部・学科との間で、連絡体制を構築している	学生相談のカウンセラー等と教務・学生部等/学部・学科との間で、連絡体制を構築している	担任もしくはゼミ・研究室の教員により面談している	アカデミックアドバイザー等専門職員により面談している	教務・学生部等との関連部署職員により面談している	初年次演習科目等の担当教員により面談している	スタディスキルに関する授業科目を開講している(正課内)	スタディスキルに関するセミナー等を開講している(正課外)	学習支援センター等により個別支援を提供している	学習支援センター等により補習講座を提供している	
	大学 全体	25.7	23.7	29.6	33.6	24.1	38.5	6.3	17.4	15.2	11.7	4.1	8.9	4.8	
		国立	32.6	36.0	48.8	57.0	37.2	62.8	17.4	34.9	26.7	24.4	7.0	17.4	7.0
		公立	27.3	21.6	29.5	35.2	26.1	43.2	2.3	21.6	12.5	8.0	0.0	1.1	2.3
		私立	24.4	22.2	26.8	29.9	21.9	34.3	5.3	14.3	13.9	10.4	4.2	8.8	4.9
	短期大学 全体	21.2	20.3	24.4	27.5	17.4	30.4	1.3	13.3	8.2	7.9	0.6	6.3	2.5	
	高等専門学校 全体	28.1	22.8	38.6	36.8	28.1	36.8	5.3	7.0	7.0	0.0	0.0	1.8	5.3	
		教職員向けの対応マニュアルを作成している	教職員に対して研修を実施している	学生向けの啓発のリーフレット等を作成している	学生にガイダンス等で説明している	保護者と連絡をとっている	ピア・サポートを活用している	休学制度を柔軟に運用している	進路変更について相談している	IRデータを活用した修学指導体制を構築している	学外の機関等と連携、ネットワークを形成している	その他	無回答		
	大学 全体	5.9	8.9	4.5	22.8	35.4	6.2	18.2	22.9	3.5	0.4	1.3	5.4		
		国立	16.3	24.4	10.5	44.2	57.0	15.1	36.0	48.8	4.7	0.0	9.3	3.5	
	公立	3.4	9.1	6.8	23.9	36.4	4.5	15.9	18.2	1.1	0.0	0.0	5.7		
	私立	4.8	6.6	3.2	19.5	32.1	5.1	16.0	19.9	3.7	0.5	0.3	5.6		
短期大学 全体	2.5	5.1	2.2	16.5	28.8	2.2	14.2	19.6	2.5	0.6	0.0	2.8			
高等専門学校 全体	14.0	14.0	5.3	15.8	40.4	1.8	15.8	38.6	1.8	3.5	0.0	3.5			

【表 28-②】

29-① 成績不振学生・不登校学生に対する支援の課題

成績不振学生・不登校学生に対する支援の課題については、各学校種ともに「退学率を減少させる方策について」の割合が最も高くなっている。他に、「学生のモチベーション維持・向上について」「学生の基礎学力について」「問題学生や要支援学生の把握について」「個々の学生へのサポート・ニーズの把握について」も高い割合となっている。高等専門学校全体では、他学校種と比べて、「障害のある学生に対する支援について」(71.9%)、「学生の基礎学力について」(75.4%)、「予算や人員等、支援のための資源について」(66.7%)の割合が高くなっている。



【図 29】

		個々の学生へのサポート・ニーズの把握について	休学率を減少させる方策について	退学率を減少させる方策について	休学した学生の復学支援について	問題学生や要支援学生の把握について	障害のある学生に対する支援について	学生の基礎学力について	学生のモチベーション維持・向上について	学生への連絡について	学生への経済的な支援について	保護者との連携について	学外の機関等との連携について	学内における連携体制について	予算や人員等、支援のための資源について	提供している支援に関する、学内における周知、理解について	その他	無回答	
平成29年度	大学 全体	53.5	36.3	62.8	31.5	60.3	51.4	51.5	57.5	39.7	35.9	41.7	8.9	35.1	28.7	17.4	1.7	3.7	
	国立	76.7	43.0	41.9	41.9	82.6	67.4	41.9	64.0	73.3	37.2	57.0	10.5	45.3	41.9	22.1	2.3	1.2	
	公立	45.5	19.3	25.0	36.4	54.5	48.9	30.7	43.2	38.6	23.9	26.1	6.8	31.8	27.3	12.5	2.3	5.7	
	私立	51.3	37.9	71.5	29.2	57.9	49.4	56.0	58.7	35.0	37.5	41.8	9.0	34.1	27.0	17.5	1.5	3.7	
	短期大学 全体	44.0	35.1	67.1	26.6	43.7	40.2	50.0	57.6	25.6	37.7	37.7	6.6	26.3	19.6	11.4	0.6	3.2	
	高等専門学校 全体	50.9	45.6	77.2	36.8	50.9	71.9	75.4	68.4	15.8	19.3	49.1	17.5	31.6	66.7	17.5	0.0	3.5	
＜参考＞																			
平成27年度	大学 全体	53.8	35.9	60.3	28.9	58.2	45.0	58.5	60.5	34.9	36.3	41.6	9.0	33.8	30.2	17.6			4.0
	国立	70.6	41.2	43.5	40.0	76.5	55.3	50.6	56.5	64.7	38.8	54.1	11.8	42.4	51.8	21.2			1.2
	公立	34.9	12.0	19.3	22.9	55.4	42.2	28.9	38.6	33.7	24.1	30.1	2.4	32.5	19.3	12.0			4.8
	私立	54.1	38.6	68.6	28.2	56.0	43.9	63.8	64.2	30.7	37.7	41.5	9.6	32.8	28.7	17.9			4.3
	短期大学 全体	44.4	32.3	59.3	24.2	40.7	30.4	61.2	60.9	21.4	33.9	38.2	6.8	19.6	20.2	9.3			5.6
	高等専門学校 全体	54.5	34.5	63.6	36.4	60.0	69.1	70.9	74.5	14.5	7.3	47.3	18.2	29.1	61.8	20.0			1.8

【表 29】